# 吹田市水道事業年報

一令和2年度(2020年度)版**一** 

吹田市水道部

## 水 道 事 業 年 報

## 目 次

1章	沿	革		第4章 水源と水質	
1.	沿	革	2	1. 業務量の推移 52	2
2.		業の歩み(年譜)	7		4
					- 6
				7-7 7.02	
(0)	<i>) //µ/\</i>	金0多色	20		
• #	16	=n			_
2 草	施	設		5. 楽品購入状況 6.	1
				6. 自己水源に対する電力及び薬品	
1.	受配水	系統図	32	使用状況 65	5
2.	施設概	要	33	7. 水質検査成績表 66	6
3.	導・送	• 配水管布設 • 撤去状況 ·	. 41		
4.	導・送	•配水管延長	42	第5章 営業・給水	
5.	導・送	· 配水管耐震化状况	44		
6.	導・送	•配水管経年化状況 …	45	1. 営業業務状況 74	4
				(1) 検針状況 74	4
3章	機構と	上職員		(2) 督促状況 74	4
				(3) 減免状況 74	4
1.	機構図		48	(4) 受付状況 75	<u>-</u>
2.	職員構	成表	48		5
			49		<u>-</u>
			50	2. メーター取付、取替状況 76	ô
	1. 2. 3. 4. (1) (2) (3) <b>2章</b> 1. 2. 3. 4. 5. 6.	2	1. 沿 革	1. 沿 革 … 2 2. 水道事業の歩み (年譜) 7 3. 事業認可の変遷 21 4. 料金等の変遷 22 (1) 水道料金の変遷 22 (2) メーター料の変遷 22 (3) 加入金の変遷 26 2章 施 設 1. 受配水系統図 32 2. 施設概要 33 3. 導・送・配水管布設・撤去状況 41 4. 導・送・配水管延長 42 5. 導・送・配水管延長 42 5. 導・送・配水管耐震化状況 44 6. 導・送・配水管経年化状況 45 3章 機構と職員 1. 機構図 48 2. 職員構成表 48 3. 職員配置表 49	1. 沿 草 2 1. 業務量の推移 55 2. 水道事業の歩み (年譜) 7 2. 取水状況 5- 3. 事業認可の変遷 21 3. 配水状況 56 4. 料金等の変遷 22 (1) 施設別配水量構成 55 (1) 水道料金の変遷 22 (2) 年度別・月別配水状況 66 (2) メーター料の変遷 25 (3) 月別・水源別配水状況 66 (3) 加入金の変遷 26 (4) 配水量の内訳 6 4. 電力使用状況 65 (4) 配水量の内訳 6 5. 薬品購入状況 66 1. 受配水系統図 32 使用状況 66 2. 施設概要 33 7. 水質検査成績表 66 3. 導・送・配水管延長 42 第5章 営業・給水 第5章 営業・給水 7・ (1) 検針状況 7・ (3) 減免状況 7・ (1) 検針状況 7・ (3) 減免状況 7・ (4) 受付状況 7・ (5) 請求状況 7・ (6) 財料状況 7・ (7) 機構区 48 (4) 受付状況 7・ (8) 請求状況 7・ (9) 職員配置表 49 (6) 収納状況 7・

3. 区分别段階別給水状況	77	3.	収益的収支の推移 90
4. 給水業務状況	79	4.	資本的収支の推移 92
(1) 加入金収入状況	79	5.	要素別費用明細表 94
(2) 各種手数料収入状況	80	6.	貸借対照表の推移 96
(3) 給水工事施工状況	81	7.	原価・単価構成の推移 98
(4) 配給水装置修繕状況	82	8.	財務経営分析に関する調 99
5. 漏水防止対策状況	83		
(1) 漏水防止作業年度別内訳表 …	83 第	7章	参考資料
(2) 漏水調査状況	83		
(3) 漏水調査による修理件数及び		1.	上下水道料金表 102
漏水量分析表	84	2.	北大阪各市令和元年度(2019年度)
(4) 公道下・宅地内別比率表	84		決算状況等 104
(5) 配・給水管別比率表	84	3.	府内各市水道料金比較 109
6. 配水量分析状況	85	4.	府内各市原価・単価比較 111
(1) 配水量年度別内訳表	85	5.	水道事業ガイドラインによる
(2) 配水量分析表	86		主要背景情報 (CI) 及び
			業務指標 (PI) ····· 113
第6章 財 政		6.	各種広報資料 123
		7.	公用車配置状況144
1. 財務状況の図解	88		
(1) 原価と単価の比較	88		
(2) 貸借対照表	88		
2. 主な収益的支出の推移	89		

本書における金額・構成比等は四捨五入の関係上、合計欄の数値と内訳の合計が 一致しない場合があります。

## 第1章 沿 革

- 1. 沿 革
- 2. 水道事業の歩み(年譜)
- 3. 事業認可の変遷
- 4. 料金等の変遷
  - (1) 水道料金の変遷
  - (2) メーター料の変遷
  - (3) 加入金の変遷

#### 1. 沿 革

#### (1) 「たかが水道、されど水道」時代

水道のない生活を体験するためには……?わざわざ山の中まで出かけなければなりませんが、山のキャンプ場にさえ水道が珍しくない今日、川の水や湧き水、まして井戸水を使う機会はすっかり少なくなってしまいました。

さて、日本の近代水道は明治20年(1887年)、横浜において始まりました。それから遅れること40年、昭和2年(1927年)に吹田町営水道が給水を開始しました。この近代水道の歴史の中で普及率が50%を超えたのは昭和35年(1960年)、吹田では昭和20年代後半に至ってのことです。

当時、吹田町営水道では水の製造はしておらず、大阪市の浄水をそのまま送っていました。吹田町の人口は約2万人、給水人口は約6千人、普及率はようやく30%でした。この頃はまだほとんどの家庭に井戸があり、わざわざ有料の水道を使わなくてもタダの井戸水で十分だ、という人が多かったのです。「たかが水道、されど水道」というところでしょうか。

#### (2) 自己水源の確保へ

大戦前の昭和15年(1940年)には、隣接4町村が合併して市制がしかれました。戦争中は空襲から水道の施設を守るのに大変な苦労がありましたが、戦後、千里山地区(千里山水道)・豊津地区(阪北上水道)の簡易水道を吸収して総合的な上水道計画に乗り出しました。これが第1次拡張事業計画で、昭和23年(1948年)に工事が始められました(総工費1,800万円)。

第1次拡張事業では主にポンプ場の建設や送配水管布設工事など、これまでどおり大阪市から浄水を受水するための施設建設でしたが、第2次拡張事業(総工費8,100万円)では千里山浄水所の増強、片山浄水所さく井・急速ろ過池建設など自己水源の確保を目指しました。これにより、昭和31年(1956年)には普及率は65%に達しました。

#### (3) 建設の時代の始まり

水道事業は独立採算制により経営されていますが、この基本となる法律が地方公営企業 法です。この法律が施行されたのが昭和27年(1952年)、吹田市では法の施行から4年後の 昭和31年(1956年)に地方公営企業として発足しました。普及率は65%に達し、さらに向上 させようとする時期にあたります。

この時期は、日本の経済が戦後の混乱から立ち直り、高度成長の準備を整えていた時期です。大阪の衛星都市ではドーナツ化現象(大都市周辺への人口の移動・集中)と生活様式の変化で水需要が急速に伸びていました。さらに吹田市では、千里丘陵の開発が進められ、高層住宅の建設ラッシュとも重なって水需要の伸びにどう応えるかは、頭の痛い問題でした。

こうした中で、昭和32年(1957年)にはこれまでの3倍におよぶ総工費2億6千万円を投じて、さく井の増設、配水池の新設など第3次拡張事業に着手し、昭和33年(1958年)には山田地区への給水を開始しました。また、昭和35年(1960年)には府営水道からの浄水の受水を開始するなど急増する水需要に懸命な努力が注がれました。

しかし、需要の伸びは予想をはるかに上まわり、昭和36年度 (1961年度) から 5 か年継続の第 4 次拡張事業(総工費10億4 千万円)に着手しました。これは泉浄水所の建設を主とする事業で、これにより泉浄水所は一日最大 1 万 9 千 $m^3$ の処理能力をもつ吹田市の中心施設となりました。また、能力アップにともなって送配水幹線の整備、ポンプ場の増設もあわせて進められました。

年	主な出来事		
明20	横浜市に近代水道誕生		
昭 4	世界大恐慌		
<i>"</i> 13	厚生省設置		
<i>"</i> 16	太平洋戦争勃発		
<i>"</i> 2 0	" 終戦		
<i>"</i> 2 2	地方自治法制定		
<i>"</i> 23	地方財政法制定		
<i>"</i> 25	地方公務員法制定		
	ジェーン台風襲来		
<i>"</i> 26	サンフランシスコ講和条約締結		
<i>"</i> 2 7	地方公営企業法制定		
<i>"</i> 3 0	神武景気		
<i>"</i> 3 1	日本水道協会発足		
<b>#32</b>	地方公営企業金融公庫設立		
	水道法制定		
<i>"</i> 3 4	第1回水道週間		
<i>"</i> 35	自治省設置		

#### ※ポンプ場

水を低いところから高いところへ送るためにはポンプ (電気による動力を利用)で水に圧力を加えて送水しなければなりません。そのための施設をポンプ場といい、市内数か所にこの施設があります。

#### ※さく井・急速ろ過池

地下水を汲み上げるために掘りすすめた 井戸 (本市は  $200 \sim 300$  mの深井戸) をさく井といいます。

急速ろ過池は、原水を浄水にするための 処理施設の一部で、砂や砂利などを敷きつ めた層に水を通して不純物をとり除くため の池です。

(「急速ろ過」は1日に120mくらいの速さでろ過するもので、ろ過池のほとんどはこの急速ろ過池です。)

#### ※独立採算制

地方公営企業は自治体(府や市町村など)が経営する企業ですが、税金などでまかなわれる一般会計とは切り離し、「事業にかかる費用は事業による収入でまかなう」よう法律で定められています。

#### (4) 建設の時代 ピークへ

大阪府による千里ニュータウンの建設が始まった昭和37年(1962年)からは需要増のほとんどを府営水道に依存することになり、その導入施設として千里丘陵第一受水場、津雲及び運間配水場などが府企業局により建設されました。これらの施設はのちに本市に安価で譲渡され、本市水道財政の基盤安定に大きく寄与しました。

しかし、水需要増はさらに加速し、昭和40年(1965年)には総工費15億2千万円で第5次拡張事業に着手し、日量3万m³の淀川原水導入など自己水源の確保を図りました。なおこの間、事務の機械化、無線装置の採用による機動力の強化、集金制の廃止と納付制の開始など経営の改善、近代化も進められました。

淀川原水の導入をもって自己水源の充実はピークに達し、昭和44年(1969年)からは今後の需要増に対し府営水道への全面依存に方針を切り換え、第6次拡張事業に着手しました(総工費29億9千万円)。これは、受配水施設など府営水導入施設の増強のほか、「安全で断水・公害のない上水道」を目指して最新のコンピュータによる水質の連続監視設備、市内全施設の集中監視・制御(コントロール)設備の建設を進めるもので、昭和53年(1978年)に完工しました。

この間、昭和48年(1973年)にオイル・ショックが起こり、これによる狂乱インフレは水道財政を危機に陥れました。新たに開始した加入金、開発負担金による増収では追いつかず、支払いの繰り延べや職員給料の支給日変更など資金繰りに大変苦労しました。

#### (5) 維持管理の時代へ

高度経済成長がオイル・ショックを境に「低(安定)成長」に入った昭和50年代。吹田市では建設の時代のツケとも言える財政危機の立て直し、すなわち財政健全化が大きな課題となりました。そのため、昭和50年(1975年)に水道事業懇談会を開き事業全般にわたる抜本的な再検討を行いました。これを受けて翌51年には加入金・開発負担金の改定と水道料金の大幅値上げ(約45%)を行い、また逓増制を導入し節水型の料金体系としました。しかし府営水道の値上げなど水道事業を取り巻く厳しい環境は変わらず、同52年に再度料金を値上げ(約35%)し、同53、54年には2段階で値上げ(約24%)を行いました。

なお、第6次拡張事業(第2回変更)完工後、「上水道施設等整備事業」に移行し、自己水有効利用等を目指す配水池及び配水管網等の整備を重点に事業を進め、さらに「第6次拡張事業(第3回変更)」として、平成6年(1994年)に高度浄水処理の設備築造工事に着手しました(同9年竣工、供給開始)。

財政面では、10年にわたり据え置いた水道料金を平成元年(1989年)から約27%、同5年から約30%改定し、老朽化した施設の整備を図りつつ、より良質の水道水供給を目指す「水道新時代」にふさわしい財政基盤整備を図ることとしました。

平成7年(1995年)1月に阪神・淡路大震災が発生し、本市の水道施設にも甚大な被害をもたらしました。震災を教訓とした施設の耐震化など災害対策の一層の強化、さらに配水管整備や直結給水の拡大等各種事業推進のための財源確保が急務となり、同9年に約23%の料金改定を実施しました。

事業経営面では、平成8年(1996年)7月に水道事業経営審議会が発足し、同10年に出された答申(消費税転嫁、大震災対策、企業努力ほか)を踏まえた効率的な事業経営に努めてきました(料金等への消費税転嫁については同13年7月から実施)。また、第3次審議会で出された新たな中長期計画についての答申に沿い、平成16年(2004年)4月に第1次上水道施設等整備事業を策定し、浄配水施設の整備に着手しました。事業では配水管の管網整備や管路耐震化工事などを進め、自己水源の有効利用とあわせ、水道水の安定供給に努めました。しかしながら、水需要や給水収益が年々減少傾向にある中で、経年劣化する施設の改良・更新をどう計画的に進めるのか、また安心して飲んでいただける水道水を安定的に供給することなど水道事業を取り巻く新たな環境の変化への対応のため、平成18年(2006年)11月、「吹田市水道部中期経営計画」を策定し、これまで以上のサービスを最小の経費で実現できるよう、効率的な事業運営を目指しました。こうした中で、平成19年(2007年)には、基本水量の見直しや逓増度の緩和を目的とした料金値下げ(マイナス3.36%)を行うとともに、口座振替割引制度の導入など市民サービスの拡大を図りました。

年	主な出来事	
昭39	自治省に地方公営企業制度調査	
	会設置	
	淀川水質協議会発足	
<i>"</i> 4 0	地公企制度調査会答申·琵琶湖	
	総合開発構想	
" 4 1	地方公営企業法の一部改正	
" 4 2	日水協「水道料金算定基準」を	
	厚生省に答申	
" 4 5	水質汚濁防止法制定	
	吹田市で万国博開催	
" 47	琵琶湖総合開発決定	
" 4 8	オイル・ショック	
<b>"</b> 5 2	水道法一部改正	
" 5 <b>4</b>	琵琶湖富栄養化防止条例制定	
	第2次オイル・ショック	
<i>"</i> 5 9	厚生省「おいしい水研究会」設立	
平 1	消費税法施行	
" 4	琵琶湖総合開発概成	
<i>"</i> 5	水質基準の大幅改正	
<i>"</i> 7	阪神・淡路大震災	
<i>"</i> 8	「規制緩和推進計画」に基づく	
	水道法改正	
" 14	水道法改正	
" 16	水道ビジョン	

#### ※水質の連続監視設備

「給水モニター」を市内十数か所に設置 し、常に安全な水を送るため、管末の水 質・水圧の状態を24時間監視・記録してい ます。

#### ※集中監視·制御設備

市内全域をオン・ラインで結び、効率 的給水・事故早期発見・渇水対策などに威力を発揮し、また浄水所の人員抑制など 効率的経営にも効果をあげています。

#### ※加入金·開発負担金

加入金は、水道施設更新の財源対策や 新旧需要者間における負担の公平性の確 保等を目的として新たに水道を設置する 場合に費用負担していただくものです。

開発負担金は、人口増加などに伴う水 道施設の拡張費用の一部を開発事業者等 に負担していただくものでしたが、制度 の役割を終えたため、平成28年4月に廃 止しました。

#### ※逓増(ていぞう)制

使用水量の増に応じて料金単価が上が る制度で、高使用高負担の節水型料金体 系です。

#### ※高度浄水処理

河川水質の悪化とともに注目された浄水処理法で、塩素とオゾンにより滅菌処理し、さらに活性炭処理により、臭いの除去を行います。

維持管理の時代から更新の時代へと移りつつある中で、平成21年(2009年)12月に中期経営計画の方向性を発展させた新たな地域水道ビジョンとして、「すいすいビジョン2020~吹田の水標~」を策定しました。このビジョンの着実な推進のため、事業計画においては、老朽化した井戸の掘り替えや水需要が減少する中での施設能力の見直しなどに対応するため、平成22年(2010年)3月に第6次拡張事業(第4回変更)の認可を受けました。同時に更新事業や基幹施設の耐震化を中心とした第2次上水道施設等整備事業にも取り組み、これらの事業計画を支えていくためには財政・組織の両面から見た、さらなる経営基盤の強化が必要となっています。

#### (6) 維持管理から更新の時代へ

平成22年度(2010年度)を初年度とする第2次上水道施設等整備事業では、管路・施設の耐震化とあわせ、経年化した管路の更新事業、老朽化した井戸の掘り替え、泉浄水所電算機更新工事をはじめ、片山浄水所の更新を控え新たな水処理の実証実験に取り組むなど、本格的な更新時代に入りました。日本全体では人口減少が始まり、今後さらに人口や水需要の減少傾向は加速していくことが予想される厳しい時代を迎えました。

また、平成23年(2011年) 4月から 入阪広域水道企業団 (以下、企業団という) が事業を開始し、受水する42市町村が共同で用水供給事業等を経営することになりました。

平成23年(2011年) 3月に発生した東日本大震災では、約2か月間にわたり40人の職員を現地での応急給水支援活動に派遣しました。その後、現地での活動による教訓を生かし、災害への備えを充実させるとともに、基幹管路などの耐震化をさらに積極的に進めるため、施設整備計画の見直しを図りました。

料金業務では、市役所本庁舎内に設置していた水道部分室を平成23年度末で廃止したほか、平成24年(2012年)4月から市内全域の検針業務を委託しました。

#### (7) 更新の時代の幕開け

これからの大量更新の時代を新たな課題に対応し再構築するチャンスととらえ、おおよそ40年先の将来像を描いた「吹田市水道施設マスタープラン」を平成25年(2013年)3月に策定しました。また、時期を同じくして、厚生労働省から「新水道ビジョン」が公表され、これまで以上の水道施設の強靭化が求められていることから、翌年にはマスタープランに基づき第2次上水道施設等整備事業を見直しました。見直しにあたっては、片山浄水所水処理施設更新工事及び片山浄水所・泉浄水所連絡管布設工事のいわゆる。2大工事を事業として位置づけ、平成28年(2016年)3月には、片山浄水所の更新に必要な変更認可「吹田市水道再構築事業」を取得しました。同年秋には両工事に着手し、本市水道事業にとっての新しい時代の幕開けとなりました。

平成28年(2016年)4月に発生した「平成28年(2016年)熊本地震」では、日本水道協会からの要請を受け、本市から15日間にわたって職員15名を派遣し、熊本市南区での応急給水活動を行いました。被災地に派遣した職員の経験をこれからの施設整備に生かすとともに、受援体制の整備を含むソフト面のさらなる充実を図ることの必要性を再認識しました。

平成29年(2017年) 2月には、北大阪健康医療都市に設置した耐震性貯水槽の供用を開始し、9か所目の災害時給水拠点として位置づけました。同年3月には、大規模地震発災時に応急対策業務に対応しつつ早期に通常時の体制への回復を図るための「吹田市水道部業務継続計画(地震災害編)」を策定するなど、災害時に備えた取組を進めてきました。

これらの取組を進めている中、同年8月に本市南部を中心に大規模な停電が発生しました。この停電により、泉浄水所や部庁舎への送電が停止したため、浄水処理の一時停止に伴う片山浄水所からのバックアップによる対応、自家発電の運転開始のほか、料金システム停止への対応などが必要になりました。停電は半日で復旧しましたが、非常時の対応について改めて考える機会となりました。

さらに、平成30年(2018年)6月に大阪府北部を震源とするマグニチュード6.1の地震が発生し、吹田市では震度5強を観測しました。本市の水道施設に大きな被害はなかったものの、濁水の発生により市内全域で3日にわたり応急給水活動を行いました。また、企業団の本市への送水管が破損し大量の水が道路上に溢れたほか、高槻市、箕面市、茨木市などにおいても漏水や濁水の被害が発生しました。被災地となったこの災害では、災害時の対応について様々な課題が見えてきました。これを機に、片山浄水所や津雲配水場、蓮間配水場にお

年	主な出来事	
平23	東日本大震災	
	大阪広域水道企業団設立	
" 24	水道法一部改正	
	地方公営企業法一部改正	
<i>"</i> 25	新水道ビジョン	
<i>"</i> 2 6	水循環基本法制定	
<i>"</i> 28	認可権限大阪府へ一部委譲	
	平成28年(2016年)熊本地震	

#### ※大阪広域水道企業団

淀川表流水を水源として浄水処理した水 道水を、大阪市以外の府内42市町村(末端 水道事業)に卸売りする用水供給事業や、 工業用水事業を行っています。前身は大阪 府営水道で大阪府が経営していたものを受 水する42市町村が事業を継承し、平成23年 (2011年)4月に事業を開始しました。

#### ※2大工事

泉浄水所の将来的な機能停止を見据え、 片山浄水所を中心とした再構築を目的とし て実施する工事です。

片山浄水所の水処理施設を膜ろ過方式に 抜本更新する「片山浄水所水処理施設更新 工事」と、2つの浄水所を結ぶ口径1000mm の連絡管を当部初のシールド工法を用いて 布設し送配水ネットワークを構築する「片 山浄水所・泉浄水所連絡管布設工事」を指 します。 いて給水車への補給が可能となるよう災害時給水拠点の機能の充実を図るとともに、避難所となる小学校への組立式貯水槽の設置を進めてきました。

同年7月には、西日本を中心に集中豪雨が発生し、岡山県や広島県などで大きな被害が発生したことから、本市からも1週間にわたり職員10名を倉敷市に派遣し支援活動を行いました。9月には台風21号が関西地方に上陸し、市内でも強風による倒木や家屋の損壊等のほか、大規模な停電が発生したため、高層マンションなどではポンプが停止し断水したことから、応急給水活動を実施しました。地球温暖化等の影響により、想定以上の豪雨災害が多発している中で、耐震化などの施設整備に加えて、受援体制の構築など様々な災害への備えが必要となってきています。

経営面においては、水需要が減少傾向にある一方で2大工事を始めとする施設整備に多大な費用が必要となるなど、今後ますます経営環境は厳しさを増していくことを想定して、平成25年(2013年)6月に「今後の水道事業と料金のあり方について」を水道事業経営審議会に諮問し、翌年6月に答申が出されました。

その答申に基づき1年半の検討を重ね、平成27年(2015年)12月定例市議会において、2年間で10%の値上げとなる料金改定と用途別から口径別料金体系への変更、加入金の改定、督促手数料及び延滞金の廃止等の条例改正案が可決され、平成28年(2016年)4月から施行されました。この19年ぶりとなる値上げにより、料金算定期間である平成30年度(2018年度)までの3年間の施設整備の財源を確保しました。また、口径別料金への変更により、今後も続くと予測される節水型社会においても水需要の減少に大きく左右されない料金体系とすることができました。

財源の確保のほか、平成28年(2016年) 4月から高齢者世帯声掛けサービス及び認知症サポーターの取組を、平成31年(2019年) 3月からは水道の閉開栓電子申請を開始するなど、サービスの充実を図ってきました。

また、経営効率化につながる広域連携の取組のひとつとして、企業団千里浄水池に近接している本市連間配水場と豊中市、箕面市の受配水施設との将来的な統廃合を目指した共同ポンプ施設の整備に向けて各市の状況に応じて段階的に進めています。平成29年度(2017年度)には「豊中市、吹田市及び箕面市共同ポンプ施設築造工事に係る業務に関する施行協定書」を締結し、整備が進められています。

府内においては、企業団と四條畷市、太子町及び千早赤阪村が水道事業を統合し、平成29年(2017年)4月から事業を開始しました。平成31年(2019年)4月には泉南市をはじめ2市4町が加わったほか、さらに4市町が統合に向けて協議しているところです。令和6年度(2024年度)には能勢町の事業統合が予定されており、大阪市を除く府内42市町村のうち14市町村が統合する見込みとなり、 一帯域一水道に向けて進んでいます。

#### (8) 基盤強化に向けて

平成30年(2018年)に、水道事業の経営基盤強化を目指し、<sup>3</sup>ンセッション方式(公設民営化)を含めた官民連携の推進や適正な資産管理、広域連携の推進が主な内容となる改正水道法が制定されました。

改正水道法においては、都道府県のリーダーシップによる水道事業の広域化推進が求められています。大阪府ではこれに先立って平成30年(2018年)8月に府が主体の「府域一水道に向けた水道のあり方協議会」が発足し、府内全事業体の参画のもと持続可能な府域水道事業の構築に向けた議論が始まっています。令和2年(2020年)3月には、広域化推進プランと位置付ける「府域一水道に向けた水道のあり方に関する検討報告書」が出されました。

本市においては、改正水道法の趣旨を踏まえながら、水道システムの再構築に着手した本 市水道事業の基盤強化に向けた経営戦略として、10年間の投資・財政計画を含む新たな基本 計画「すいすいビジョン2029」を令和元年(2019年)9月に策定しました。

策定にあたっては、平成29年度(2017年度)に吹田市水道事業経営審議会に対し「吹田市水 道事業の新たな基本計画について」を諮問し、その答申に基づき検討を重ね、施策の方向性 や健全な水道事業を持続するための考え方などを明確にしました。

また、計画に基づき強靭な水道施設を構築し、健全な事業経営を持続することを目的として、令和2年(2020年)4月に平均改定率15.2%の料金改定を行い、「すいすいビジョン2029」のもと、本市水道事業が「地域の水道」として、安全な水道水を未来へつないでいくための第一歩を踏み出しました。

令和元年(2019年)12月には「新型コロナウイルス」による感染症の発生が報告され、その

年	主な出来事		
平29	大阪広域水道企業団と四條畷市、		
	太子町、千早赤阪村との事業統合		
<i>"</i> 3 0	大阪府北部地震		
	平成30年7月豪雨		
	水道法改正		
<i>"</i> 3 1	大阪広域水道企業団と泉南市、		
	阪南市、豊能町、忠岡町、田尻		
	町、岬町との事業統合		
令2	新型コロナウイルス感染拡大		
	「緊急事態宣言」発出		

#### ※口径別料金体系

料金算定にあたり、使用者の水道メーター(給水管)の口径に応じて料金格差を設ける体系のことです。給水管口径に基づく給水能力に見合った料金負担となるため客観的公平性に優れ、日本水道協会の料金算定要領でも口径別料金体系を原則としています。

#### ※府域一水道

府内の水道事業体が共通して抱える課題に対し、広域化による運営基盤強化を図るため、将来的に府内43市町村の水道事業を統合しようとするものです。市町村はそれぞれ事情が異なるため、多様な広域化の形態を探りながら企業団及び市町村の合意形成に基づき進めています。

#### ※コンセッション方式(公設民営化)

地方公共団体が水道施設の所有権を有したまま、民間事業者に当該施設の運営を委ねるPFI(Private Finance Initiative)の類型の一つです。

令和元年(2019年)施行の改正水道法により、地方公共団体が水道事業者としての位置づけを維持しつつ、厚生労働大臣の許可を受けて公共施設等運営権を民間事業者に設定することができるようになりました。

後全世界に急速に広がりました。我が国においては、令和2年(2020年)4月16日に「緊急事態宣言」が発せられ、全国一斉に不要不急の外出自粛が求められるとともに企業等にも休業要請が出され、市民生活や経済活動に大きな影響を及ぼしています。

この未曽有の事態を受けて、国からは全国の水道事業体に対し、水道料金の支払い猶予などの要請が出され、本市においては、以前にも増して柔軟に対応しています。

衛生確保の観点からも滞ることのない水道水の供給により一層努めるとともに、今後は 「新しい生活様式」に沿った業務体系など対応が求められています。

## 2. 水道事業の歩み(年譜)

年 月	建 設	制 度 等
明41(1908)		吹田町誕生
大14(1925).4		町議会にて3か年計画で水道布設を議決
大15(1926).11		大阪市と上水受水契約を締結
昭2(1927).2		町議会にて吹田町水道条例を制定
昭2(1927).3	吹田町営水道起工式挙行	
昭2(1927).4	吹田町営水道着工	総人口19,838人、給水人口6,037人
		(普及率30%)
昭2(1927).7		水道事業の認可 (7/20) 、起債260,000円許可
昭2(1927).8	試験通水 8/25	水道使用条例適用
	正式通水 8/30	
昭2(1927).9		水道料金徴収開始
昭6 (1931)		メーターの責任修復の許可
昭8(1933).4		水道料金改定
		(尺貫法からメートル法へ移行)
昭12(1937).4		毎月集金制実施
昭15(1940).4		市制実施(吹田町、三島郡千里村、同岸部村、豊
		能郡豊津村が合併)
昭21(1946).1	京阪神急行電鉄経営の千里山水道を吸収し、	
	千里山浄水所として給水開始	
昭22(1947).9	阪北上水道組合豊津地区を吸収	
昭22(1947).10		水道料金改定
昭23(1948).12	第1次拡張事業着工(変更認可)昭25.3完成	
昭24(1949).4	御旅ポンプ場完成	
	第2次拡張事業着工(変更認可)昭31.3完成	
昭24(1949).8		水道料金改定
昭26(1951).10	片山配水池築造(1,000m³)に伴い給水開始	
昭27(1952).1		水道料金改定
昭28(1953).7	片山浄水所にて浄水開始	
昭30(1955).10		山田村合併
昭31(1956).10		地方公営企業体として発足
昭32(1957).4	第3次拡張事業着工(変更認可)昭37.3完成	
昭32(1957).12	山田地区配水幹線布設	
昭33(1958).4	山田地区給水開始	
昭34(1959).3	千里山浄水所にて浄水池築造(1,000m³)	
昭35(1960).7	府営水道より受水開始	府営水12円50銭/m³
昭35(1960).8	片山浄水所にて配水池築造(3,072m³)	
昭36(1961).3	山田ポンプ場完成	
昭36(1961).4	第4次拡張事業着工(変更認可)昭40.3完成	
昭36(1961).7	府営水道が千里丘陵地区へ送水開始	
昭36(1961).8	山田配水池築造	

年 月	建 設	制度等
昭37(1962).4		水道料金改定
昭37(1962).6	泉浄水所第1期工事着工 昭38.6完成	
昭37(1962).9	千里ニュータウンに府営水道が送水開始	千里ニュータウン入居開始
		水道事業所から水道部へ
昭37 (1962). 10	千里丘陵第一受水場操業開始	吹田市上水道開設35周年記念式举行
	金田ポンプ場完成	
昭38 (1963). 2	市内配水幹線着工 昭38.6完成	
昭38 (1963).6		水質試験室発足
昭38 (1963).7		千里丘簡易水道吸収(昭39.10 完了)
昭38(1963).8	佐井寺配水池築造	
昭38 (1963).9	泉浄水所第2期工事着工 昭39.6完成	無線装置正式開局(金田ポンプ場内)
昭38 (1963). 10		吹田市水道事業協力会連絡協議会発足
昭39(1964).2	津雲配水場操業開始	
昭39(1964).4		配水管工事分担金制度条例化
昭39(1964).5	御旅ポンプ場自動化完成	
昭39(1964).7	泉浄水所にて浄水開始	
昭39(1964).9	蓮間配水場操業開始	
昭39(1964).10		片山浄水所公園計画に伴い虹ますの養殖開始
昭39 (1964). 12	泉浄水所に自家発電装置完成	
昭40 (1965).1	千里山浄水所ポンプ室改築工事着工	
	昭40.10完成	
昭40(1965).4	第5次拡張事業着工(変更認可) 昭45.3完成	大阪市水16円/m³、府営水16円/m³
		紀州製紙施設使用料5円/m³
昭40(1965).5		職員待機宿舎(山水荘)完成
		水道料金改定
昭41 (1966).1	泉浄水所拡張第1期工事着工 昭41.4完成	
昭41 (1966).4		労働安全衛生委員会設置
昭41 (1966).6	淀川表流水受水開始	
昭41 (1966).7		下水道料金(旧市内)を上水道料金と同時徴収
昭41 (1966). 12	泉浄水所拡張第2期工事着工 昭42.6完成	地方公営企業法改正
昭42(1967).1		管理者制度発足
昭42(1967).4		財団法人吹田市水道サービス公社発足
昭42(1967).8	万国博覧会用送水管布設工事着工	
	昭43. 2完成	
昭42(1967).12	泉浄水所拡張第3期工事着工	
	昭和43.6完成	
昭43 (1968).5		水道遊園条例を制定(同月21日片山浄水所に
		虹ますセンターをオープン)
昭43 (1968).7		集金制を廃止し、納付制を実施
		全地区委託検針を実施
昭43(1968).8		水道料金の督促手数料、延滞料徴収開始

年 月	建 設	制度等
昭43(1968).9	片山浄水所管理棟(庁舎)築造工事着工	
	昭44. 4完成	
昭44(1969).3	泉浄水所管理棟(水道部本庁舎)築造工	事
	着工 昭44.12完成	
昭44(1969).4	第6次拡張事業着工(変更認可)昭54.3完	戊
	片山浄水所混和池築造工事着工	
	昭46. 3完成	
昭44(1969).12	泉浄水所第2配水池築造工事完成	泉浄水所管理棟(水道部本庁舎)完成に伴う移転
	泉浄水所高架水槽築造工事完成	
昭45(1970).3	片山浄水所第3配水池築造工事着工	
	昭46.3完成	
昭45(1970).4	千里配水幹線工事着工 昭46.5完成	
昭45(1970).5	片山浄水所高速ろ過設備工事着工	
	昭46.3完成	
昭45(1970).8		水道料金調定事務に電算導入
昭46(1971).2	片山浄水所第11号さく井掘さく工事着工	
	昭46.8完成	
昭46(1971).4	第6次拡張事業(第1回変更)着工	千里丘陵地区上水道事業を統合
昭46(1971).10	岸部地内φ450mm配水管工事着工	
	昭47.10完成	
	山田幹線φ600mm導水管工事着工	
	昭47.3完成	
昭46(1971).11	集中監視制御設備第1期工事着工	
	(津雲・山田) 昭47.6完成	
昭47(1972).4	第6次拡張事業(第2回変更)着工	2か月検針、2か月徴収実施
昭47(1972).5		加入金制度実施、集合住宅各戸検針・各戸徴収
		実施 (遠隔指示メーターのみ)
昭47(1972).10	集中監視制御設備第2期工事着工	大阪市水25円/m³に改定
	(御旅・原水モニター) 昭48.3完成	
昭47(1972).12	千里山高速ろ過装置工事完成	
昭48(1973).4		開発負担金制度実施、検針員を非常勤嘱託職員
		として採用
昭48(1973).7	集中監視制御設備第3期工事着工(蓮間)	異常渇水により府の給水制限受ける
	昭49. 1完成	
昭48(1973).9	千里山浄水所第11号さく井掘さく工事着	I.
	昭49. 5完成	
	山田新芦屋 φ 400mm配水幹線第1期工事着	·工
	昭48. 10完成	
昭48(1973).10	集中監視制御設備工事第3期工事着工	
	(給水モニター) 昭49.3完成	
昭48(1973).12	山田新芦屋 φ 400mm配水幹線第 2 期工事着	·工
	昭49.6完成	

年 月	建 設	制 度 等
昭49(1974).4	給水モニター設置	加入金、開発負担金、給水工事関係手数料改定
		紀州製紙施設使用料6円30銭/m³に改定
昭49(1974).6		府営水19円70銭/m³に改定
昭49(1974).7	泉浄水所180kW送水ポンプ増設工事着工	
	昭50. 2完成	
	泉浄水所第8号さく井掘さく工事着工	
	昭49.12完成	
昭49(1974).9	集中監視制御設備第4期工事着工	
	昭50.3完成	
昭49 (1974). 11	御旅ポンプ場改築工事着工 昭50.5完成	
昭50(1975).4		大型メーター2か月検針実施
昭50(1975).8	集中監視制御設備第5期工事着工	吹田市水道事業懇談会を設置
	昭51.1完成	
昭50(1975).9		大阪市水50円/m³に改定
		(責任使用水量制採用)
昭51(1976).3	泉・片山浄水所汚泥槽設備工事完成	
昭51(1976).4		水道料金改定(平均45.52%・逓増制導入)、
		加入金・開発負担金・給水工事関係手数料を改定
昭51(1976).7	泉浄水所第9号さく井掘さく工事着工	
	昭52. 2完成	
昭51 (1976). 10		府営水29円70銭/m³に改定
昭52(1977).4		水道料金改定(平均35.00%)
昭52(1977).6	集中監視制御設備第6期工事着工(情報処	
	理の部) 昭53.3完成	
昭52(1977).7		開発負担金改定
昭52(1977).8		異常渇水による取水・給水制限実施
昭52(1977).9	山田新芦屋地内 φ 400mm配水幹線布設工事	
	着工 昭52.11完成	
昭52(1977).10	都市計画道路佐井寺山田下線 φ 300mm配水	水道事業懇談会解散
	幹線布設工事着工 昭52.10完成	府営水43円70銭/m³に改定
	山田地内 φ 450mm配水幹線布設工事着工	
	昭52.11完成	
昭52(1977).12	南吹田第1土地区画整理地内配水管布設工	
	事着工 昭53.4完成	
昭53(1978).2	片山浄水所府水導入管φ450mm布設第1期	
	工事着工 昭53.5完成	_
	山田地内 φ 450mm配水幹線布設工事	
	(第1工区・第2工区)着工 昭53.5完成	
昭53(1978).4	泉浄水所第10号さく井掘さく工事着工	水道料金改定(平均19.77%)
	昭53.9完成	昭53.3.9議決「大阪府営千里浄水池系送水施設の
		管理・運用に関する協定」発効

年 月	建	設	制	度	等
昭53 (1978).	5 片山浄水所第13号さく井掘	さく工事着工			
	昭53.11完成				
昭53 (1978).7	7 佐井寺山田下線 φ 300mm配元	k幹線布設第2期			
	工事着工 昭53.8完成				
	山田西団地内 φ 450mm配水草	幹線布設工事			
	(第1工区) 着工 昭53.8	完成			
	山田西団地内φ450mm配水草	幹線布設工事			
	(第2工区) 着工 昭53.9	完成			
昭53 (1978).9	)		異常渇水による取れ	水・給水制限	実施
昭53 (1978).	10		府営水48円70銭/r	m³に改定	
昭53(1978).	12 山田、小川茨木線φ300mm西	记水管布設工事			
	着工 昭54.2完成				
昭54(1979).2	2 国鉄駅前再開発に伴うφ30	0mm配水管布設			
	工事着工 昭54.4完成				
	片山浄水所府水導入管 φ 45	0㎜布設工事			
	(第3工区) 着工 昭54.3	完成			
	片山浄水所府水導入管φ45	0㎜布設第2期			
	工事着工 昭54.4完成				
昭54(1979).3	3		水道料金改定(平均	勾3.94%)	
昭54(1979).4	第1期上水道施設等整備事	業着手			
	昭60.3完成				
昭54(1979).	5 泉浄水所高架配水槽改良工	事着工			
	昭54.8完成				
昭54(1979).6	万博調圧槽改良工事着工	昭54.7完成			
昭54(1979).7	7 山田新芦屋地内φ300mm布記	设工事着工			
	昭54.10完成				
昭54(1979).9	) 職員待機宿舎(山水荘)改	良工事着工			
	昭54.11完成				
昭54(1979).	10 小曽根配水幹線φ500mm布記	设工事着工			
	昭54.11完成		=		
	都市計画道路佐井寺片山高	浜線配水幹線			
	φ 600mm布設工事着工				
昭54(1979).	1  職員待機宿舎(山水荘)全	面改装			
昭55(1980).			口座振替制度開始		
	11 津雲配水池新設工事着工				
昭55 (1980).3		工事着工			
	昭55.4完成				
昭55 (1980).		物解体撤去工事			
	着工 昭55.6完了				
昭55(1980).8					
	φ600mm布設工事着工 昭5	6. 2完成			

年 月	建 設	制 度 等
昭55(1980).9	糸田川φ500mm水管橋架設工事着工	
	昭56. 2完成	
昭55 (1980). 12	万博地内φ400mm配水幹線布設工事着工	
	昭56. 3完成	
昭56(1981).2	泉浄水所塩素中和装置改良工事着工	異常寒波による給水管等の凍結
	昭56.3完成	
	下新田配水幹線 φ 400mm布設工事着工	
	昭56.4完成	
昭56(1981).3	山田新芦屋地内φ300mm配水幹線布設工事	水道遊園(虹ますセンター)廃園 昭56.3.31
	着工 昭56.5完成	
昭56(1981).4	山田配水池送水管φ350mm布設工事着工	紀州製紙施設使用料8円50銭/m³に改定
	昭56.7完成	
昭56(1981).9	西部配水幹線 φ 300mm布設工事着工	泉浄水所粒状活性炭投入 昭56.9.8
	昭56.11完成	
	片山浄水所府水導入管φ450mm布設第4期	建設省より水利使用許可 昭56.9.24
	工事着工 昭56.11完成	(30,000m³/日)
昭56(1981).12	片山浄水所第4配水池新設工事	
	(容量14,000m³)着工 昭58.8完成	
昭57(1982).4	片山配水池φ400mm布設工事着工	直営電子計算機へ移行
	昭57.5完成	
昭57(1982).5	片山浄水所次亜塩素酸ソーダ注入設備工事	in the state of th
	着工 昭和57.8完成	
昭57(1982).7	府道大阪高槻京都線配水管 φ 600mm横断工	事
	着工 昭57.9完成	
昭57(1982).9		電子計算機端末機による検索開始
昭58(1983).4		紀州製紙施設使用料10円/m³に改定
昭58(1983).8	中継ポンプ場新設工事 昭59.1完成	
昭58 (1983). 10	(仮称) 西江坂コミュニティー道路送水管	the state of the s
	φ 500mm布設工事 昭59.1完成	
	中継ポンプ場新設工事(建築の部)	
	昭59.1完成	
昭59(1984).2		異常寒波による給水管等の凍結
昭59(1984).4	片山昭和町送水幹線φ600㎜布設工事	督促手数料改定
	(その1) 昭59.5完成	
昭59(1984).6	片山昭和町送水幹線φ600㎜布設工事	
	(その2)昭59.10完成	
	津雲配水場送水ポンプ増設工事着工	
	昭59.10完成	
昭59 (1984). 10		府営水57円20銭/m³に改定
		大阪市水55円/m³に改定
		異常渇水により第1次取水制限を受ける
		(10%カット) 昭59.10.8

年 月	建 設	制度等
昭59(1984).11	佐井寺区画整理内送配水管 φ 100~450r	m布 異常渇水により第2次取水制限受ける
	設工事 昭60.2完成	(20%カット) 昭59.11.6
昭60(1985).4	第2期上水道施設等整備事業着手(第	L 期
	継続) 平 5.3完成	
昭60(1985).8		泉浄水所粒状活性炭敷置 昭60.8.24
昭60(1985).11	南千里片山送水幹線 ø 700mm布設工事	
	(その2、3) 昭61.4完成	
昭61(1986).3		吹田市水道事業協力会連絡協議会解散
昭61(1986).8	南千里片山送水幹線 ø 700mm布設工事	
	(その1) 昭61.9完成	
	南千里片山送水幹線 ø 700mm布設工事	
	(その6) 昭61.11完成	
昭61(1986).10	南千里片山送水幹線 ø 700mm布設工事	異常渇水により第1次取水制限を受ける
	(その5) 昭62.1完成	(10%カット) 昭61.10.17
昭61(1986).11	中央管理室計装設備工事 昭62.3完成	異常渇水により第2次取水制限を受ける
		(20%カット) 昭61.11.28
昭62(1987).2	南千里片山送水幹線 φ 700mm布設工事	
	(その4) 昭62.5完成	
昭62(1987).3	南千里片山送水幹線 φ 700mm布設工事	
	(その7) 昭62.6完成	
昭62(1987).6		泉浄水所で粒状活性炭敷置
昭62(1987).7		部に「理事」設置
昭62(1987).8	泉浄水所汚泥処理設備工事	
	(その1、その2) 昭63.5完成	
昭62(1987).10		部長を一般職として設置(昭62.10.20公布)
昭63(1988).4	府工業用水道緊急応援分水工事	
	昭63. 11完成	
昭63(1988).9	千里丘下配水管 φ 250~300mm布設工事	泉浄水所で粉末活性炭投入
	平元. 1完成	
昭63(1988).11	中央管理室計装設備工事 平元. 1完成	
平元(1989).4		府営水55円54銭/m³に改定
		消費税法施行(3%)、水道料金改定(平均26.88%)
		遠隔契約における差水料金徴収の原則廃止
平元(1989).6	南千里佐井寺送水幹線 ø 700mm布設工事	水の缶詰「千里の水」製造配布、泉浄水所で粉末
	平2.1完成	活性炭投入 (6/20~7/11)
平元(1989).7		「3階」直結給水開始(個人住宅)
平2(1990).2	地下水系浄水処理実験設備製作	
平2(1990).3	泉表流水No. 2 沈澱池汚泥排泥装置完成	
平2(1990).4		市制施行50周年、水の缶詰再製造、機構改革実施
平2(1990).5		泉浄水所で粉末活性炭投入 (5/24~6/20)

年 月	建 設	制度等
平2(1990).6	片山浄水所さく井掘替工事 平3.3完成	
	佐井寺配水池築造工事 平3.3完成	
	中央管理室計装設備改良工事 平2.11完成	
平2(1990).7	高度浄水処理実験設備工事 I 平2.12完成	
平2(1990).8	佐井寺南区画整理内配水管	
	φ 100~450mm布設工事 平3.3完成	
	佐井寺南区画整理内送水管	
	φ 300~700mm布設工事 平3.3完成	
平2(1990).9	泉浄水所さく井掘替工事 平3.3完成	泉浄水所で粉末活性炭投入 (9/3~9/14)
平2(1990).10	泉浄水所No.1 沈澱池改良工事 平3.3完成	
平3(1991).3		淀川表流水水利権更新(1回目)
平3(1991).5		「千里の水」1.5リットル ペットボトル 製造配布
平3(1991).6	高度浄水処理実験設備工事Ⅱ 平3.9完成	第1回市民水源見学バスツアー実施
平3(1991).7	佐井寺南区画整理内配水管	
	φ 100~250mm布設工事 平4.9完成	
平3(1991).8		泉浄水所で粉末活性炭投入(8/21~10/14)
平3(1991).10		見学者用水道PRビデオⅡ完成
平3(1991).11	佐井寺南区画整理内送水管	
	φ 450~700mm布設工事 平4.3完成	
平4(1992).4		高度浄水処理水「プリボーナ・フォント」製造配布
		紀州製紙施設使用料12円20銭/m³に改定
平4(1992).5	片山浄水所水処理設備改良工事	
	平5.10運転開始	
平4(1992).7		水道事業懇談会開催(同年9月4日提言、解散)
平4(1992).8	泉浄水所さく井掘替工事 平5.5完成	泉浄水所で粉末活性炭投入(8/5~8/19)
	佐井寺南区画整理内配水管	建設省より水利使用許可(継続)平4.8.25
	φ75~350mm布設工事	(30, 240 m <sup>3</sup> /日)
平4(1992).10	佐井寺南区画整理内送水管 φ 700mm布設工事	
平5(1993).3	第6次拡張事業(第3回変更認可取得)	
平5(1993).4	片山浄水所前処理施設稼働	水道料金改定(平均29.85%)
		府営水74円50銭/m³に改定
		「プリボーナ・フォント」再製造
		「3階」直結給水開始(集合住宅等)
平5(1993).5		泉浄水所で粉末活性炭投入(5/31~6/14)
平5(1993).6		大阪市水74円/m³に改定
平5(1993).8	泉浄水所さく井掘替工事 平6.2完成	
平5(1993).11		開発負担金改定
平5(1993).12		水質新基準施行
平6(1994).3	中央管理室制御用電算機更新工事完成	(財)吹田市水道サービス公社による小規模受水槽
	片山浄水所ポンプ設備工事完成	無料点検サービス開始
平6(1994).6		水道週間シンポジウム開催

年 月	建 誤	T.	制	度	等
平6(1994).8			泉浄水所で粉末沿	舌性炭投入(8,	/12~9/21)
			異常渇水により	8月22日、渇水	《対策本部を設置
			(第3次取水制)	限20%カット実	<b>延施、10/4解散)</b>
平6(1994).10	庁舎第一別館完成				
	高度浄水処理設備築造工事起工				
平7(1995).3			千里山浄水所廃」	Ŀ	
			水道部災害対策	委員会(阪神・	淡路大震災) 設置
平7(1995).4			営業電算新シスプ	テム稼働	
			非常用飲料水製	告開始	
平7(1995).9	庁舎本館改装完了				
平8 (1996).4			「5階」直結給	水開始	
平8 (1996).7			水道事業経営審認	義会発足	
			「O-157」対策	委員会設置	
平8 (1996).12	蓮間配水場耐震化設備工事着工		臨時用保証金改算	ŧ	
	平9.3完成				
平9(1997).1			異常寒波による紀	給水管等の凍結	± 1
平9(1997).3			メーター口径30m	m採用(メータ	'一料徴収は4月分
			から)、加入金	・開発負担金改	定定
平9(1997).4			水道料金改定(	平均23.13%)	
			地方消費税導入	等による消費税	色率引上げ(5%)
			「O-157」対策	委員会設置	
平9(1997).5			摂津市からの受力	水停止	
平9(1997).6	高度浄水処理設備築造工事竣工、付	供給開始	記念式典挙行(3	事業創設70周年	三、高度浄水処理設
			備築造工事竣工、	水道サービス	公社創設30周年)
			見学者用水道 P	R ビデオⅢ完成	ζ
平9(1997).8	佐井寺配水場ポンプ設備工事着工				
	平10.4完成				
平9(1997).9	千里山配水池築造工事着工				
	平11.6完成(千里山配水場に名称る	変更)			
平9(1997).12	津雲配水場耐震化工事着工 平10.	. 5完成	水道条例改正(打	<b>旨定工事店制度</b>	E、メーター料改定
			平10.4施行)		
平10(1998).4			指定工事店制度	<b></b>	
			メーター料改定	(半額) 、災害	F配備体制改定 
平10(1998).5			水道事業経営審認	義会「答申」	
平10(1998).7			水道事業経営審認	義会(第2次)	スタート
			府営水道が高度活	争水処理全面移	受働
	災害用備蓄倉庫(津雲)完成				
平10(1998).11	山田配水場耐震化工事着工 平11.	. 3完成			
平11(1999).6			「コンピュータ」	西暦2000年問題	5」 危機管理対策委
			員会設置		
平11 (1999). 11			職員待機宿舎(日	山水荘)閉館	
平11(1999).12	片山浄水所耐震化工事着工 平12.	. 3完成			

年 月	建 設	制 度 等
平12(2000).4		財務会計システムスタート、開発負担金改定
平12(2000).7		水道事業経営審議会(第3次)スタート
平12(2000).9		渇水対策本部を設置 (9/7)
		(10%取水制限 9/18解散)
平12(2000).10		府営水88円10銭/m³に改定
平12(2000).12	泉浄水所耐震化設備工事着工 (No.1 ポンプ	
	井流入出管整備)平13.5完成	
平13(2001).2	災害用備蓄倉庫(山田)完成	
平13(2001).3		淀川表流水水利権更新 (2回目)
平13(2001).4		再任用制度スタート
平13(2001).7		水道料金、メーター料、手数料(道路占用申請・
		修繕)、加入金に消費税転嫁(外税5%)
平13 (2001). 10		当直業務を民間委託
		「5階」直結増圧給水開始
平14(2002).3		マッピングシステム一部稼動(名神以南)
平14(2002).4		大阪市水84円/m³に改定、改正水道法施行
		紀州製紙施設使用料11円50銭/m³に改定
平14(2002).5		ペットボトル水「千里の水」製造
平14(2002).6		水道事業経営審議会「答申」
平14(2002).7		水道事業経営審議会(第4次)スタート
平14(2002).9		渇水対策会議を設置 (9/30)
		(10%取水制限 平15.1.8解散)
平14(2002).12		水道条例改正(貯水槽水道関係、平15.4施行)
平15 (2003).1		「10階程度」まで直結増圧給水開始
		異常寒波による給水管等の凍結
平15(2003).4		マッピングシステム全面稼動
		片山浄水所内(旧水道遊園)に「虹と水の広場」
		完成
平15(2003).6		水道部独自のホームページを開設
平15 (2003). 12	泉浄水所構内耐震化工事着工(第1配水池	
	流入出管整備)平16.8完成	
平16(2004).1	片山浄水所遠隔操作設備工事完了	
	(平16.4月からは遠隔操作による無人化)	
平16(2004).4	第1次上水道施設等整備事業着手	水質新基準施行
	(平16.4~平26.3)	
平16 (2004).7		水道事業経営審議会(第5次)スタート
平17 (2005).1	万博配水場減圧設備工事着工 平18.2完成	
平17 (2005).3	泉浄水所構内耐震化工事着工(第2配水池	
	及びNo.2 ポンプ井流入出管整備)平18.7完成	
平17 (2005).4		電子入札導入
		第1回津雲配水場ツツジー般公開
	•	•

年 月	建 設		制	度	等
平17(2005).8			水道災害サポーター	-制度発足	
			水道モニター制度系	<b></b> 栓足	
平17(2005).12	泉浄水所洗浄水槽築造工事着工 平18.	. 3完成			
平18(2006).6			水道事業経営審議会	会「答申」	
平18(2006).7			水道事業経営審議会	会(第6次)	スタート
平18(2006).8	泉浄水所自家発電設備取替工事着工				
	平19. 3完成				
平18 (2006). 11			「吹田市水道部中期	閉経営計画」第	<b>兼定</b>
平18 (2006). 12			水道条例改正		
			(宅内修繕廃止 平1	9.4施行、	
			日割計算 • 口座振春	幹割引制度 平	19.10施行)
平19(2007).4			水道料金改定		
			(基本水量及び最高	哥単価見直し、	平均△3.36%)
		,	機構改革実施(係制	削廃止)	
平19(2007).9	蓮間配水場ポンプ改良工事着工 平20	0.3完成	水道GLP認定取得		
平19(2007).10	蓮間配水場自家発電設備取替工事着工	Ľ.	新水道料金システム	<b>森動</b>	
	平20. 3完成		日割計算・口座振権	<b>替割引制度開</b> 頻	冶
			郵便局・コンビニコ	ニンスストアリ	<b>以納開始</b>
平20(2008).3			ペットボトル水「吲	大田 いずみの	の水」製造
平20(2008).7			水道事業経営審議会	会(第7次)	スタート
平20(2008).9	津雲配水場自家発電設備取替工事着工	Ľ.			
	平21. 3完成				
平20(2008).11			高齢者宅の水道の無	無料相談・点材	<b></b>
平21(2009).2			「小学校への出前技	受業」開始	
平21(2009).3	小学校の水飲み場設置事業開始				
平21(2009).4		,	水道事業経営審議会	:「答申」	
平21(2009).9	泉浄水所第2ポンプ室耐震化工事着工	Ľ.			
	平22. 5完成				
平21(2009).10			大阪市水70円/m³1	こ改定	
			老朽管更新事業・国	国庫補助金交付	讨決定
平21(2009).12			「すいすいビジョン	/2020」策定	
平22(2010).1			メーター検針業務-	一部委託開始	
平22(2010).3	第6次拡張事業(第4回変更認可取得)	)			
平22(2010).4	鉛製給水管面的整備事業開始		水道事業経営審議会	会「答申」	
	第2次上水道施設等整備事業着手		府営水78円/m³にī	<b></b>	
	(平22.4~平32.3)				
平22(2010).6			車両リース導入		
平22(2010).7			水道事業経営審議会		
平22(2010).10	泉浄水所薬注棟耐震化工事着工		口座振替割引制度机		
<b>ਜ਼ਰੂਰ (2212)</b> ਤ	平23. 3完成		鉛製給水管布設替コ	工事助成金制度	<b></b>
半22(2010).11	津雲配水場第1配水池ほか耐震化工事	<b>声</b> 看上			
亚99(9010) 19	平23.7完成    片山浄水所第4配水池ほか耐震化工事	1 差 丁			
<del></del>	万田伊水所第4配水池はか	日上			
	一				

年 月	建 設	制 度 等
平23 (2011).	1	净水運転管理業務(夜間)委託開始
		東日本大震災応急給水活動支援隊派遣
平23 (2011).3	3	(宮古市、大船渡市、陸前高田市 3/16~5/21、
		40名派遣)
平23 (2011).	1	メーター検針業務委託地域拡大
		大阪広域水道企業団事業開始
		淀川表流水水利権更新 (3回目)
平23 (2011).9	在	水道GLP認定更新(1回目)
	平24. 2完成	
	泉浄水所電算機更新工事着工 平25.3完成	
	12  片山浄水所さく井新設工事着工 平24.5完	
平24(2012).3	3	水道法施行条例制定
		(布設工事監督者関係、平24.4施行)
		水道部分室廃止
平24(2012).4	4	メーター検針業務全市域委託
		北越紀州製紙施設使用料10円90銭/m³に改定
平24(2012).6		水道事業経営審議会「提言」
平24(2012).		水道事業経営審議会(第9次)スタート
平24(2012).8		第1回水道フェア(夏休みすいすいくん祭り)
平24(2012).	10 泉浄水所第1配水池耐震化工事着工	水道料金滞納整理業務委託開始
	平27.1完成	
平24 (2012).	12 津雲配水場第3配水池耐震化工事着工	
平25 (2013).:	平26. 7完成	
<del></del>		「吹田市水道施設マスタープラン」策定
平25 (2013).4	4	(財)吹田市水道サービス公社解散 企業団水75円/m <sup>3</sup> に改定
	* 9 片山浄水所さく井新設工事着工 平26.7完	
平25 (2013).		北越紀州製紙施設使用料11円30銭/m³に改定
	12 山田配水場配水池耐震化工事着工	北巡杭州泰林旭队区/[[村11]] 100线/ III (C以足
1 20 (2010) .	平27. 3完成	
平26 (2014).4		水道料金・メーター料(6月検針分より適用)、
		加入金に転嫁の消費税8%に改定
		新地方公営企業会計制度を平成26年度予算から
		適用
平26 (2014).6	3	水道事業経営審議会「答申」
平26 (2014).	7	水道事業経営審議会(第10次)スタート
平26(2014).	11 津雲配水場第2配水池耐震化工事着工	
	平27.12完成	
平26 (2014).9	9 吹田操車場跡地耐震性緊急貯水槽設置工事	F
	着工 平27.3完成 平29.2供用開始	
平26(2014).	10 泉浄水所薬品注入設備更新工事着工	
	平27.9完成(PAC貯槽室)	
平27 (2015).4	4	北越紀州製紙施設使用料11円40銭/m³に改定
		組織改正 (3室体制を4室体制に変更)
平27 (2015).7	7	千里浄水池敷地内での共同ポンプ施設整備に係る
		覚書締結(企業団及び豊中市、吹田市、箕面市)

年 月	建 設	•	 制		等
平27(2015).7			泉浄水所一部土地昇	<del></del>	
			(南吹田駅前線立体	本交差事業)	
平27(2015).9			水道GLP認定更新(	2回目)	
平27(2015).12				直料金2年でႯ	
			口径別料金、加入金	金改定ほか、平	区28.4施行)
			開発事業の手続等に	こ関する条例は	女正
			(開発負担金の廃」	上、平28.4施行	丁)
			企業団規約の変更	(3団体統合、	平29.4施行)
平28(2016).1			メーター検針業務・	<ul><li>滞納整理業務</li></ul>	<b></b>
			閉栓時現地精算サー	ービス開始	
平28(2016).1			異常寒波による給力	水管等の凍結	
平28(2016).3			水道条例改正		
			(地下水等利用専用	用水道、平28.1	0施行)
			水道事業の設置等に	こ関する条例は	女正(平28.4施行)
平28(2016).3	再構築事業(変更認可取得)				
平28(2016).4			組織改正(課制廃」	上、グループ国	[編]
平28(2016).4			水道料金改定		
			(平均5.5%、口径別	料金に移行、	ベーター料廃止)
			加入金の改定、開発	負担金、配水管	管工事分担金制度
			及び督促手数料、発	延滞料の廃止	
平28(2016).4			高齢者世帯声かけた	サービス開始	
			認知症サポーターの	の取組開始	
平28(2016).4			平成28年熊本地震區	芯急給水支援隊	<b>於派遣</b>
			(熊本市 4/16~4/	30、15名派遣	)
平28(2016).6			大阪広域水道企業団	団が所有する∃	F里浄水池の敷地
			内における豊中市、	吹田市及び笋	<b>美面市の共同ポン</b>
			プ施設の第1期整備	事業等に関す	る基本協定書締
			結(企業団及び豊富	中市、吹田市、	箕面市)
平28(2016).7			水道事業経営審議会	会(第11次) >	スタート
平28(2016).8			旧王子給水塔用地一	一部売却(3筆	ぎのうち2筆)
平28(2016).10	片山浄水所水処理施設更新工事着コ	Ľ.			
平28(2016).11	片山浄水所·泉浄水所連絡管布設工	事着工			
平29(2017).2	北大阪健康医療都市(健都)耐震性	生貯水槽			
	9か所目の災害時給水拠点として使	共用開始			
平29(2017).4			水道料金改定(平均	匀4.5%相当分)	
平29(2017).4			大阪広域水道企業因		(四條畷市、太子
			町、千早赤阪村) な	び事業統合	
			企業団議会議員定数	数を30名から3	3名に変更
平29(2017).7			水道モニター制度原		
平29(2017).8			吹田市などで大規模		層住宅等で断水
			が発生し、応急給力		
平30(2018).3			水道部経営企画会調		
平30(2018).4			企業団水72円/m³		
			「水道いどばた会調	_	
平30(2018).5			水道事業経営審議会	会「答申」	

年 月	建	設	制 度 等
平30(2018).6			大阪府北部地震(濁水発生で応急給水拠点開設)
平30(2018).7			企業団規約の変更(7団体統合(うち、1団体は
			令6.4施行) 平31.4施行)
			平成30年7月豪雨応急給水支援隊派遣
			(岡山県倉敷市真備町 7/11~7/17、12名派遣)
7620 (2019) O			台風21号(停電によりマンション等で断水が発生
平30(2018).9			し、応急給水活動実施)
平30(2018).10			水道事業経営審議会(第12次)スタート
平31(2019).3	泉浄水所 高架水槽撤去		水道の閉開栓のインターネット受付サービス開始
平31(2019).4	第3次上水道施設等整備事	業着手	大阪広域水道企業団と6市町(泉南市、阪南市
	(平31.4~令12.3)		豊能町、忠岡町、田尻町、岬町)が事業統合
令元(2019).7			水道条例改正(指定給水装置工事事業者の指定に
			係る更新手数料の制定及び指定手数料の改定)
令元(2019).9			「すいすいビジョン2029」策定
			水道GLP認定更新 (3回目)
令元(2019).10			水道料金(12月検針分より適用)、加入金に転嫁
			の消費税を10%に改定
			改正水道法施行
令元(2019).11	佐井寺配水場小水力(マイ	クロ水力)発電	
	設備の設置及び運用開始		
令元(2019).12			水道条例改正(平均15.2%改定、令2.4施行)
			旧王子給水塔用地売却
令2(2020).2			新型コロナウイルス感染症対策本部設置
令2(2020).3	部庁舎(本館)耐震補強工	事完成	大阪市との分水契約解除(東、西御旅町)
			大阪市と吹田市の応援給水に関する協定書締結
			コロナ禍における水道料金支払い猶予開始
令2(2020).4			水道料金改定(平均15.2%改定)
			「すいすいビジョン2029」スタート
			水道料金のスマートフォン決済開始
			中核市に移行
令2(2020).7			企業団規約の変更 (4団体統合 令3.4施行)

## 3. 事業認可の変遷

1百日	<b>⇒</b> ⊼ ਜ਼ਾਂ	計	画	
項 目 名 称	認可 	給水人口	一日 最大給水量	備考
	1 / 4	(人)	(m³/目)	
創 設	昭和 2年3月	30,000	3,300	吹田町営水道給水開始
第1次水道拡張事業	昭和 23 年 3 月	70,600	12,700	給水人口(給水量)の増加 及び送水管布設事業等
第2次水道拡張事業	昭和 24 年 4 月	70,600	17,520	給水人口(給水量)の増加 及び千里山浄水所さく井新設等
第3次水道拡張事業	昭和 32 年 2 月	128,000	42,240	給水人口(給水量)の増加
第4次水道拡張事業	昭和 36 年 2 月	160,000	62,300	給水人口(給水量)の増加 (千里ニュータウン建設等)
第5次水道拡張事業	昭和 40 年 3 月	211,000	99,170	給水人口(給水量)の増加 (千里ニュータウン建設等)
第6次水道拡張事業	昭和 44 年 2 月	308,000	169,000	給水人口(給水量)の増加 (千里ニュータウン建設等)
第6次水道拡張事業 (変更)	昭和 46 年 3 月	411,000	199,900	給水人口(給水量)の増加
第6次水道拡張事業 (2回変更)	昭和 47 年 3 月	411,000	199,900	千里丘陵地区上水道事業の統合
第6次水道拡張事業 (3回変更)	平成 5年3月	379,200	208,000	浄水方法の変更 (泉浄水所:高度処理の導入) (片山浄水所:除鉄施設の導入)
第6次水道拡張事業 (4回変更)	平成 22 年 3 月	368,900	155,100	取水地点の変更 (片山浄水所:さく井の掘り替え) (泉浄水所:さく井の掘り替え)
水道再構築事業	平成 28 年 3 月	365,300	141,000	取水地点の変更 (片山浄水所:さく井の新設) 浄水方法の変更 (片山浄水所:膜処理設備の導入)

## 4. 料金等の変遷

## (1)水道料金の変遷 (1か月につき)【創設~令和2年】

改定年	昭和2年(1927年)			B	昭和8年(1933年)			昭和22年(1947年)			
料率	基本料金		超過料金	基本料金		超過料金	基本料金		超過料金		
種別	石	銭厘	1石について (銭厘)	$\mathrm{m}^3$	銭厘	1m³について (銭厘)	$\mathrm{m}^3$	円	1m³について (円)		
小 口 専 用											
一般専用											
大 口 専 用											
家事営業用	30	75	2.5	5.5	72	13.2	10	45	5.50		
定 額 用 (1戸4人まで)								45	1人増加毎に 11		
会社工場用							10	60	6.50		
特別営業用			3			13.2					
官公署学校用							10	60	6.50		
公衆浴場用			2			10.5	300	900	3		
公営プール用											
庭 園 用			3			30	10	300	30		
原動力用			3			16	100	800	8		
臨 時 用											
集団住宅第一種 (受水槽のあるもの)											
集団住宅第二種 (受水槽のないもの)											
共用一般住宅用	20	40	2	3.2	38	10.5	10	40	10		
共用アパート用											
共 用 定 額 用 (1戸4人まで)								40	1人増加毎に 10		

## (2)メーター料の変遷 (メーター1個1か月につき)【創設~平成28年】

· · · ·	11112	***							
改定年	昭和2年	昭和8年	昭和22年	昭和24年	昭和27年	昭和37年	昭和40年		
口径	(1927年)	(1933年)	(1947年)	(1949年)	(1952年)	(1962年)	(1965年)		
13mm	30銭	30銭	無料	無料	無料	無料	20円		
20mm	40銭	40銭	無料	無料	無料	50円	80円		
25mm	60銭	60銭	20円	40円	50円	80円	80円		
40mm	2円	2円	50円	100円	120円	180円	180円		
50mm	3円	3円	100円	200円	360円	540円	540円		

昭和	昭和24年(1949年)		昭和27年(1952年)		昭和37年(1962年)			昭和40年(1965年)			
基本	料金	超過料金	基本	料金	超過料金	基本	料金	超過料金	基本	料金	超過料金
$m^3$	円	1m³について (円)	$\mathrm{m}^3$	円	1m³について (円)	$\mathrm{m}^3$	円	1m³について (円)	$\mathrm{m}^3$	円	1m³について (円)
									10	200	30
									10	280	38
						40	1,000	30	40	1,280	42
10	130	13	10	170	17	10	200	25			
	130	1人増加毎に 20		170	1人増加毎に 30						
10	150	16	10	200	21						
10	150	16	10	200	21	10	250	30	10	320	38
300	3,200	11	300	4,300	15	300	5,400	20	800	17,600	25
									1	30	30
10	1,000	100	10	1,300	130	10	3,000	300			
100	2,400	24	100	3,200	37						
			10	200	21	10	350	35	10	500	50
									1	25	25
									戸数× 10	戸数× 200	30
10	110	11	10	150	15	10	180	20	10	200	25
						室数× 10	室数× 180	25	室数× 10	室数× 180	30
	110	1 人増加毎に 22		150	1人増加毎に 30						

改定年	昭和2年	昭和8年	昭和22年	昭和24年	昭和27年	昭和37年	昭和40年
口径	(1927年)	(1933年)	(1947年)	(1949年)	(1952年)	(1962年)	(1965年)
75mm	4円	4円	210円	420円	500円	750円	750円
100mm	_	_	_	_	600円	900円	900円
125mm	_	_	_	_	850円	1,280円	_
150mm	_	_	_	_	1,000円	1,500円	1,500円
200mm	_	_	_	_	_	2,000円	2,000円

		改定	年		昭	和 51 年	手(19	76年)		昭	和 52 年	F (1977	7年)	昭	和 53 年	F (1978	3年)
		料	率	基	本		超	過		基	本	超	過	基	本	超	過
種	別			水量	料金		水	量	料金	水量	料金	水量	料金	水量	料金	水量	料金
				$m^3$	円				円	$m^3$	円		円	$\mathrm{m}^{\scriptscriptstyle 3}$	円		円
小	П	専	用	10	260	第1段	10m³を	超え 20m³まで	35	10	290	第1段	50	10	370	第1段	60
						第2段	20m³	" 30m³ "	40			第2段	60			第2段	75
						第3段	30m³	″ 50m³ ″	45			第3段	75			第3段	90
-	般	専	用	10	310	第4段	50m³	″ 300m³ ″	55	10	340	第4段	90	10	400	第4段	110
						第5段	300m³ "	$1,000 \mathrm{m}^3$ "	80			第5段	110			第5段	130
						第6段	1,000m³を	超える分	105			第6段	130			第6段	150
集	団信	E宅	用	10	260					10	290			10	370		
公	衆浴	分場	用		1m	³につき		25 円		1m	ぷにつき	30	) 円	1r	n³につき	\$ 40	円
臨	Ħ	宇	用		1m	ぷにつき		105 円		1m	i³につき	160	) 円	1r	n³につき	180	円
家	事	共	用	10	260	1m	ı³につき	30 円		10	290	1m³k3	こつき 35 円	10	370	1m³k3	こつき 50 円
平均	匀料金	2改定	率	45. 52 %						35.	00 %			19.	77 %		

## メーター料の変遷 (メーター1個1か月につき)

改定年	昭和51年	平成9年	平成10年	平成28年			
口径	(1976年)	(1997年)	(1998年)	(2016年)			
	円	円	円				
13mm	50	50	25				
20mm	90	90	45				
25mm	90	90	45	メーター料 廃止			
30mm	_	180	90	7) ( 111			
40mm	240	240	120				
50mm	1,000	1,000	500				

昭为	和 54 年	F (1979	9年)	平。	成元年	€ (1989	年)	平	成 5 年	€ (1993	年)	平	成 9 年	(1997	年)
基	本	超	過	基	本	超	過	基	本	超	過	基	本	超	過
水量	料金	水量	料金	水量	料金	水量	料金	水量	料金	水量	料金	水量	料金	水量	料金
$m^3$	円		円	$m^3$	円		円	$m^3$	円		円	$m^3$	円		円
10	390	第1段	60	10	460	第1段	70	10	600	第1段	90	10	720	第1段	110
		第2段	75			第2段	95			第2段	125			第2段	160
		第3段	95			第3段	125			第3段	165			第3段	210
10	420	第4段	115	10	490	第4段	155	10	640	第4段	205	10	770	第4段	260
		第5段	135			第5段	190			第5段	245			第5段	310
		第6段	160			第6段	225			第6段	291			第6段	350
10	390			10	460			10	600			10	720		
1m	<sup>3</sup> につき	40	円	1m	ぷにつき	45	円	1m	ı³につき	60	円	1m	ı³につき	75	円
1m	ı³につき	200	円	1m	ı³につき	270	円	1m	ı³につき	380	円	1m	ı³につき	450	円
10	390	1m³k3	こつき 50円	10	460	1m <sup>3</sup> k <sup>3</sup>	こつき 65円	10	600	1m³₹Z	つき 90円	10	720	1m³{3	:つき 110円
	3. 9	94 %			26.	88 %			29.	85 %	_	23. 13 %			

改定年	昭和51年	平成9年	平成10年	平成28年
口径	(1976年)	(1997年)	(1998年)	(2016年)
	円	円	円	
75mm	1,300	1,300	650	
100mm	1,400	1,400	700	メーター料
150mm	2,700	2,700	1,350	廃止
200mm	6,700	6,700	3,350	
250mm	8,800	8,800	4,400	

※平成13年(2001年)7月1日(8月検針分)から水道料金、メーター料に消費税相当額を転嫁(外税5%) ※平成26年(2014年)6月検針分から水道料金、メーター料の消費税相当額を8%に改定

	\	改定	年			平成1	9年(	200	7年)		平月	戊 22 年	€ (2010	年)
		料	率	基	本		走	<u>召</u>	過		基	本	超	過
種	別		/	水量	料金		水		量	料金	水量	料金	水量	料金
				$m^3$	円					円	m <sup>3</sup>	円		円
小	П	専	用	6	600	第1段	6m <sup>3</sup>	を超え	と 10m³まで	30	6	600	第1段	30
						第2段	$10 \mathrm{m}^3$	"	20m³ ″	110			第2段	110
						第3段	$20 \mathrm{m}^3$	"	$30\text{m}^3$ "	160			第3段	160
_	般	専	用	6	650	第4段	$30 \mathrm{m}^3$	"	50m³ "	210	6	650	第4段	210
						第5段	$50 \mathrm{m}^3$	"	$300 \mathrm{m}^3$ "	260			第5段	260
						第6段	$300 \mathrm{m}^3$	を超に	える分	310			第6段	310
集	団信	主宅	用	6	600						6	600		
公	衆浴	分場	用			1m³k3	つき		75 円		1m³k3	つき		75 円
臨	B	宇	用			1m³k3	つき		450 円		$1\mathrm{m}^3$	こつき	4	.50 円
家	事	共	用	6	600	第1段 第2段			え 10m³まで える分	30 110	6	600	第1段 第2段	30 110
口,	座 振	替 割	引			1回あたり 50円			1	回あたり	100	第1段 30 第2段 110 第3段 160 第4段 210 第5段 260 第6段 310 プラファ 円 450 円 第1段 30 第2段 110		
平井	匀料金	含改定	率			۷	\3. 36	5%				△0.	. 5%	

## (3)加入金の変遷【創設~】

改定年	昭和47年	昭和49年	昭和51年	平成9年					
口径	(1972年)	(1974年)	(1976年)	(1997年)					
	千円	千円	千円	千円					
13mm	50	66	80	80					
20mm	50	66	80	80					
25mm	80	110	140	140					
30mm		_	_	210					
40mm	260	345	420	420					
50mm	450	595	730	730					
75mm	1,200	1,610	2,000	2,000					
100mm	2,500	3,300	4,000	4,000					
150mm以上	管理者が別に定める額								

Ş	女 定:	年			平成2	28年(2	2016年)	)				
						従量料	金(1m³	につき)				
区分		-ター 1径	基本料金	$6m^3$	$7 \text{m}^3$	$11\text{m}^3$	$21\text{m}^3$	$31\text{m}^3$	51m <sup>3</sup>	301m <sup>3</sup>		
	(n	nm)		まで	$\sim$ $10\text{m}^3$	$\sim$ $20\text{m}^3$	$\sim$ $30\text{m}^3$	$\sim$ $50\text{m}^3$	$\frac{\sim}{300\text{m}^3}$	~		
	小	13	670円									
	П	20	740円	0円	30円	120円	170円	230円	270円	310円		
	径	25	910円									
	中	30	1,000円									
		40	1,700円	30	円	170	0円	230円	270円	310円		
般	径	50	3,100円									
		75	7,000円			170円						
	大	100	19,000円					270円				
		150	78,000円	30	円					310円		
	径	200	172,000円									
		250	315,000円									
	区分		基本料金			従量料	金(1m³	につき)				
1	衆浴	場	740円				75円					
	臨時		メーター口径 に準ずる				450円					
口座	口座振替割引			1回あたり 100円								
平均制	斗金!	) 定率				5. 5 %	)					

<sup>※</sup>平成26年(2014年)6月検針分から消費税相当額を8%に改定

平成28年
(2016年)
千円
160
160
320
560
970
1,710
4,330
8,540
管理者が別に定める額

※平成13年(2001年)7月から加入金に消費税相当額を転嫁(外税5%) ※平成26年(2014年)4月から加入金の消費税相当額を8%に改定 ※令和元年(2019年)10月から加入金の消費税相当額を10%に改定

Ę	女 定	年			平成2	29年(2	2017年)	)		
						従量料	金(1m³	につき)		
区分		-ター 1径	基本料金	6m <sup>3</sup>	$7 \text{m}^3$	$11\text{m}^3$	$21\text{m}^3$	$31\text{m}^3$	$51\text{m}^3$	301m <sup>3</sup>
	(r	nm)	まで ~		$\sim$ $10\text{m}^3$	$\sim$ $20\text{m}^3$	$\sim$ $30\text{m}^3$	$\sim$ $50\text{m}^3$	31m³ 51m³ 30 ~ 50m³ 300m³ 2300円 3. 230円 270円 3. 270円 3.	~
	小	13	710円							
	口径	20	780円	0円	40円	120円	180円	230円	270円	310円
	住	25	990円							
	中	30	1,200円							
	П	40	2,100円	40	円	180	0円	230円	270円	310円
般	径	50	3,800円							
		75	9,000円							
	大	100	24,000円							
	口径	150	97,000円	40	円	180	180円		)円	310円
	1至	200	216,000円							
		250	394,000円							
	区分		基本料金			従量料	金(1m³	につき)		
4	〉衆浴	場	780円				75円			
	臨時		メーター口径 に準ずる				450円			
口座	口座振替割引				1回あ	たり	100円			
平均;	料金	改定率				4. 5 %	)			

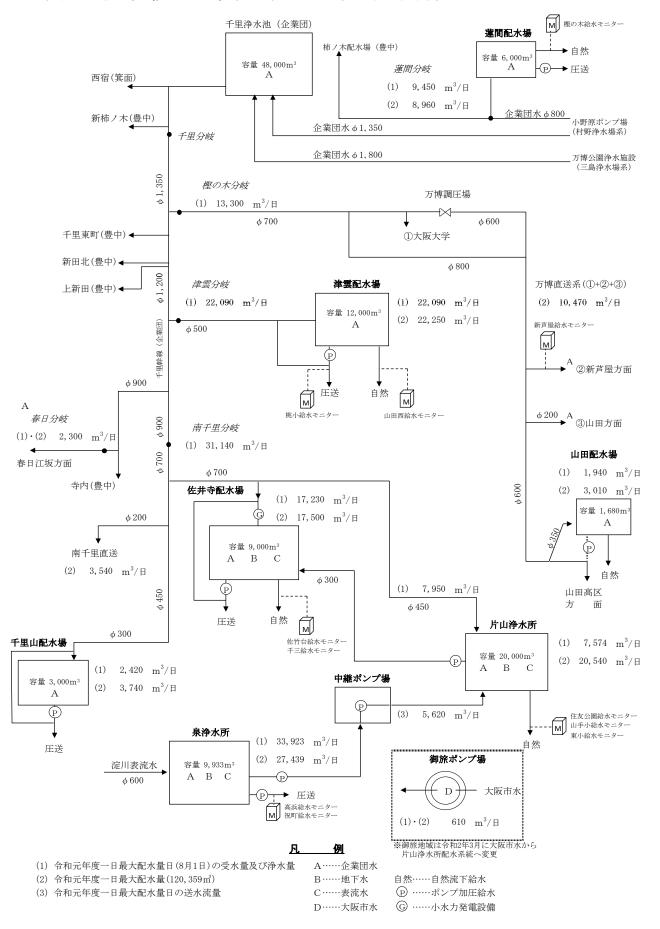
※令和元年(2019年)12月検針分から消費税相当額を10%に改定

ţ	女 定:	年			令和:	2年(2	020年)						
		_				従量料	金(1m³	につき)					
区分		-ター 1径	基本料金	$6m^3$	$7 \text{m}^3$	$11\text{m}^3$	$21\text{m}^3$	$31\text{m}^3$	51m <sup>3</sup>	$301 \text{m}^3$			
	(n	nm)		まで	$\sim$ $10\text{m}^3$	$\sim$ $20\text{m}^3$	$\sim$ 30m <sup>3</sup>	$\sim$ $50\text{m}^3$	$\sim$ $300 \text{m}^3$	~			
	小	13	900円										
	П	20	990円	0円	40円	140円	200円	250円	290円	330円			
	径	25	1,250円										
	中 30		1,500円										
	П	40	2,700円	60	円	200	)円	250円	290円	330円			
般	_ 径 般	50	4,900円										
		75	11,000円			200円							
	大	100	31,000円					290円					
	П	150	126,000円	60	円					330円			
	径	200	280,000円										
		250	512,000円										
	区分		基本料金			従量料	金(1m³	につき)					
1i	\ 衆浴	場	990円				75円						
	臨時		メーター口径 に準ずる				450円						
口座	口座振替割引				1回あたり 100円								
平均制	均料金改定率 15.2%												

## 第2章 施 設

- 1. 受配水系統図
- 2. 施 設 概 要
- 3. 導・送・配水管布設・撤去状況
- 4. 導・送・配水管延長
- 5. 導・送・配水管耐震化状況
- 6. 導·送·配水管経年化状況

## 1. 受 配 水 系 統 図 (令和2年(2020年)3月末現在)



### 2. 施設概要

#### 泉浄水所

第4次拡張事業の中で建設に着手し、昭和39年(1964年)7月に地下水源による1日最大19,000㎡の配水能力を有する浄水施設が完成した。その後、急増する水需要に対し、更なる水源を淀川表流水に求め昭和41年(1966年)6月から水処理を開始した。

昭和59年度(1984年度)には泉浄水所、片山浄水所間に中継ポンプ場を設け、より一層の安定給水と自己水の有効利用を図っている。

平成9年(1997年)6月には高度浄水処理設備が完成し、高度浄水処理水を供給している。

所在地

吹田市南吹田3丁目3番60号

敷地面積

19, 096 m<sup>2</sup>

水源

表流水、地下水

配水方式

ポンプ圧送方式

給水能力

38, 100 m<sup>3</sup>

区分		施設		構造及び概要	数量
	薬品注	施設概要	鉄筋コンクリート造 屋上 地上1階	地上1階 気曝槽(原水槽) 過マンガン酸カリウム注入設備、薬品溶解設備	1棟
	入室	設備概要	過マンガン酸 カリウム注入設備	過マンガン酸カリウム注入ポンプ 薬品溶解槽 2.5㎡	2台 2槽
	P A	施設概要	鉄骨造 地上1階	地上1階 ポリ塩化アルミニウム注入設備 再凝集ポリ塩化アルミニウム送液設備	1棟
	C貯槽室	設備概要	ポリ塩化アルミニ ウム (PAC) 注入設備	ポリ塩化アルミニウム注入ポンプ (表流系) ポリ塩化アルミニウム注入ポンプ (地下系) 再凝集ポリ塩化アルミニウム送液ポンプ ポリ塩化アルミニウム貯槽 PE製 内径2.71m×3.81m 有効容量 18㎡	2台 2台 2台 2 2基
	高速	凝集沈でん池 (地下水)	鉄筋コンクリート造	スラッジブランケット型(傾斜管沈降装置付) 底直径14.0m 最大直径20.0m 有効水深 6.0m 有効容量 1,220㎡	1基
		着水井	鉄筋コンクリート造	6.0m×7.48m×3.6m 有効容量 123㎡	1池
浄	表	混和池	鉄筋コンクリート造 フラッシュミキサ	1.5m×11.0m×3.5m 有効水深 3.25m 有効容量 42m <sup>3</sup> 出力 2.2kW	2系統 6台
水施	流	フロック形成池	<b>鉄箆コンカリート告</b>	11.0m×13.9m×3.5m 有効水深 3.0m 有効容量 420㎡	2系統
設	水	プログラルが成他	フロキュレータ	出力 0.4~2.2kW	8台
		沈でん池	鉄筋コンクリート造	上向流傾斜管方式、気圧式排泥装置 11.0m×19.7m×7.4m 有効水深 7.4m 有効容量 1,600㎡	2系統
		施設概要	鉄筋コンクリート造 地下2階 地下1階 地上1階 地上2階 地上3階	地上3階、地下2階 中間揚水ポンプ室、調整池(地下2階〜地上1階) 流量計室 再凝集ポリ塩化アルミニウム室、空洗ブロアー室、苛性ソーダ注入設備 オゾン接触池、活性炭吸着池 オゾン発生室、第3電気室、再凝集攪拌室 排オゾン処理室、排気・給気消音室、換気機械室	1棟
	高度処理棟	設備概要	オゾン処理設備 オゾン発生機 オゾン接触槽 オゾン反応槽 活性炭吸着設備 中間揚水ポンプ 調整池	散気管 上下迂流2段向流接触方式 空気原料 空冷板型無声放電式 発生量 3.1kg/h 6.0m×4.0m×8.05m 有効水深 6.4m 容量 153.6㎡ 6.0m×2.0m×8.05m 有効水深 6.2m 容量 74.4㎡ 上向流流動層方式 ろ過面積 46.4㎡ LV 11.0m/h 石炭系粒状活性炭 活性炭層厚 2.0m 両吸込渦巻ポンプ 出力 75kW 容量 450㎡(No.1) ・ 500㎡(No.2)	3台 2池 2池 4池 3台 2池

1	1 1		再凝集池	2.5m×2.5m×4.95m 有効水深 4.0m 有効容量 25㎡	2池
			排オゾン処理装置	特殊マンガン接触方式	2台
			がハノマだ在衣匠	前苛性ソーダ注入ポンプ	1台
				後苛性ソーダ注入ポンプ	1台
			苛性ソーダ注入設備	苛性ソーダ貯槽 PE製	
		設備概要		内径2.145m×2.54m 有効容量 8m³	2基
			正次件	再凝集ポリ塩化アルミニウム注入ポンプ	2台
			再凝集 ポリ塩化アルミニウ	再凝集ポリ塩化アルミニウム貯槽 PE製	•
			ム (PAC) 注入設備	内径1. 42m×1. 85m 有効容量 2㎡	2基
			鉄筋コンクリート造	地上3階	
			地上1階	次亜塩素酸ソーダ注入ポンプ室、次亜塩素酸ソーダ貯槽室	
	薬	施設概要	地上2階	水質計器室、水質分析室	1棟
	品		地上3階	無停電電源室	
	注		>GTOTALE	中間次亜塩素酸ソーダ注入ポンプ	3台
	入棟		次亜塩素酸ソーダ	後次亜塩素酸ソーダ注入ポンプ	2台
	1木	設備概要	注入設備	次亜塩素酸ソーダ貯槽 PE製	•
浄				内径2.145m×2.54m 有効容量 8 m³	2基
水				7.3m×7.3m ろ過面積 53.29㎡	
施	1	急速ろ過池	鉄筋コンクリート造		10池
設	ĺ ,			有孔ブロック型(6池)	1010
			鉄骨造地下RC造	地上2階、地下2階	
	移	C.C. and James and	地下2階	ポンプ室	
	送	施設概要	地上1階	活性炭供給機室	1棟
	ポ		地上2階	活性炭保管室	
	ンプ		返送ポンプ	片吸込渦巻ポンプ出力 18.5kW	2台
	室	設備概要	移送ポンプ	標準2階形スラリーポンプ 出力 5.5kW	2台
			活性炭供給機		1台
	圧		鉄骨造地下RC造	地上1階、地下1階	
	送	施設概要	地下1階	ポンプ室	1棟
	ポン		地上1階	電気室	
	プ	設備概要	圧送ポンプ	単段高圧スラリーポンプ 出力 30kW	2台
	室		_		
		第1汚泥槽	鉄筋コンクリート造	10.0m×10.0m×3.0m 有効水深 3.0m 有効容量 300m <sup>3</sup>	1槽
		第 2 汚泥槽 濃縮槽	鉄筋コンクリート造	30.0m×9.0m×3.3m 有効水深 3.0m 有効容量 800㎡ 9.2m×9.2m×4.5m 有効水深 3.0m 有効容量 200㎡	1槽
		(長州17首	鉄筋コンクリート造 鉄筋コンクリート造	地上2階、地下1階	1槽
				地工2階、地下1階 No.1ポンプ井	
	旧	設備概要	地下1階 地上1階	第1ポンプ室、計装用コンプレッサー室	1棟
	管		地上2階	第1電気室	
	理		配水ポンプ	両吸込渦巻ポンプ 出力 75kW	1台
	棟	<ul><li>株   <u>にかべり</u></li><li>施設概要 送配水ポンプ</li></ul>		両吸込渦巻ポンプ 出力 90kW	3台
		No.1ポンプ井		8.9m×17.4m×5.65m 有効水深 3.8m 有効容量 600m <sup>3</sup>	1池
226			鉄筋コンクリート造	地上2階、地下1階	1165
送 配	<i>55</i> 5		地下1階	No.2ポンプ井	
水	第 2	設備概要	地上1階	第2ポンプ室、第2電気室	1棟
施	別		地上2階	研修室	
設	館		配水ポンプ	両吸込渦巻ポンプ 出力 180kW	4台
		施設概要	No.2ポンプ井	4. 2m×14. 2m×5. 65m 有効水深 3. 8m 有効容量 215 m³	1池
		halos a many to be	鉄筋コンクリート造	28. 8m×23. 0m×5. 35m 有効水深 3. 8m 有効容量 1,972㎡	2池
		第1配水池	鉄筋コンクリート造	28. 8m×22. 0m×5. 35m 有効水深 3. 8m 有効容量 1,989㎡	1池
		第2配水池	鉄筋コンクリート造	33. 2m×43. 2m×5. 35m 有効水深 3. 8m 有効容量 4,000㎡	1池
				出力 875kVA 6,600V	
		家発電設備	ディーゼルエンジン	貯蔵量 4,000L A重油 燃料消費量 218L/h	1台
1		洗浄水槽	ステンレス製	内径11.6m×15.0m 有効水深 3.5m 有効容量 370㎡	1基

### 片山浄水所

片山浄水所は昭和26年(1951年)に建設され、大阪市から受水した浄水(水道水)を給水していたが、その後、増大する需要量に対処するため、構内に井戸を掘り、現在では1日に10,480㎡の取水が可能である。地域の発展に伴う配水池の増強を行い、泉浄水所の余剰水の有効利用並びに給水量の増加に対応して大阪広域水道企業団水を受水している。

所在地 吹田市朝日が丘町25番1号

敷地面積23,200㎡水源地下水配水方式自然流下方式給水能力10,200㎡

区分	施設		構造及び概要	数量
	管理棟	鉄筋コンクリート造	平屋建	1棟
	原水槽	鉄筋コンクリート造	15.0m×11.7m×3.6m 有効水深 3.0m 有効容量 500㎡	1槽
	前処理ろ過機	鋼製	内径2.53m×5.9m	6基
	排水処理機	鋼製	内径2.53m×5.9m	1基
	高速ろ過機	鋼製	内径4.63m×6.8m	2基
	原水ポンプ室	鉄筋コンクリート造	地上1階、地下1階	1棟
	原水ポンプ	片吸込渦巻ポンプ	出力 22kW	3台
	ろ過ポンプ室	鉄筋コンクリート造	地上1階、地下1階	1棟
	ろ過ポンプ	片吸込渦巻ポンプ	出力 30kW	3台
	処理水槽	鉄筋コンクリート造	4.0m×30.4m×4.1m 有効水深 3.5m 有効容量 392m³	1槽
浄	逆洗ポンプ	片吸込渦巻ポンプ	出力 45kW	2台
水	水質分析室	コンクリートブロック造	5 平屋建	1棟
施		ポリ塩化アルミニ	ポリ塩化アルミニウム注入ポンプ	2台
設		かり塩化	ポリ塩化アルミニウム貯槽 PE製	2基
	<b>東</b> 見注入設備	内径1.42m×1.85m   有効容量 2m <sup>3</sup>   1.42m×1.85m   1.85m   1.85m	内径1.42m×1.85m 有効容量 2㎡	245
	未加江八队师		苛性ソーダ注入ポンプ	2台
		苛性ソーダ注入設備	苛性ソーダ貯槽 PE製	2基
			内径2.12m×2.78m 有効容量 8㎡	
		次亜塩素酸ソーダ	次亜塩素酸ソーダ注入ポンプ	2台
	消毒設備	2個  注入設備	次亜塩素酸ソーダ貯槽 PE製	2基
			内径2.015m×2.35m 有効容量 6㎡	
	汚泥槽	鉄筋コンクリート造	15.2m×18.0m×4.1m 有効容量 800㎡	1槽
	排水ポンプ		出力 11kW	2台
	汚泥攪拌ポンプ		出力 3.7kW	6台
送配	着水井	鉄筋コンクリート造	5.0m×7.0m×4.69m 有効水深 3.6m 有効容量 120 m <sup>3</sup>	1池
北	第2配水池	鉄筋コンクリート造	27.4m×23.7m×4.5m 有効水深 3.0m 有効容量 1,500m	2池
施	第3配水池	鉄筋コンクリート造	30.4m×42.4m×4.5m 有効水深 3.0m 有効容量 3,000㎡	1池
設	第4配水池	鉄筋コンクリート造	58.5m×28.45m×5.7m 有効水深 4.4m 有効容量 7,000㎡	2池

#### 配水場・ポンプ場等

名 称 所 在 地

大阪市東淀川区菅原1丁目1番50号地先

淀川取水場 蓮間配水場 吹田市青山台3丁目46番1号

津雲配水場 吹田市津雲台4丁目5番3号 佐井寺配水場 吹田市千里山東4丁目13番9号 吹田市千里山西4丁目28番3号 千里山配水場

吹田市千里丘西15番15号 山田配水場

吹田市山田丘1番12号(大阪大学構内) 万博調圧場

御旅ポンプ場 吹田市東御旅町8番54号 中継ポンプ場 吹田市出口町31番3号

敷地面積

(北越コーポレーション㈱施設を賃借)

6, 329. 23 m<sup>2</sup>

19, 362. 02 m<sup>2</sup>

2, 976. 00 m<sup>2</sup>

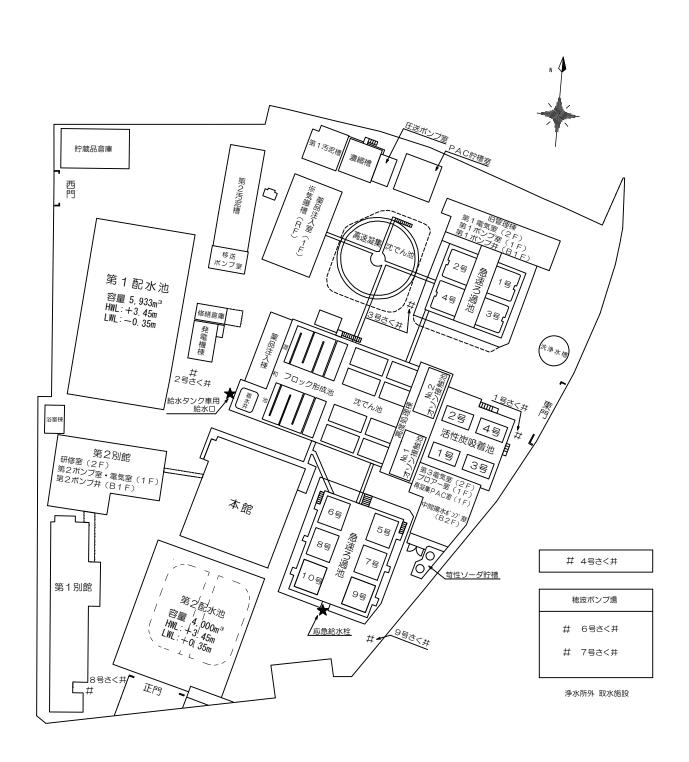
3, 941. 33 m<sup>2</sup>

2, 034. 31 m<sup>2</sup>

(大阪大学より借地)

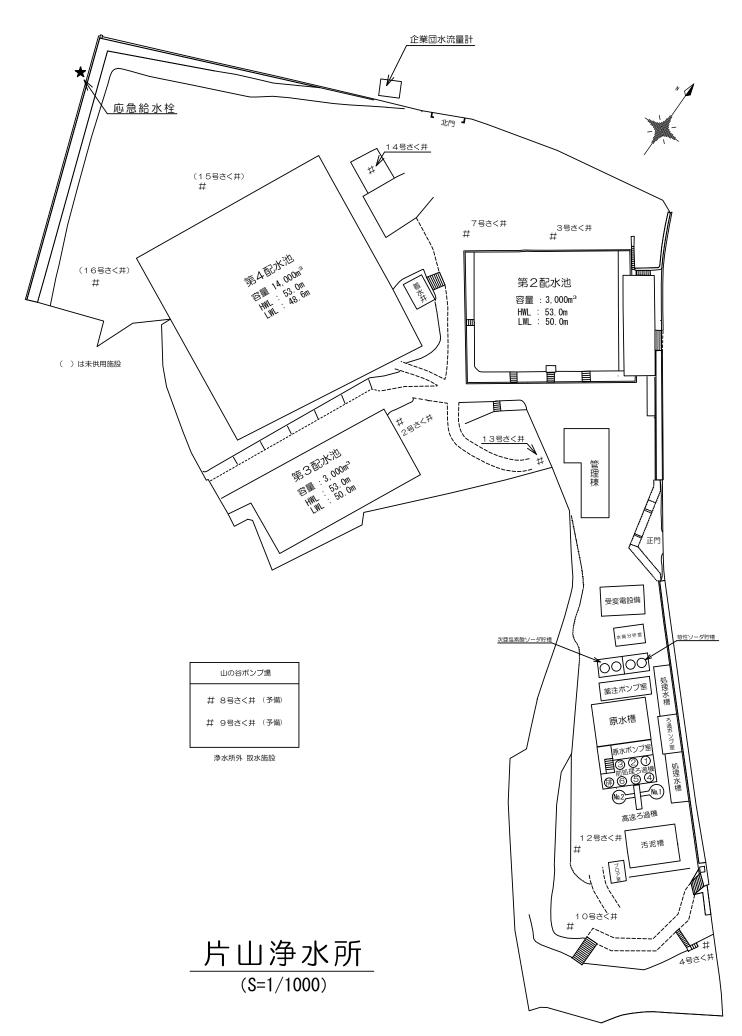
 $662.48\,\text{m}^2$ (吹田市より借地)

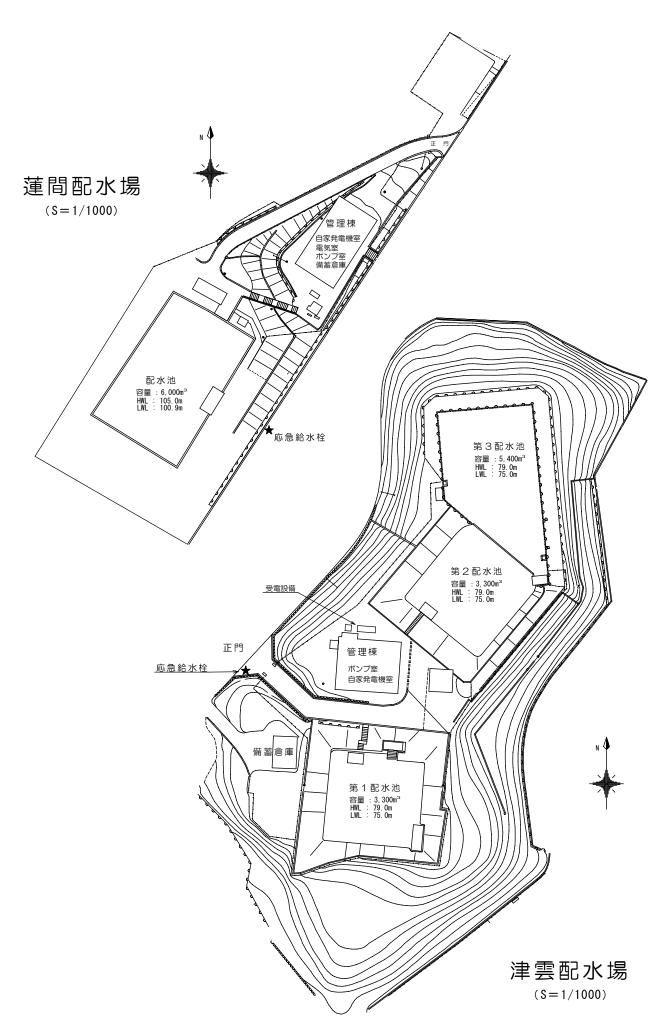
区分	名称	施設	概        要	数量
		取水塔	鉄筋コンクリート造 高さ10.8m 内径4.0m×7.0m 楕円形	1基
取		取水管	鋳鉄管 内径800mm 延長 70.52m	2本
水	淀川取水場	取水ポンプ	両吸込渦巻型 85kW	1台
施	促加级小场	沈砂池	鉄筋コンクリート造 11.75m×35.6m×3.2m	1池
設		ポンプ室	鉄筋コンクリート造 平屋建	1棟
		送水ポンプ	両吸込渦巻型 350kW	1台
		管理棟	鉄筋コンクリート造 平屋建	1棟
		配水池	鉄筋コンクリート造 33.5m×25.35m×5.45m	2池
			有効水深 4.1m 有効容量 3,000㎡	
	蓮間配水場	配水ポンプ	片吸込渦巻型 11kW	3台
		エンジンポンプ	ディーゼルエンジン 30kW	1台
		自家発電装置	ディーゼルエンジン 80kVA 200V	1台
			貯蔵量 500L 軽油 燃料消費量 22.4L/h	• •
		管理棟	鉄筋コンクリート造 平屋建	1棟
		第1配水池	鉄筋コンクリート造 30.7m×30.7m×5.35m	1池
		)	有効水深 4.0m 有効容量 3,300 m³	_,_
		第2配水池	鉄筋コンクリート造 30.7m×30.7m×5.35m	1池
	)	77.2 10.7(10	有効水深 4.0m 有効容量 3,300 m³	
	津雲配水場	第3配水池	鉄筋コンクリート造 32.0m×57.0m×25.39m×29.47m×4.75m(台形)	1池
			有効水深 4.0m 有効容量 5,400m <sup>3</sup>	
		配水ポンプ	両吸込渦巻型 45kW	4台
送			両吸込渦巻型 37kW	1台
配		自家発電装置	ディーゼルエンジン 200kVA 6,600V	1台
水施		₩.m.+=	貯蔵量 900L A重油 燃料消費量 47.1L/h	1 1-4:
設		管理棟	鉄筋コンクリート造     平屋建       プレストレスコンクリート造     PCタンク	1棟
,,,,	佐井寺配水場	配水池	ウレストレスコンクリート這 PCタンク   内径26.0m×18.5m 有効水深 17.0m 有効容量 9,000㎡	1池
		配水ポンプ	內径26.0m×18.5m   有効水保 17.0m   有効容量 9,000m	0./>
		管理棟	映版コンクリート造 地上2階建	3台 1棟
		自生休	<del>  数筋コンクリート追   地工2階建   数筋コンクリート造   11.45m×38.0m×4.7m      </del>	17宋
	千里山配水場	配水池	有効水深 4.0m   有効容量 1,500 m <sup>3</sup>	2池
		配水ポンプ	而吸込渦巻型 45kW	3台
	ポンプ室		鉄筋コンクリート造 地下1階 地上2階	 1棟
		配水ポンプ	大吸込渦巻型 18.5kW	1台
	山田配水場		鉄筋コンクリート造 13.72m×17.85m×4.25m	
		配水池	有効水深 3.5m 有効容量 840 m <sup>3</sup>	2池
		管理棟	鉄骨造 平屋建	1棟
	万博調圧場	減圧弁室	鉄筋コンクリート造	1棟
	御旅ポンプ場	管理棟	鉄骨造 平屋建	1棟
		ポンプ室	鉄骨造 地上2階建	1棟
	中継ポンプ場	送水ポンプ	両吸込渦巻型 55kW	3台
		V=/1+/4+4 >	1.4%×~164.6.7. 00m	VЦ

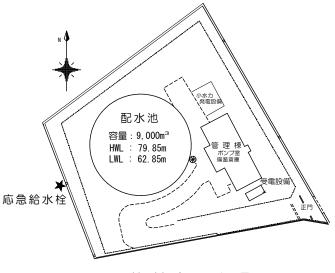


※ 現在は、原水槽として使用

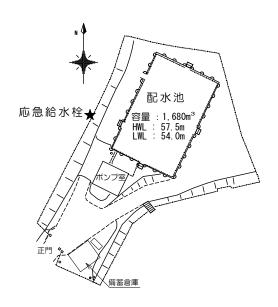
<u>泉浄水所</u> (S=1/1000)



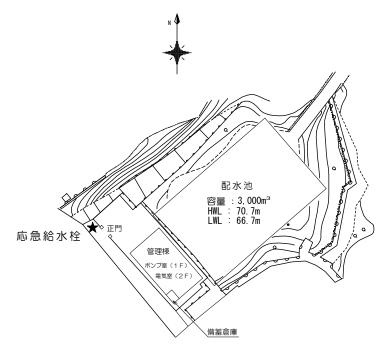




佐井寺配水場 (S=1/1000)



山田配水場 (S=1/1000)



千里山配水場 (S=1/1000)

3. 禅.	※-配水	(管布]	设-撤去	表状況(*	導·送·配水管布設·撤去状況(令和元年度(201	年度(20	19年度))	[)									(単位:m)
管種		布設	布設延長			受納(高	(譲渡)等延長	受证					撤去延長				
口径(mm)	ダクタイル 鋳鉄管	鋼管	ピニール管	무무	ダクタイル 鋳鉄管	鋳鉄管	鋼管	ピニール管	슈큐	ダクタイル 鋳鉄管	鋳鉄管	鋼管	ヒ゛ニール管 ホ。	ホッリエチレン管	石綿管	合計	増减数
006	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
800	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
200	384	0	0	384	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	384
009	392	1	0	393	0	1	0	0	П	3	0	0	0	0	0	3	391
200	332	0	0	332	16	0	0	0	16	0	∞	0	0	0	0	8	340
450	0	0	0	0	0	0	0	0	0	433	0	0	0	0	0	433	△ 433
400	948	0	0	948	32	0	4	0	36	0	0	0	0	0	0	0	984
350	3	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
300	175	0	0	175	0	0	0	0	0	49	305	0	0	0	0	354	△ 179
250	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	6	6 🗸
200	40	0	0	40	0	0	0	0	0	29	17	0	108	0	0	154	△ 114
150	3,388	0	0	3,388	470	0	0	0	470	390	40	0	2,157	0	0	2,587	1,271
125	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	98	0	0	0	0	98	∨ 86
100	5,203	0	1	5,204	811	0	0	0	811	1,046	349	0	3,603	0	0	4,998	1,017
68	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	348	0	0	0	0	348	$\triangle$ 348
75	715	0	0	715	214	0	0	0	214	164	176	0	474	0	0	814	115
20	0	0	156	156	0	0	0	238	238	0	0	1	302	96	0	399	$\triangle$ 5
40	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1
30	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	23	0	0	23	$\triangle$ 22
25	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1
20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
무무	11,580	1	158	11,739	1,543	1	4	240	1,788	2,114	1,338	1	6,667	96	0	10,216	3,311

### 4. 導・送・配水管延長(令和2年(2020年)3月末現在)

用途		<b>第</b> 7		(202	(0年)3月	送水管	L/		配水本管	
管種口径(㎜)	ダウタイル 鋳鉄管	鋳鉄管	鋼管	その他	ダクタイル 鋳鉄管	鋳鉄管	鋼管	ダウタイル 鋳鉄管	鋳鉄管	鋼管
900	0	0	0	0	263	0	0	0	0	1,147
800	0	0	0	0	1,844	15	0	11	0	173
700	0	0	0	0	6,622	0	1,984	3,149	0	454
600	76	697	0	0	423	0	0	8,515	953	319
500	0	0	0	0	3,577	911	4	4,239	310	64
450	0	0	0	0	3,723	426	2	1,608	3,693	102
400	0	0	8	0	3,453	0	2	7,354	1,234	132
350	11	324	0	53	805	1,254	0	1,517	1,606	25
300	664	0	0	7	1,905	1	4	13,208	1,420	172
250	0	0	0	0	21	2	0	321	0	0
200	720	616	0	150	63	0	5	383	0	5
150	104	8	0	8	0	0	0	46	0	0
125	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
100	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
89	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
75	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
50	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
40	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小計	1,575	1,645	8	218	22,699	2,609	2,001	40,351	9,216	2,593
合計		3,4	46			27,309			52,160	

(単位:m)

		配水	支管			( <u>卑似:m)</u>	
ダブタイル 鋳鉄管	鋳鉄管	鋼管	ピニール管	ポリエチレン管	石綿管	合計	口径 (mm)
3	0	546	0	0	0	1,959	900
0	0	0	0	0	0	2,043	800
88	0	0	0	0	0	12,297	700
274	0	39	0	0	0	11,296	600
989	874	0	0	0	0	10,968	500
5,366	752	38	0	0	0	15,710	450
9,269	586	126	40	0	0	22,204	400
2,038	1,052	36	0	0	0	8,721	350
19,768	4,858	48	4	0	0	42,059	300
13,578	6,979	71	191	0	0	21,163	250
53,430	19,062	253	1,029	0	0	75,716	200
121,074	37,635	579	6,261	0	0	165,715	150
0	0	0	0	0	0	0	125
163,621	65,028	65	11,723	0	97	240,534	100
0	253	0	0	0	0	253	89
53,024	5,076	1	2,473	0	0	60,574	75
0	0	121	32,558	3,102	0	35,781	50
0	0	0	1,070	90	0	1,160	40
0	0	0	920	7	0	927	30
0	0	0	105	4	0	109	25
0	0	0	8	1	0	9	20
442,522	142,155	1,923	56,382	3,204	97	729,198	
		646,	283			143,130	

(単位:m)

j	用途別管延長	į.
年度 用途	平成30年度末 (2018年度末)	令和元年度末 (2019年度末)
導水管	3,446	3,446
送水管	26,931	27,309
配水本管	50,322	52,160
配水支管	645,188	646,283
合計	725,887	729,198

(単位:台)

仕切弃	P•消火栓設制	置状況
年度 種別	平成30年度末 (2018年度末)	令和元年度末 (2019年度末)
仕切弁	11,550	11,686
消火栓	5,578	5,601

0年)3月末現在)
哄
Ε̈́
<u> </u>
Щ
$\tilde{s}$
枡
Ö
$^{\circ}$
2
∭
2
汇
ÂL
岊
$\frac{2}{3}$
7
$\neq$
鰮
攎
γ[μι Γ=
€Im
六
導· 、、,配水管耐震化状況(令和2年(2020年)3月
洪
摽
Ŋ

章         導水管(A)         送水管(B)         配本本管(C)         配本本管(D)         配本本管(D)         配本本管(D)         配本本管(D)         配本本管(D)         工力         工力 </th <th>; ; ;</th> <th></th> <th></th> <th>11.51 \0%\</th> <th></th> <th></th> <th><u>                                     </u></th> <th></th> <th></th> <th>44 44 44</th> <th>411</th> <th>41144</th> <th>(III: 五十)</th>	; ; ;			11.51 \0%\			<u>                                     </u>			44 44 44	411	41144	(III: 五十)
25.耐寒管   25.耐寒度   25.mg   25.mg	機田	導水管	掌(A)	送水	管(B)	配水本	ヾ管(C)	配水法	<b>5</b> 管(D)	基幹管路 (A+B+C)	20 C)	管路全体 (A+B+C+D)	(C+D)
( )         ( ) <th>口径(㎜)</th> <th></th> <th>うち耐震管</th> <th></th> <th>うち耐震管</th> <th></th> <th>うち耐震管</th> <th></th> <th>うち耐震管</th> <th></th> <th>うち耐震管</th> <th></th> <th>うち耐震管</th>	口径(㎜)		うち耐震管		うち耐震管		うち耐震管		うち耐震管		うち耐震管		うち耐震管
(1)         (1) <th>006</th> <th>0</th> <th>0</th> <th>263</th> <th>0</th> <th>1,147</th> <th>1,139</th> <th>549</th> <th>544</th> <th>1,410</th> <th>1,139</th> <th>1,959</th> <th>1,683</th>	006	0	0	263	0	1,147	1,139	549	544	1,410	1,139	1,959	1,683
4         8         6         8,606         3,422         3,603         0.043         8,80         3,422         3,603         2,043         8,80         8,80         3,132         4,720         4,720         3,133         3,132         3,132         3,132         3,132         3,132         3,132         3,132         3,132         3,136	800	0	0	1,859	1,548	184	182	0	0	2,043	1,730	2,043	1,730
773         423         54         9,787         4,720         313           8 492         1,821         4,613         2,152         1,863	002	0	0	8,606	3,422	3,603	2,043	88	4	12,209	5,465	12,297	5,469
1         0         4,492         1,821         4,613         2,152         1,863           1         0         4,151         0         5,403         2,156         1,186           1         8         0         4,151         0         5,403         6,156           1         8         0         3,456         1,135         8,720         5,819         10,021           1         8         0         2,059         772         3,148         688         3,126           1         6         1,910         10         10         6         24,678         10,021           1         1,486         0         1,910         10         14,800         10,166         24,678           1         1,1486         0         0         0         0         44         165,549           1         1,126         0         0         0         0         0         0         0         0         1,055,49           1         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0	009	773	0	423	54	9,787	4,720	313	44	10,983	4,774	11,296	4,818
(4) 15           (4) 15           (5,403)         (2,15)         (6,15)         (7	200	0	0	4,492	1,821	4,613	2,152	1,863	7	9,105	3,973	10,968	3,980
1         3.45         1,135         8,720         5,819         10,021         10,021         10,021         10,021         10,021         10,16         23,126         3,127         3,127 <t< td=""><td>450</td><td>0</td><td>0</td><td>4,151</td><td>0</td><td>5,403</td><td>215</td><td>6,156</td><td>09</td><td>9,554</td><td>215</td><td>15,710</td><td>275</td></t<>	450	0	0	4,151	0	5,403	215	6,156	09	9,554	215	15,710	275
671         388         772         3,148         688         3,126         3,127 </td <td>400</td> <td>8</td> <td>0</td> <td>3,455</td> <td>1,135</td> <td>8,720</td> <td>5,819</td> <td>10,021</td> <td>1,679</td> <td>12,183</td> <td>6,954</td> <td>22,204</td> <td>8,633</td>	400	8	0	3,455	1,135	8,720	5,819	10,021	1,679	12,183	6,954	22,204	8,633
671         00         1,910         102         14,800         10,166         24,678         24,678           1,486         00         23         23         10,166         24,678         20,819           1,486         00         68         13         388         362         73,774         20,819           1,486         00         0         46         44         165,549         20	350	388	0	2,059	772	3,148	889	3,126	54	5,595	1,460	8,721	1,514
1 1,486         0         23         321         15         20,819 <t< td=""><td>300</td><td>671</td><td>0</td><td>1,910</td><td>102</td><td>14,800</td><td>10,166</td><td>24,678</td><td>7,547</td><td>17,381</td><td>10,268</td><td>42,059</td><td>17,815</td></t<>	300	671	0	1,910	102	14,800	10,166	24,678	7,547	17,381	10,268	42,059	17,815
1,486         0         68         13         388         362         73,774           120         0         0         46         44         165,549         165,549           120         0         0         0         240,534         165,549         165,549           120         0         0         0         0         240,534         165,549         165,549           120         0         0         0         0         0         240,534         165,549           120         0         0         0         0         0         240,534         165,549           120         0         0         0         0         0         265,741         176           120         0         0         0         0         0         0         253           120         0         0         0         0         0         0         0         1,160           120         0         0         0         0         0         0         0         1,160         1           120         0         0         0         0         0         0         0         1         1 <td>250</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>23</td> <td>2</td> <td>321</td> <td>15</td> <td>20,819</td> <td>1,247</td> <td>344</td> <td>17</td> <td>21,163</td> <td>1,264</td>	250	0	0	23	2	321	15	20,819	1,247	344	17	21,163	1,264
120         0         46         44         165,549           120         0         0         44         165,549           120         0         0         0         0           120         0         0         0         0           120         0         0         0         0         0           120         0         0         0         0         0         0         0           120         0 <td< td=""><td>200</td><td>1,486</td><td>0</td><td>89</td><td>13</td><td>388</td><td>362</td><td>73,774</td><td>13,851</td><td>1,942</td><td>375</td><td>75,716</td><td>14,226</td></td<>	200	1,486	0	89	13	388	362	73,774	13,851	1,942	375	75,716	14,226
1       1	150	120	0	0	0	46	44	165,549	31,716	166	44	165,715	31,760
1       1	125	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1         2         2         2	100	0	0	0	0	0	0	240,534	47,953	0	0	240,534	47,953
44.4         4.44 <th< td=""><td>89</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>253</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>253</td><td>0</td></th<>	89	0	0	0	0	0	0	253	0	0	0	253	0
0         0         0         0         35,781           0         0         0         0         1,160           0         0         0         1,160         1,160           0         0         0         0         0         0           0         0         0         0         0         0         0           0         0         0         0         0         0         0         0           0         0         0         0         0         0         0         0         0	75	0	0	0	0	0	0	60,574	7,441	0	0	60,574	7,441
0         0         0         0         1,160           0         0         0         0         927           0         0         0         0         927           0         0         0         0         109           0         0         0         0         0           0         0         0         0         0	20	0	0	0	0	0	0	35,781	0	0	0	35,781	0
0         0         0         0         0         927           0         0         0         0         109         109           0         0         0         0         0         927	40	0	0	0	0	0	0	1,160	0	0	0	1,160	0
0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	30	0	0	0	0	0	0	927	0	0	0	927	0
6 0 0 0 0 0 0	25	0	0	0	0	0	0	109	0	0	0	109	0
	20	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	9	0
3,446 0 $27,309$ $8,869$ $52,160$ $27,545$ $646,283$	中計	3,446	0	27,309	8,869	52,160	27,545	646,283	112,147	82,915	36,414	729,198	148,561
耐震化率 0.0% 32.5% 52.8% 17.4%	耐震化率	0.0	%1	32	.5%	52.	.8%	17	.4%	43.9%	%	20.	20.4%

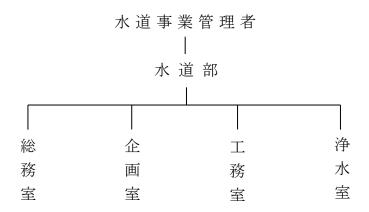
( <u></u>
·配水管経年化状況(令和2年(2020年)3月末現在)
3
枡
20
20
<b>一</b>
12
杀
<b>∜</b> F
识
长
ij
$\hat{H}$
祭
徊
X
配
導・洪・
- ₩₩
9

O. 你	<b>等 7 区 1 时小 目 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 </b>	       	、 ジに、 丁	+ (202)+	シカトが江	TT/		•				(車位:m)
幾世	導水管(A)	管(A)	送水管(B)	貸(B)	配水本管(C)	(管(C)	配水支管(D)	: (是(D)	基幹管路 (A+B+C)	基幹管路 (A+B+C)	管路全体 (A+B+C+D)	全体 C+D)
口径(㎜)		うち経年管		うち経年管		うち経年管		うち経年管		うち経年管		うち経年管
006	0	0	263	263	1,147	1,147	549	546	1,410	1,410	1,959	1,956
800	0	0	1,859	32	184	173	0	0	2,043	205	2,043	205
200	0	0	8,606	4,526	3,603	1,432	88	1	12,209	5,958	12,297	5,959
009	773	269	423	318	9,787	2,946	313	306	10,983	3,961	11,296	4,267
200	0	0	4,492	2,211	4,613	1,287	1,863	1,849	9,105	3,498	10,968	5,347
450	0	0	4,151	1,612	5,403	4,710	6,156	5,877	9,554	6,322	15,710	12,199
400	8	8	3,455	1	8,720	1,239	10,021	4,446	12,183	1,248	22,204	5,694
350	888	377	2,059	1,270	3,148	1,893	3,126	2,122	2,595	3,540	8,721	5,662
300	671	71	1,910	12	14,800	2,417	24,678	9,657	17,381	2,500	42,059	12,157
250	0	0	23	3	321	2	20,819	14,852	344	2	21,163	14,857
200	1,486	1180	89	39	388	1	73,774	31,025	1,942	1,220	75,716	32,245
150	120	30	0	0	46	0	165,549	58,656	166	30	165,715	58,686
125	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
100	0	0	0	0	0	0	240,534	95,582	0	0	240,534	95,582
68	0	0	0	0	0	0	253	253	0	0	253	253
22	0	0	0	0	0	0	60,574	10,925	0	0	60,574	10,925
50	0	0	0	0	0	0	35,781	9,038	0	0	35,781	9,038
40	0	0	0	0	0	0	1,160	938	0	0	1,160	938
30	0	0	0	0	0	0	927	775	0	0	927	775
25	0	0	0	0	0	0	109	88	0	0	109	88
20	0	0	0	0	0	0	9	8	0	0	9	8
合計	3,446	2,363	27,309	10,287	52,160	17,247	646,283	246,944	82,915	29,897	729,198	276,841
経年化率	.89	68.6%	37.7%	%2	33.1%	1%	38.	38.2%	36.	36.1%	38.0%	%0

### 第3章 機構と職員

- 1. 機 構 図
- 2. 職員構成表
- 3. 職員配置表
- 4. 職員の諸構成

### **1. 機 構 図** (令和2年(2020年)4月1日現在)



### 2. 職員構成表

(令和2年(2020年)4月1日現在)

区分	部長	次長	室長	参	主幹	主	主任	主事	小 計	再任用	計
部	1	1							2		2
総務室			(1)	4	4	7	5	6	(1) 26	2	(1) 28
企画室			1	2	2	3	3	3	14	1	15
工務室			1	5	9	13	7	15	50	3	53
浄 水 室			1	5	3	12	7	9	37	2	39
금 計	1	1	(1) 3	16	18	35	22	33	(1) 129	8	(1) 137

※ 管理者、会計年度任用職員16名を除く。

( )内は兼務の人数で外数

### 3. 職員配置表

(令和2年(2020年)4月1日現在)

職種	事	<b>务職</b>	技術	<b></b>		+
所属	正職員	再任用	正職員	再任用	正職員	再任用
部	2	0	0	0	2	0
総務室	(1) 24	2	2	0	(1) 26	2
企 画 室	11	1	3	0	14	1
工務室	1	2	49	1	50	3
浄 水 室	0	0	37	2	37	2
合 計	(1) 38	5	91	3	(1) 129	8

<sup>※</sup> 管理者、会計年度任用職員16名を除く。

<sup>( )</sup>内は兼務の人数で外数

# 4. 職員の諸構成

### 年齡構成

平断浦以	1再7人									(令和2年(2020年)4月1日現在)	020年)4月1	日現在)
無 種 断	25才未満	25~30才未満	25~30才未満 30~35才未満	35~40才未満	40~45才未満	45~50才未満	40~45才未満   45~50才未満   50~55才未満   55~61才未満	55~61才未満	干M上19	- <u>1</u> -	井	柽
事務職	子 5	4 Y	3 丫	4 Y	丫 2	10人	2 人	3 丫	2 人	40 人	41才 2次月	2カヶ月
技術職	7 人	15 人	丫 6	10 人	15 人	10 人	15 人	10 人	丫 0	91 人	40才 775月	7.75.月
台	12 人	7 61	12 人	14 人	子 22	子 02	17 人	13 人	2 人	131 人	40才 927月	9か4月

## 勤続年数構成

動統⁴	勤続牛数構成								(令和2年(2	(令和2年(2020年)4月1日現在)	月現在)
年数職種	5年未満	5~10年未満	10~15年末満	15~20年未満	15~20年末満 20~25年末満	25~30年未満	30~35年未満	35年以上	111111111111111111111111111111111111111	址	赵
事務職	10 人	7 8	7 7	Y 2	~1	11人	1人	2 ~	40 丫	18年	5カヶ月
技術職	28 人	5 人	11 人	十 21	4 Y	14 人	∀8	丫 9	91 人	15年 10	10次月
수 計	子 88	丫 8	13 人	Y 22	丫 9	7 22	丫 6	11人	131 人	16年	7次月

### 給料構成

現在)
Ш
$\overline{}$
Щ
4
$\oplus$
0
$\sim$
$\tilde{S}$
<u>#</u>
$\tilde{c}_{ij}$
뮨
10
٩H
$\overline{}$

月額		15~20万円	] 20~25万円	25~30万円	30~35万円	35~40万円	40~45万円	30~35万円   35~40万円   40~45万円   45~50万円	7 10 11 12 02	П	ф П	Ħ	\$
職種	夏KICCI	米	米	米	米	米	米	選 米	十			+	P
事務職	丫 0	7.7	丫 9	4 Y	Y L	7 /	7 /	1人	1 人	165,900円	506, 100 円	313,395 円	2日
技術職	子 0	丫 6	19 人	10 人	7 02	13 人	17 人	3 丫	子 0	154,900円	466,000円	313,962	日日
台	丫 0	16 人	757	14 人	丫 22	7 02	24 人	4 Y	1人	-	1	313,789 円	日6

# 年度別職員数

# ()内は新規採用者数

(2016年度) | (2017年度) | (2018年度) | (2019年度) | (2020年度) 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度

Ш
<u> </u>
7
(年
数
#
態
動
松
1
<u></u>
鋫
111
7年
1.1 T,
世
臣
度別
#

1.计勒綜年数
K
_

年度 職種 事務職 技術職 4	平成27年度 (2015年度) 42.10才(19.06) 43.02才(18.08)	平成28年度 (2016年度) 41.04才(17·11) 42.01才(17·07)	平成29年度 (2017年度) 42.09才(19·05) 41.01才(16·02)	平成29年度 平成30年度 (2017年度) (2018年度) 42.09才(19.05) 43.01才(19.10) 41.01才(16.02) 41.04才(16.03)	令和元年度 (2019年度) 43.05才(20・05) 41.06才(16・06)
4	43.01才(18·11)	41.10才(17.08)	41.07 \(\frac{1}{7}(17 \cdot 02)\)	$41.07 \pm (17 \cdot 02)$   $41.10 \pm (17 \cdot 04)$   $42.01 \pm (17 \cdot 08)$	$42.01 \pm (17 \cdot 08)$

<sup>※</sup> 各表は管理者を除いて集計

91(5)人 40(3)人

89(5) 入 36(2) 人

85(9) 人 35(0) 丫

技術職 事務職 職種

35(2) 人 78(8) 人 113(10)人

125(7) 人

120(9) 人

令和元年度以降は年度当初の職員数 ※ 平成30年度までは年度末の職員数

38(2) 人 89(3) 丫 127(5) 人

131(8) 人

### **-** 50 **-**

職員数は再任用常時勤務職員を含む(平成28年度(1名)、平成29年度(2名)、平成30年度(4名)、令和元年度(2名)、令和2年度(2名))

### 第4章 水源と水質

- 1. 業務量の推移
- 2. 取水状況
- 3. 配水状況
  - (1) 施設別配水量構成
  - (2) 年度別·月別配水状況
  - (3) 月別·水源別配水状況
  - (4) 配水量の内訳
- 4. 電力使用状況
- 5. 薬品購入状況
- 6. 自己水源に対する電力及び薬品使用状況
- 7. 水質検査成績表

### 1. 業務量の推移

	年 度		平成27年	度	7	成 28 年 度	
項目		単位	(2015年度)	対前年度 増減率(%)		(2016年度)	対前年度 増減率(%)
人口及び戸数	行政区域内人口	人	367,510	1.3		369,522	0.5
	給 水 人 口	人	367,025	1.3		369,040	0.5
	行政区域内戸数	戸	166,830	1.8		168,824	1.2
	給 水 戸 数	戸	166,823	1.8		168,817	1.2
配 水 量	総 配 水 量	m³	41,910,691	0.4		41,763,521	△ 0.4
	自 己 水 源	m³	16,420,004	1.5		16,065,474	△ 2.2
	泉 浄 水 所(表流水)	$m^3$	10,869,396	1.5		10,847,395	△ 0.2
	" (地下水)	$m^3$	2,182,384	3.4		1,846,244	△ 15.4
	片山浄水所(地下水)	$m^3$	3,368,224	0.1		3,371,835	0.1
	依 存 水 源	$m^3$	25,490,687	△ 0.2		25,698,047	0.8
	企 業 団 水	$m^3$	25,236,155	△ 0.2		25,448,045	0.8
	大 阪 市 水	$m^3$	253,624	$\triangle$ 2.1		249,004	△ 1.8
	茨 木 市 水	m³	908	0.7		998	9.9
	一日平均配水量	$m^3$	114,510	0.2		114,421	△ 0.1
	一日最大配水量	$m^3$	125,673	0.1		125,926	0.2
	一人一日平均配水量	Q	314	△ 0.9		310	△ 1.3
	一人一日最大配水量	Q	343	△ 1.4		341	△ 0.6
給 水 量	総 給 水 量	$m^3$	40,724,296	△ 0.5		40,865,089	0.3
	有 効 有 収 水 量	$m^3$	39,865,055	△ 0.4		40,032,542	0.4
	小 口 専 用	$m^3$	999,144	△ 6.0	$\phi$ 13 mm	949,788	
	一 般 専 用	$m^3$	31,423,287	0.9	$\phi$ 20 mm	29,418,332	
	集団住宅用	$m^3$	7,293,302	△ 5.1	$\phi$ 25 mm	3,619,778	
	家 事 共 用	$m^3$	2,709	△ 22.6	$\phi$ 30 mm	161,375	
	公 衆 浴 場 用	$m^3$	31,993	△ 10.1	$\phi$ 40 mm	1,301,852	
	臨 時 用	$m^3$	114,620	△ 12.6	$\phi$ 50 mm	1,212,958	
					$\phi$ 75 mm	1,302,622	
					$\phi$ 100 mm	755,144	
					$\phi$ 150 mm	666,101	
					$\phi$ 200 mm	97,300	
					$\phi$ 250 mm	440,574	
					公衆浴場	23,888	
					臨 時	82,830	
	有 効 無 収 水 量	$m^3$	859,241	△ 1.7		832,547	△ 3.1
給 水	工 事 件 数	件	8,441	20.9		6,369	△ 24.5
配給水	装 置 修 繕 件 数	件	1,180	12.3		1,080	△ 8.5

平成29年度	:	平成30年度		令和元年度	
(2017年度)	対前年度 増減率(%)	(2018年度)	対前年度 増減率(%)	(2019年度)	対前年度 増減率(%)
370,072	0.1	371,030	0.3	373,978	0.8
369,590	0.1	370,537	0.3	373,515	0.8
170,244	0.8	171,849	0.9	174,222	1.4
170,237	0.8	171,842	0.9	174,215	1.4
41,663,190	$\triangle$ 0.2	41,758,437	0.2	41,411,787	△ 0.8
15,397,195	$\triangle$ 4.2	14,916,367	△ 3.1	14,726,446	△ 1.3
10,618,770	$\triangle$ 2.1	10,292,405	$\triangle$ 3.1	10,386,565	0.9
1,598,515	△ 13.4	1,522,835	$\triangle$ 4.7	1,481,180	$\triangle 2.7$
3,179,910	△ 5.7	3,101,127	$\triangle$ 2.5	2,858,701	△ 7.8
26,265,995	2.2	26,842,070	2.2	26,685,341	$\triangle$ 0.6
26,047,386	2.4	26,629,900	2.2	26,484,734	$\triangle 0.5$
217,618	$\triangle$ 12.6	211,207	$\triangle 2.9$	199,633	$\triangle$ 5.5
991	$\triangle 0.7$	963	△ 2.8	974	1.1
114,146	$\triangle$ 0.2	114,407	0.2	113,147	$\triangle$ 1.1
122,716	$\triangle 2.5$	125,309	2.1	120,359	$\triangle$ 4.0
309	$\triangle$ 0.3	309	0.0	303	△ 1.9
332	$\triangle 2.6$	338	1.8	322	$\triangle 4.7$
40,847,209	0.0	40,903,042	0.1	40,644,121	$\triangle$ 0.6
40,012,946	0.0	40,039,374	0.1	39,819,816	$\triangle 0.5$
885,271	$\triangle$ 6.8	829,854	$\triangle$ 6.3	765,555	$\triangle$ 7.7
29,605,557	0.6	29,620,797	0.1	29,759,779	0.5
3,515,258	$\triangle 2.9$	3,440,027	$\triangle$ 2.1	3,339,044	$\triangle$ 2.9
159,786	$\triangle$ 1.0	169,764	6.2	166,563	△ 1.9
1,309,643	0.6	1,289,682	$\triangle$ 1.5	1,257,583	$\triangle$ 2.5
1,182,771	$\triangle 2.5$	1,169,050	$\triangle$ 1.2	1,191,633	1.9
1,356,518	4.1	1,376,989	1.5	1,407,702	2.2
778,126	3.0	854,223	9.8	935,196	9.5
665,992	0.0	647,680	$\triangle 2.7$	466,331	△ 28.0
58,557	△ 39.8	58,660	0.2	61,237	4.4
368,517	$\triangle$ 16.4	423,035	14.8	348,990	△ 17.5
27,737	16.1	26,722	$\triangle$ 3.7	23,466	$\triangle$ 12.2
99,213	19.8	132,891	33.9	96,737	△ 27.2
834,263	0.2	863,668	3.5	824,305	$\triangle$ 4.6
5,988	$\triangle$ 6.0	6,062	1.2	6,270	3.4
1,135	5.1	1,082	$\triangle$ 4.7	1,114	3.0

### 2. 取 水 状 況

			年 度	平成27年度		平成28年度	
				(2015年度	対前年度	(2016年度	対前年度
施設	等			取水量	増減率	取水量	増減率
泉	予 水	所	表流水	10,869,396	1.5	10,847,395	△ 0.2
			地下水	2,213,151	3.6	1,875,489	△ 15.3
			計	13,082,547	1.9	12,722,884	$\triangle 2.7$
片山	浄 水	所	地下水	3,518,592	0.0	3,517,309	0.0
自	己 2	火	合 計	16,601,139	1.5	16,240,193	$\triangle 2.2$
企	業	寸	蓮間分岐	3,263,580	△ 0.4	3,317,100	1.6
			樫の木分岐	4,563,239	1.5	4,362,695	$\triangle$ 4.4
			津雲分岐	7,379,619	0.1	7,504,615	1.7
			南千里分岐	9,045,703	2.9	9,325,959	3.1
			春日分岐	984,014	△ 26.6	937,676	$\triangle$ 4.7
			計	25,236,155	△ 0.2	25,448,045	0.8
大		灰	市	253,624	△ 2.1	249,004	△ 1.8
茨	7	木	市	908	0.7	998	9.9
依	存 7	水	合 計	25,490,687	△ 0.2	25,698,047	0.8
総	取	小	〈 量	42,091,826	0.4	41,938,240	△ 0.4

(単位:m³·%)

平成29年度	F	平成30年度	F	令和元年度	: m • %)
(2017年度	)	(2018年度		(2019年度	)
取水量	対前年度 増減率	取水量	対前年度 増減率	取水量	対前年度 増減率
10,618,770	△ 2.1	10,292,405	△ 3.1	10,386,565	0.9
1,621,940	△ 13.5	1,550,360	△ 4.4	1,505,278	△ 2.9
12,240,710	△ 3.8	11,842,765	△ 3.3	11,891,843	0.4
3,324,326	$\triangle$ 5.5	3,248,710	$\triangle 2.3$	3,014,434	△ 7.2
15,565,036	$\triangle 4.2$	15,091,475	△ 3.0	14,906,277	△ 1.2
3,321,030	0.1	1,590,550	△ 52.1	3,266,400	105.4
4,316,151	△ 1.1	6,284,917	45.6	4,303,942	△ 31.5
7,560,921	0.8	7,580,654	0.3	7,571,266	△ 0.1
9,947,296	6.7	10,270,200	3.2	10,444,631	1.7
901,988	△ 3.8	903,579	0.2	898,495	$\triangle$ 0.6
26,047,386	2.4	26,629,900	2.2	26,484,734	△ 0.5
217,618	△ 12.6	211,207	△ 2.9	199,633	△ 5.5
991	△ 0.7	963	△ 2.8	974	1.1
26,265,995	2.2	26,842,070	2.2	26,685,341	△ 0.6
41,831,031	Δ 0.3	41,933,545	0.2	41,591,618	Δ 0.8

### 3. 配 水 状 況

### (1)施設別配水量構成

		年度		27年度 5年度)			28年度 3年度)	
施	設等	<b>等</b>	水量	構成比	対前年度 増減率	水量	構成比	対前年度 増減率
	泉	浄水所(表流水)	10,869,396	25.9	1.5	10,847,395	26.0	△ 0.2
	泉	浄水所(地下水)	2,182,384	5.2	3.4	1,846,244	4.4	△ 15.4
自己水		小 計	13,051,780	31.1	1.8	12,693,639	30.4	△ 2.7
	片	山净水所	3,368,224	8.0	0.1	3,371,835	8.1	0.1
		計	16,420,004	39.2	1.5	16,065,474	38.5	△ 2.2
		蓮 間 分 岐	3,263,580	7.8	$\triangle 0.4$	3,317,100	7.9	1.6
		樫の木分岐	4,563,239	10.9	1.5	4,362,695	10.4	$\triangle$ 4.4
	企業	津雲分岐	7,379,619	17.6	0.1	7,504,615	18.0	1.7
依	団	南千里分岐	9,045,703	21.6	2.9	9,325,959	22.3	3.1
存		春日分岐	984,014	2.3	△ 26.6	937,676	2.2	△ 4.7
水		小 計	25,236,155	60.2	△ 0.2	25,448,045	60.9	0.8
	大	阪市	253,624	0.6	△ 2.1	249,004	0.6	△ 1.8
	茨	木 市	908	0.0	0.7	998	0.0	9.9
		計	25,490,687	60.8	△ 0.2	25,698,047	61.5	0.8
á	総	配 水 量	41,910,691	100.0	0.4	41,763,521	100.0	△ 0.4

(単位:m³·%)

	9年度 7年度)			0年度 8年度)			元年度 9年度)	
水量	構成比	対前年度 増減率	水量	構成比	対前年度 増減率	水量	構成比	対前年度 増減率
10,618,770	25.5	△ 2.1	10,292,405	24.6	△ 3.1	10,386,565	25.1	0.9
1,598,515	3.8	△ 13.4	1,522,835	3.6	$\triangle$ 4.7	1,481,180	3.6	△ 2.7
12,217,285	29.3	△ 3.8	11,815,240	28.2	△ 3.3	11,867,745	28.7	0.4
3,179,910	7.6	△ 5.7	3,101,127	7.4	$\triangle$ 2.5	2,858,701	6.9	△ 7.8
15,397,195	37.0	△ 4.2	14,916,367	35.7	△ 3.1	14,726,446	35.6	Δ 1.3
3,321,030	8.0	0.1	1,590,550	3.8	△ 52.1	3,266,400	7.9	105.4
4,316,151	10.4	△ 1.1	6,284,917	15.1	45.6	4,303,942	10.4	△ 31.5
7,560,921	18.1	0.8	7,580,654	18.2	0.3	7,571,266	18.3	△ 0.1
9,947,296	23.9	6.7	10,270,200	24.6	3.2	10,444,631	25.2	1.7
901,988	2.2	△ 3.8	903,579	2.2	0.2	898,495	2.2	△ 0.6
26,047,386	62.5	2.4	26,629,900	63.8	2.2	26,484,734	64.0	$\triangle 0.5$
217,618	0.5	△ 12.6	211,207	0.5	△ 2.9	199,633	0.5	△ 5.5
991	0.0	△ 0.7	963	0.0	△ 2.8	974	0.0	1.1
26,265,995	63.0	2.2	26,842,070	64.3	2.2	26,685,341	64.4	△ 0.6
41,663,190	100.0	Δ 0.2	41,758,437	100.0	0.2	41,411,787	100.0	△ 0.8

### (2)年度別・月別配水状況

	年度	平成27年度		平成28年度		
月易		(2015年度)	対前年度 増減率	(2016年度)	対前年度 増減率	
4 FI	配水量	3,384,673	A 1.0	3,373,163	^ 0.2	
4月	(増 減)	$(\triangle 35,822)$	$\triangle 1.0$	(△ 11,510)	$\triangle$ 0.3	
5 月	配水量	3,503,992	△ 1.1	3,494,174	△ 0.3	
ЭЛ	(増 減)	(△ 37,838)	△ 1.1	(△ 9,818)		
6月	配水量	3,449,073	$\triangle 2.0$	3,445,841	△ 0.1	
ОЛ	(増 減)	(△ 71,886)	△ 2.0	(△ 3,232)	△ 0.1	
7月	配水量	3,654,341	$\triangle$ 2.4	3,689,787	1.0	
1 7	(増 減)	$(\triangle 87,973)$	△ 2.4	(35,446)	1.0	
8月	配水量	3,621,941	1.5	3,640,130	0.5	
ОЛ	(増 減)	(52,658)	1.0	(18,189)	0.5	
9月	配水量	3,412,903	△ 1.4	3,431,280	0.5	
ЭД	(増 減)	$(\triangle 49,464)$	△ 1.4	(18,377)	0.5	
10月	配水量	3,561,061	0.7	3,561,146	0.0	
10/,	(増減)	(26,437)	0.1	(85)	0.0	
11月	配水量	3,443,598	1.2	3,433,396	△ 0.3	
11/1	(増 減)	(41,367)	1.2	(△ 10,202)		
12月	配水量	3,586,469	1.4	3,558,316	△ 0.8	
12);	(増 減)	(50,879)	1.1	$(\triangle 28,153)$		
1月	配水量	3,532,648	3.1	3,484,940	△ 1.4	
1 /,	(増 減)	(107,454)	0.1	(△ 47,708)	△ 1.4	
2月	配水量	3,299,122	5.0	3,178,895	△ 3.6	
	(増減)	(158,338)	0.0	$(\triangle 120,227)$	△ 0.0	
3 月	配水量	3,460,870	1.0	3,472,453	0.3	
	(増 減)	(33,141)	1.0	(11,583)	0.0	
合計	配水量	41,910,691	0.4	41,763,521	△ 0.4	
Н РТ	(増減)	(187,291)	0.11	$(\triangle 147,170)$		
	自 己 水	16,420,004	1.5	16,065,474	△ 2.2	
内訳	(増減)	(238,353)	1.0	(△ 354,530)		
, , ,	依存水	25,490,687	$\triangle$ 0.2	25,698,047	0.8	
	(増減)	(△ 51,062)	3.2	(207,360)		
配力	く量の増減率	0.45%	_	△0.35%	_	
年度	末給水人口(人)	367,025	1.3	369,040	0.5	
	(増減)	(4,597)	1.3	(2,015)	0.5	

(単位: m³·%)

(単位:m								
平成29年度		平成30年度		令和元年度				
(2017年度)	対前年度 増減率	(2018年度)	対前年度 増減率	(2019年度)	対前年度 増減率			
3,403,196	0.9	3,438,837	1.0	3,393,038	△ 1.3			
(30,033)	0.9	(35,641)	1.0	$(\triangle 45,799)$	△ 1.5			
3,537,895	1.3	3,467,255	$\triangle$ 2.0	3,519,263	1.5			
(43,721)	1.5	(△ 70,640)	△ ∠.0	(52,008)	1.5			
3,458,142	0.4	3,461,196	0.1	3,408,908	△ 1.5			
(12,301)	0.4	(3,054)	0.1	(△ 52,288)	△ 1.0			
3,648,882	△ 1.1	3,692,138	1.2	3,549,593	△ 3.9			
(△ 40,905)	△ 1.1	(43,256)	1.2	$(\triangle 142,545)$	△ 3.3			
3,538,899	△ 2.8	3,584,133	1.3	3,511,760	$\triangle$ 2.0			
(△ 101,231)	<u></u>	(45,234)	1.0	$(\triangle 72,373)$	△ 2.0			
3,405,413	△ 0.8	3,360,469	△ 1.3	3,391,047	0.9			
(△ 25,867)	△ 0.0	(△ 44,944)	△ 1.0	(30,578)	0.3			
3,499,463	△ 1.7	3,541,401	1.2	3,449,254	$\triangle 2.6$			
(△ 61,683)	△ 1.1	(41,938)	1.2	$(\triangle 92,147)$	△ 2.0			
3,428,656	△ 0.1	3,447,749	0.6	3,396,414	△ 1.5			
(△ 4,740)	△ 0.1	(19,093)	0.0	(△ 51,335)	△ 1.0			
3,553,944	△ 0.1	3,567,612	0.4	3,531,038	△ 1.0			
(△ 4,372)	△ 0.1	(13,668)	0.4	(△ 36,574)	△ 1.0			
3,506,273	0.6	3,499,912	$\triangle$ 0.2	3,439,310	△ 1.7			
(21,333)	0.0	(△ 6,361)	△ 0.2	(△ 60,602)	∠ 1.1			
3,181,069	0.1	3,224,163	1.4	3,287,752	2.0			
(2,174)	0.1	(43,094)	1.4	(63,589)	2.0			
3,501,358	0.8	3,473,572	△ 0.8	3,534,410	1.8			
(28,905)	0.0	(△ 27,786)	△ 0.0	(60,838)	1.0			
41,663,190	△ 0.2	41,758,437	0.2	41,411,787	△ 0.8			
(△ 100,331)	△ 0.2	(95,247)	0.2	$(\triangle 346,650)$	△ 0.8			
15,397,195	$\triangle$ 4.2	14,916,367	△ 3.1	14,726,446	△ 1.3			
(△ 668,279)	∠ 4.2	(△ 480,828)	△ 3.1	(△ 189,921)	△ 1.5			
26,265,995	2.2	26,842,070	2.2	26,685,341	$\triangle$ 0.6			
(567,948)	۷.۷	(576,075)	۷.۷	(△ 156,729)	△ 0.0			
△0.24%	_	0.23%	_	△0.83%	_			
369,590	0.1	370,537	0.9	373,515	0.0			
(550)	0.1	(947)	0.3	(2,978)	0.8			

※(増減)は対前年度比較

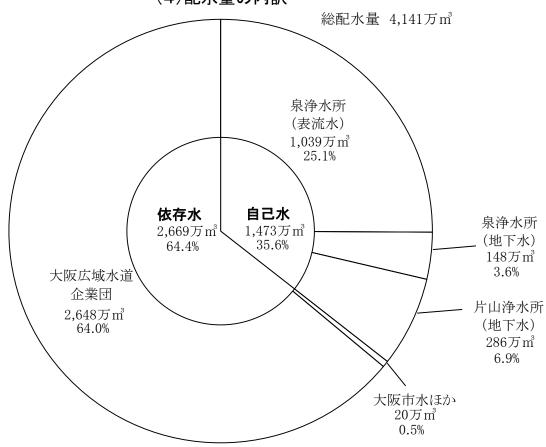
### (3)月別·水源別配水状況

区分	自	己	水	源		依		 存	
	泉浄	水 所	片 山	<b>⇒</b> I.		企	Ì	業	
月別	表流水	地下水	浄水所	計	蓮間分岐	樫の木分岐	津雲分岐	南千里分岐	
4 月	879,145	140,149	239,857	1,259,151	287,620	350,102	610,121	790,288	
5 月	913,115	122,979	247,200	1,283,294	299,950	367,054	647,335	832,014	
6 月	888,910	126,382	234,878	1,250,170	295,060	349,690	626,451	799,450	
7月	926,355	113,451	238,803	1,278,609	290,340	365,443	650,460	874,080	
8月	920,590	121,749	199,208	1,241,547	279,220	372,944	657,487	870,992	
9月	892,120	110,307	205,382	1,207,809	256,990	357,560	634,793	840,667	
10月	902,255	130,456	216,572	1,249,283	260,070	355,362	635,961	852,368	
11月	874,190	112,980	224,739	1,211,909	254,410	351,624	610,847	876,765	
12月	899,635	120,571	244,307	1,264,513	269,660	362,327	637,236	900,476	
1月	733,685	127,484	255,019	1,116,188	263,470	359,162	627,258	979,070	
2 月	647,675	130,102	268,476	1,046,253	247,860	344,970	595,443	962,356	
3 月	908,890	124,570	284,260	1,317,720	261,750	367,704	637,874	866,105	
合 計	10,386,565	1,481,180	2,858,701	14,726,446	3,266,400	4,303,942	7,571,266	10,444,631	

(単位: m³)

	水		 源					( )	111 /
	<b>71</b> 0	大阪市	茨木市	計	合 計	1日平均	1日最大	1日最小	月別
春日分岐	計	人 MX 山		н					
76,745	2,114,876	18,926	85	2,133,887	3,393,038	113,101	116,410	101,582	4
73,333	2,219,686	16,204	79	2,235,969	3,519,263	113,525	116,518	99,978	5
70,714	2,141,365	17,288	85	2,158,738	3,408,908	113,630	118,034	104,112	6
71,598	2,251,921	18,979	84	2,270,984	3,549,593	114,503	119,306	102,987	7
71,826	2,252,469	17,659	85	2,270,213	3,511,760	113,283	120,359	100,143	8
74,984	2,164,994	18,171	73	2,183,238	3,391,047	113,035	117,724	103,875	9
78,221	2,181,982	17,904	85	2,199,971	3,449,254	111,266	116,169	101,389	10
73,845	2,167,491	16,933	81	2,184,505	3,396,414	113,214	115,031	104,760	11
77,726	2,247,425	19,015	85	2,266,525	3,531,038	113,904	115,241	102,569	12
76,366	2,305,326	17,714	82	2,323,122	3,439,310	110,945	114,026	93,011	1
74,134	2,224,763	16,651	85	2,241,499	3,287,752	113,371	115,625	106,358	2
79,003	2,212,436	4,189	65	2,216,690	3,534,410	114,013	116,124	103,227	3
898,495	26,484,734	199,633	974	26,685,341	41,411,787	113,147	120,359	93,011	計





### 4. 電力使用状況(動力用・庁舎用)

施設	泉浄	水所	片山湾	争水所	千里山	配水場
月別	使 用 量	金 額	使 用 量	金 額	使 用 量	金 額
4 月	507,363	8,991,737	237,371	4,146,818	14,619	279,038
5 月	506,345	9,207,344	243,472	4,228,282	16,532	306,134
6 月	510,686	9,066,990	234,822	4,076,342	16,935	309,425
7 月	523,657	9,539,187	242,700	4,374,739	18,789	388,985
8 月	540,010	9,883,503	214,240	3,905,174	19,640	399,414
9 月	504,813	9,188,279	213,952	3,862,155	17,670	360,944
10 月	524,347	9,104,445	217,010	3,742,202	16,162	286,937
11 月	472,634	8,513,602	218,563	3,762,274	15,014	270,700
12 月	508,619	8,610,893	233,455	3,959,362	15,477	276,700
1 月	459,130	8,227,458	238,759	4,022,327	15,242	272,511
2 月	420,330	7,533,193	242,625	4,056,429	14,280	257,392
3 月	494,532	8,499,290	259,198	4,283,745	15,274	271,602
合 計	5,972,466	106,365,921	2,796,167	48,419,849	195,634	3,679,782
月平均	497,706	8,863,827	233,014	4,034,987	16,303	306,649

施設	蓮間酉	记水場	万博訓	周圧場	中継ポ	ンプ場
月別	使 用 量	金額	使 用 量	金 額	使 用 量	金額
4 月	9,732	170,921	691	8,826	2,289	44,990
5 月	10,222	177,622	946	12,084	2,593	49,362
6 月	9,899	171,464	855	11,559	2,748	51,914
7 月	10,295	204,566	1,077	14,561	3,142	58,511
8 月	10,844	211,676	1,293	16,296	3,741	65,244
9 月	9,829	192,076	996	12,553	2,962	53,868
10 月	9,928	165,092	822	10,136	2,541	45,201
11 月	9,830	163,559	708	8,731	2,176	39,720
12 月	10,115	167,223	661	9,015	2,200	39,856
1 月	10,169	167,502	933	12,725	2,219	39,830
2 月	9,546	157,686	759	10,156	2,079	37,947
3 月	10,312	168,652	830	11,107	2,238	40,250
合 計	120,721	2,118,039	10,571	137,749	30,928	566,693
月平均	10,060	176,503	881	11,479	2,577	47,224

(単 位:kWh・円)

佐井寺	配水場	山田田山	记水場	津雲配水場		
使 用 量	金 額	使 用 量	金 額	使 用 量	金 額	
10,754	208,950	1,142	54,887	38,634	701,681	
10,906	210,719	1,120	60,760	40,371	725,270	
10,893	208,898	1,224	61,077	39,785	710,822	
11,169	243,900	1,689	64,665	42,393	866,022	
12,406	262,447	1,433	78,817	43,424	876,154	
11,129	238,096	1,154	71,170	41,629	835,430	
11,458	207,538	1,064	61,780	41,503	705,293	
11,784	212,660	833	58,696	36,998	638,971	
12,228	218,545	1,061	52,405	28,630	515,115	
12,560	222,758	865	58,090	40,467	685,675	
11,690	209,181	877	53,344	38,901	658,124	
12,537	221,295	860	53,470	41,049	688,753	
139,514	2,664,987	13,322	729,161	473,784	8,607,310	
11,626	222,082	1,110	60,763	39,482	717,276	

Z0,	)他	計(重	力用)	庁舎	計用
使 用 量	金 額	使 用 量	金 額	使 用 量	金 額
2,368	53,020	824,963	14,660,868	30,888	633,661
2,122	58,971	834,629	15,036,548	31,665	643,668
2,208	54,078	830,055	14,722,569	35,904	699,621
2,450	56,423	857,361	15,811,559	45,187	939,723
2,258	61,076	849,289	15,759,801	52,796	1,074,287
2,231	57,043	806,365	14,871,614	42,618	891,726
2,335	55,630	827,170	14,384,254	33,187	634,861
2,128	56,402	770,668	13,725,315	29,924	583,202
2,624	52,831	815,070	13,901,945	39,494	731,764
2,300	67,237	782,644	13,776,113	43,097	786,105
2,175	54,555	743,262	13,028,007	41,481	757,527
2,128	53,306	838,958	14,291,470	38,615	712,576
27,326	680,572	9,780,433	173,970,063	464,856	9,088,721
2,277	56,714	815,036	14,497,505	38,738	757,393

金額は「税込み」で記載。

5. 薬品購入状況(令和元年度(2019年度))

				(		過マンガン	1	指 #		巻米	で発生
	町性ソーダ		ドリ猫化アク	アルミニウム(PAC)	(PAC)	酸カリウム	次里	指 素 輟 ン	1	活 阵 炭	辰酸ガス
泉浄水所	F 正	<u>1</u> 11111111	泉浄水所	片 山 等 水 所	111111111111111111111111111111111111111	泉浄水所	泉浄水所	五 一 一 一 一 一 一	- <u>1</u> 1111111	泉浄水所	泉浄水所
15,910	14,520	30,430	20,250	0	20,250	400	9,030	2,020	11,050	3,600	0
15,980	18,140	34,120	30,290	2,210	32,500	0	6,040	2,010	8,050	3,600	0
15,910	14,390	30,300	066'6	0	066'6	0	9,050	2,010	11,060	3,600	0
23,910	18,140	42,050	30,080	2,200	32,280	0	12,090	2,010	14,100	3,600	0
24,120	14,080	38,200	20,110	2,190	22,300	400	9,050	2,010	11,060	3,600	0
8,010	14,060	22,070	20,000	0	20,000	0	9,020	2,010	11,030	3,600	0
16,000	14,170	30,170	30,370	2,180	32,550	0	6,020	4,000	10,020	7,200	150
8,050	14,060	22,110	20,220	0	20,220	0	9,050	2,020	11,070	3,600	1,800
16,020	21,100	37,120	20,330	2,190	22,520	400	9,040	2,000	11,040	3,600	1,500
7,990	14,100	22,090	20,120	0	20,120	0	9,010	2,010	11,020	0	009
8,010	21,130	29,140	20,020	2,200	22,220	0	6,040	2,030	8,070	3,600	300
8,030	24,700	32,730	20,340	2,180	22,520	250	12,070	4,020	16,090	7,200	0
167,940	202,590	370,530	262,120	15,350	277,470	1,450	105,510	28,150	133,660	46,800	4,350
13,995	16,883	30,878	21,843	1,279	23,123	121	8,793	2,346	11,138	3,900	363
459	554	1,012	716	42	758	7	288	22	365	128	12

6. 自己水源に対する電力及び薬品使用状況

o	П	ミノン	にろうずっと	٧ [۲	9	馬ンダぐ	K	晶 医 石 水 処	)/r					)	(税込み)
			<u>/</u>	441	赵	平成27年度	1 m³ 当たり	平成28年度	1 m³ 当たり	平成29年度	1 m³ 当たり	平成30年度	1 m³ 当たり	令和元年度	1 m³ 当たり
胀	系統 別	桊				(2015年度)	単便	(2016年度)	単価	(2017年度)	単価	(2018年度)	単便	(2019年度)	単
	41	使	田	量(kWh	Wh )	6,965,093	60.0	6,653,929	0 01	6,246,241	0.19	6,012,883	0.19	6,003,394	0.01
	¥	④		額(一	 Е	128,222,082	70.6	111,886,997	0.01	111,499,236	9.10	107,702,790	3.12	106,932,614	3.01
	<u>1</u>	一 三	田	量(水	kWh )	3,341,994	17 00	3,328,506	16.00	3,174,518	17 15	3,079,042	17.07	2,796,167	16.04
	5	H H		額(一	 Е	60,072,145	11.00	53,954,761	10.00	54,535,096	01.11	53,555,994	17:11	48,419,849	10.34
R	∢	世	田	量(以	(kWh)	10,307,087	11 47	9,982,435	10.99	9,420,759	10.70	9,091,925	10 01	8,799,561	77
	П	區		額(一	<ul><li>田</li></ul>	188,294,227	11.4	165,841,758	10.32	166,034,332	10.70	161,258,784	10.01	155,352,463	10.33
揪		举		)	( 日	26,407,570	2.02	17,709,121	1.40	16,552,940	1.35	20,276,750	1.72	26,030,491	2.19
	千		ュ	) ∃	 Е	4,503,722	1.34	3,956,658	1.17	4,419,345	1.39	5,312,619	1.71	5,774,606	2.02
ᄪᆖ	<b>⟨</b> □		111111111111111111111111111111111111111	) +==	<u> </u>	30,911,292	1.88	21,665,779	1.35	20,972,285	1.36	25,589,369	1.72	31,805,097	2.16
¥		举		)	$m^3$ )	13,051,780	11.85	12,693,639	10.21	12,217,285	10.48	11,815,240	10.83	11,867,745	11.20
	七		ュ		$m^3$	3,368,224	19.17	3,371,835	17.18	3,179,910	18.54	3,101,127	18.98	2,858,701	18.96
<b>#</b>	đα		111111111111111111111111111111111111111		$m^3$ )	16,420,004	13.35	16,065,474	11.67	15,397,195	12.15	14,916,367	12.53	14,726,446	12.71
												※中総は	ペンプ場電	※中継ポンプ場電力は泉浄水所に含む。	に含む。

### 7. 水質検査成績表(令和元年度(2019年度)の最大値)

	4-	矣	査 項 目		単 位	水質基準値	泉	浄 水	所
	12	央				小貝左毕旭	取水口原水	地下水原水	管末水
		1	一 般 細	菌	CFU/mL	100以下	2,100	83	C
		2	大 腸	菌	*	検出されないこと	-	-	不検出
					MPN/100mL	,	1,300	<1.8	-
		3	カドミウム及びその化合		mg/L	0.003以下	<0.0003	<0.0003	<0.0003
		4	水銀及びその化合	物	mg/L	0.0005以下	<0.00005	<0.00005	<0.00005
		5	セレン及びその化合	物	mg/L	0.01以下	<0.001	<0.001	<0.001
	人	6	鉛及びその化合	物	mg/L	0.01以下	<0.001	<0.001	<0.001
	0	7	ヒ素及びその化合	物	mg/L	0.01以下	0.001	<0.001	<0.001
		8	六価クロム化合	物	mg/L	0.05以下	<0.005	<0.005	<0.005
	健	9	亜 硝 酸 態 窒	素	mg/L	0.04以下	0.019	<0.004	<0.004
	н.	10	シアン化物イオン及び塩化シ	アン	mg/L	0.01以下	<0.001	<0.001	<0.001
	康	11	硝酸態窒素及び亜硝酸態等		mg/L	10以下	1.15	<0.10	1.20
	に	12	フッ素及びその化合		mg/L	0.8以下	0.12	0.06	0.11
	, _	13	ホウ素及びその化合		mg/L	1.0以下	0.02	0.02	0.02
	影	14	四 塩 化 炭	素	mg/L	0.002以下	<0.0002	<0.0002	<0.0002
水	VB17	15	1,4 - ジ オ キ サ	ン	mg/L	0.05以下	<0.005	<0.005	<0.005
,,,	響	16	シス-1,2-ジクロロエチレン及びトラン 1,2- ジ ク ロ ロ エ チ レ	ノスー	mg/L	0.04以下	<0.004	<0.004	<0.004
	を	17	ジクロロメタ	ン	mg/L	0.02以下	<0.002	<0.002	<0.002
		18	テトラクロロエチレ	ン	mg/L	0.01以下	<0.001	<0.001	<0.001
質	与	19	トリクロロエチレ	ン	mg/L	0.01以下	<0.001	<0.001	<0.001
	え	20	ベンゼ	ン	mg/L	0.01以下	<0.001	<0.001	<0.001
	~	21	塩素	酸	mg/L	0.6以下	<0.06	<0.06	<0.06
	る	22	クロロ 酢	酸	mg/L	0.02以下	<0.002	<0.002	<0.002
基		23	クロロホル	ム	mg/L	0.06以下	<0.001	<0.001	0.002
<u> </u>	項	24	ジ ク ロ ロ 酢	酸	mg/L	0.03以下	<0.003	<0.003	<0.003
	目	25	ジブロモクロロメタ	ン	mg/L	0.1以下	<0.001	<0.001	0.005
		26	臭素	酸	mg/L	0.01以下	<0.001	<0.001	0.008
進		27	総トリハロメタ	ン	mg/L	0.1以下	<0.005	<0.005	0.013
45		28	トリクロロ酢	酸	mg/L	0.03以下	<0.003	<0.003	<0.003
		29	ブロモジクロロメタ	ン	mg/L	0.03以下	<0.001	<0.001	0.004
		30	ブ ロ モ ホ ル	ム	mg/L	0.09以下	<0.001	<0.001	0.002
T.		31	ホルムアルデヒ	ド	mg/L	0.08以下	<0.008	<0.008	<0.008
項		32	亜鉛及びその化合	物	mg/L	1.0以下	0.02	<0.01	<0.01
		33	アルミニウム及びその化合	计物	mg/L	0.2以下	0.26	0.01	0.04
		34	鉄及びその化合	物	mg/L	0.3以下	0.35	0.32	0.02
	生	35	銅及びその化合	物	mg/L	1.0以下	<0.01	<0.01	<0.01
目	活	36	ナトリウム及びその化合	物	mg/L	200以下	15.7	34.9	20.4
	に	37	マンガン及びその化合	物	mg/L	0.05以下	0.056	0.487	<0.001
	支障	38	塩化物イオ	ン	mg/L	200以下	15.4	15.2	17.9
	厚を	39	カルシウム・マグネシウム等(硬	度)	mg/L	300以下	46	68	48
	及	40	蒸 発 残 留	物	mg/L	500以下	106	195	118
	ぼ	41	陰イオン界面活性	剤	mg/L	0.2以下	<0.02	<0.02	<0.02
	す	42	ジェオスミ	ン	mg/L	0.00001以下	0.000003	<0.000001	<0.000001
	恐	43	2- メチルイソボルネオー	・ル	mg/L	0.00001以下	0.000011	<0.000001	<0.000001
	れの	44	非イオン界面活性	剤	mg/L	0.02以下	<0.005	<0.005	<0.005
		45	フェノール	類	mg/L	0.005以下	<0.0005	<0.0005	<0.0005
	る	46	有機物(全有機炭素(TOC)の	量)	mg/L	3以下	1.9	0.5	1.0
	項	47	р Н	値	*	$5.8 \sim 8.6$	6.9~7.5	7.5~7.9	7.2~7.6
	目	48	味		*	異常でないこと	_	-	異常なし
		49	臭	気	*	異常でないこと	厨芥臭	硫化水素臭他	異常なし
		50	色	度	度	5以下	7.1	4.5	<0.5
		51	濁	度	度	2以下	5.7	0.6	<0.1

水 質 基 準 項 目:飲用により、健康を害したり、不快に感じることがあってはならないことから 水道法により51項目が定められています。 管末水:各配水区域の末端部における水道水を示します。

片 山 浄	·水所	佐井寺配水場	千里山配水場	津雪配水場	<b>蓮問配水場</b>	山田配水場	万博調圧場	**千里浄水池	大阪市水
地下水原水	管末水	管末水	管末水	管末水	管末水	管末水	管末水	管末水	管末水
0	0	0	0	0			0	0	6 / / / ()
_		不検出		不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	 不検出
<1.8	- T-1天山	- TAKE	- TAKH	- -	- TM灰山	- T·1灰田	- TM灰山	- T·1/天田	- T 1 天山
<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005
<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.0003	<0.001	<0.001
<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004
<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
0.55	1.08	1.37	1.39	1.37	1.20	1.37	1.36	1.37	1.19
0.07	0.10	0.11	0.11	0.10	0.10		0.10	0.10	0.10
0.01	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02
<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004
<0.002	< 0.002	<0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	<0.002	< 0.002	< 0.002	<0.002
<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	< 0.001	< 0.001	<0.001	<0.001	< 0.001	<0.001
<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	< 0.001	<0.001
<0.06	0.06	0.07	0.07	0.06	0.08	0.07	0.06	0.07	<0.06
<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	< 0.002	<0.002	<0.002	<0.002
<0.001	0.002	0.003	0.004	0.005	0.011	0.003	0.002	0.002	0.002
<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	0.004	0.005	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
<0.001	0.004	0.006	0.005	0.006	0.006	0.005	0.004	0.004	0.006
<0.001	0.004	0.004	0.005	0.005	0.004	0.004	0.005	0.005	0.003
<0.005	0.001	0.016	0.015	0.018	0.025		0.011	0.010	0.014
<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
<0.001	0.003	0.005	0.005	0.006	0.009	0.005	0.004	0.003	0.004
<0.001	0.004	0.003	0.003	0.000	0.009	0.003	0.004	0.003	0.004
<0.001	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.008
<0.008	<0.008	<0.008						<0.008	
0.01	0.01	0.01	<0.01 0.02	<0.01 0.01	0.02	<0.01 0.01	<0.01 0.02	0.01	<0.01 0.02
6.72	0.01	0.01	<0.01	0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.01
<0.01	<0.01	0.04	<0.01	0.02		0.02	0.03	<0.01	0.01
17.4	21.7	18.2	20.0	19.2			18.9	20.5	20.9
0.384	0.002	0.001	<0.001	0.001	0.003		<0.001	<0.001	0.002
8.6	16.1	19.2	20.4	20.5	20.1	20.5	20.7	19.8	16.4
51	48	44	44	44	44	44	45	45	44
158	130	105	106	109	108	106	106	105	112
<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001
<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001
<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005		<0.0005	<0.0005	<0.0005
0.4	0.8	1.2	0.9	1.2	1.0		1.2	1.1	0.9
6.2~6.6	7.1~7.5	6.8~7.6	6.7~7.6	6.6~7.6	6.6~7.6		6.6~7.6	6.6~7.6	7.1~7.6
-	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
金気臭	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
70	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5
27	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
			ロルルは遠し	用されません。	•	•			

備考:水質基準値は水道水に適用され、原水には適用されません。 \*印の項目には単位はありません。なお、表中の"ー"は未測定を示します。 ※印の千里浄水池は大阪広域水道企業団の施設です。

				目標値	泉	浄 水	所
	検	查 項 目	単 位	(指針値)	取水口原水	地下水原水	管末水
	1	アンチモン及びその化合物	mg/L	0.02以下	<0.001	<0.001	<0.001
	2	ウラン及びその化合物	mg/L	0.002以下(暫定)	<0.0002	<0.0002	<0.0002
	3	ニッケル及びその化合物	mg/L	0.02以下	<0.001	<0.001	<0.001
	4	1,2 - ジ ク ロ ロ エ タ ン	mg/L	0.004以下	<0.0004	<0.0004	<0.0004
	5	トルエン	mg/L	0.4以下	<0.04	<0.04	<0.04
	6	フタル酸ジ(2-エチルヘキシル)	mg/L	0.08以下	<0.008	<0.008	<0.008
水	7	<sup>注1</sup> 亜 塩 素 酸	mg/L	0.6以下	-	-	_
質	8	注 二 酸 化 塩 素	mg/L	0.6以下	-	-	_
	9	ジクロロアセトニトリル	mg/L	0.01以下(暫定)	<0.001	<0.001	<0.001
管	10	抱水クロラール	mg/L	0.02以下(暫定)	<0.002	<0.002	<0.002
理	11	<sup>注2</sup> 農 薬 類	*	1以下	0.03	0.00	<sup>注3</sup> 0.00
	12	残 留 塩 素	mg/L	1以下	-	-	0.84
目	13	カルシウム・マグネシウム等(硬度)	mg/L	10 ~100	46	68	48
標	14	マンガン及びその化合物	mg/L	0.01以下	0.056	0.487	<0.001
設	15	遊 離 炭 酸	mg/L	20以下	3.1	4.0	2.6
収	16	1,1,1 - トリクロロエタン	mg/L	0.3以下	<0.03	<0.03	<0.03
定	17	メチル-t-ブチルエーテル	mg/L	0.02以下	<0.002	<0.002	<0.002
項	18	有機物等(過マンカン酸カリウム消費量)	mg/L	3以下	6.6	2.2	1.1
	19	臭 気 強 度 (TON)	*	3以下	40	100	1
目	20	蒸 発 残 留 物	mg/L	30 ∼200	106	195	118
	21	濁 度	度	1以下	5.7	0.6	<0.1
	22	p H 値	*	7.5程度	7.5	7.9	7.6
	23	腐食性(ランゲリア指数)	*	-1 ∼ 0	-1.18	-0.20	-1.04
	24	従 属 栄 養 細 菌	CFU/1mL	2000以下(暫定)	16,000	1,900	0
	25	1,1 - ジクロロエチレン	mg/L	0.1以下	<0.002	<0.002	<0.002
	26	アルミニウム及びその化合物	mg/L	0.1以下	0.26	0.01	0.04
	1	銀	mg/L		<0.001	<0.001	<0.001
	2	バ リ ウ ム	mg/L	0.7以下	<0.07	0.08	<0.07
1	3		mg/L		<0.001	<0.001	<0.001
要	4	モ リ ブ デ ン	mg/L	0.07以下	<0.007	<0.007	<0.007
1	5	塩化ビニル	mg/L	0.002以下	<0.0002	<0.0002	<0.0002
検	6	ス チ レ ン	mg/L	0.02以下	<0.002	<0.002	<0.002 注4 <0.1
150	7	ダ イ オ キ シ ン 類	pg-TEQ/L	1以下(暫定)	0.2	- (0.00	\0.1
<del>2</del> ↓	8	ノニルフェノール	mg/L	0.3以下(暫定)	<0.03	<0.03	<0.03
討	9	ビスフェノール A	mg/L	0.1以下(暫定)	<0.01	<0.01	<0.01
_	10	フタル 酸 ジ (n - ブ チ ル )	mg/L	0.01以下	<0.001	<0.001	<0.001
項	11	フタル酸ブチルベンジル	mg/L	0.5以下	<0.05	<0.05	<0.05
1	12	ブロモクロロ酢酸	mg/L	/	<0.002	<0.002	<0.002
目	13		mg/L	/	<0.01	<0.01	<0.01
	14	ジブロモクロロ酢酸	mg/L		<0.01	<0.01	<0.01
1	15	ブロモ酢酸	mg/L		<0.002	<0.002	<0.002
	16	ジ ブ ロ モ 酢 酸	mg/L		<0.002	<0.002	<0.002
小厅厅	17	ト リ ブ ロ モ 酢 酸 目標設定項目:水道水の安全性の確保に万	mg/L	人 一人所答用	〈0.02	<0.02	<0.02

水質管理目標設定項目:水道水の安全性の確保に万全を期するため、水質管理上留意すべき項目で26項目が定められて います。

要検討項目:毒性評価が定まらない、浄水中の存在量が不明等の理由から知見の収集に努めていく項目として47項目が定められており、本市ではこのうち25項目の検査を実施しています。

片 山 浄	* 水 所	佐井寺配水場	千里山配水場	津雲配水場	蓮間配水場	山田配水場	万博調圧場	**千里浄水池	大阪市水
地下水原水	管末水	管末水	管末水	管末水	管末水	管末水	管末水	管末水	管末水
<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004
<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04
<0.008	<0.008	<0.008	<0.008	<0.008	<0.008	<0.008	<0.008	<0.008	<0.008
-	-	_	-	-	-	-	-	_	-
-	-	-	-	-	-	-	_	-	-
<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
<0.002	<0.002	<0.002	0.003	0.003	0.003	0.002	<0.002	<0.002	<0.002
0.00	注3 0.00	-	-	-	-	-	-	-	-
-	0.62	0.85	0.89	0.78	0.84	0.85	0.93	0.99	0.39
51	48	44	44	44	44	44	45	45	44
0.384	0.002	0.001	<0.001	0.001	0.003	<0.001	<0.001	<0.001	0.002
30.8	3.1	2.6	3.1	3.1	3.5	2.6	3.5	3.5	1.8
<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03
<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
2.8	1.1	1.4	1.4	1.2	1.6	1.3	1.3	1.3	1.5
20	1	1	1	1	1	1	1	1	1
158	130	105	106	109	108	106	106	105	112
27	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
6.6	7.5	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6
-2.03	-1.05	-1.18	-1.22	-1.16	-1.11	-1.15	-1.17	-1.16	-1.02
25	0	_	0	3	0	0	0	0	0
<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
0.01	0.02	0.02	0.02	0.01	0.01	0.01	0.02	0.02	0.02
<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
0.10 <0.001	<0.07	<0.07 <0.001	<0.07	<0.07 <0.001	<0.07 <0.001	<0.07	<0.07 <0.001	<0.07 <0.001	<0.07
<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
<0.007	<0.007		<0.007	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
<0.002	<0.002		<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
-	-	-	-	-	-	-	-	- \0.002	-
<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03
<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03
<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
<0.05	<0.05		<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
<0.002	0.002		0.002	0.002	0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.002
<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
<0.01	<0.01		<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
				(0.02		\0.02	\0.02	\0.02	\0.02

備考:目標値(指針値)は水道水に適用され、原水には適用されません。 \*印の項目には単位はありません。なお、表中の"-"は未測定を示します。 ※印の千里浄水池は大阪広域水道企業団の施設です。

- 注1 本市では浄水処理において二酸化塩素を使用していないため「亜塩素酸」及び「二酸化塩素」の2項目は測定していません。
- 注2 農薬類の目標値については、農薬毎の目標値と測定値の比をそれぞれ算出し、その総和が1以下であることとなっています。 農薬類はチウラム、シマジンなど114種類が定められております。
- 注3 農薬類は、泉浄水所浄水(出口水)及び片山浄水所浄水(出口水)を検査しています。
- 注4 ダイオキシン類は、泉浄水所浄水(出口水)を検査しています。

	T-V	* * *	))\\	目標値	泉	浄 水	所
	検	直 項 目	単位	(指針値)	取水口原水	地下水原水	管末水
要	18	トリクロロアセトニトリル	mg/L		<0.004	<0.004	<0.004
	19	ブロモクロロアセトニトリル	mg/L		<0.003	<0.003	<0.003
検	20	ジブロモアセトニトリル	mg/L	0.06以下	<0.002	<0.002	<0.002
討	21	アセトアルデヒド	mg/L		<0.004	<0.004	<0.004
白力	22	キ シ レ ン	mg/L	0.4以下	<0.04	<0.04	<0.04
項	23	パーフルオロオクタンスルホン酸(PFOS)	mg/L		<0.0000010	<0.0000010	<0.0000010
	24	パーフルオロオクタン酸 (PFOA)	mg/L		0.0000075	<0.0000010	0.0000070
目	25	N-ニトロソジメチルアミン(NDMA)	mg/L	0.0001以下	0.0000017	-	0.0000005
	1	フタル酸エステル類	mg/L		<0.001	<0.001	<0.001
	2	アジピン酸ジ-2-エチルヘキシル	mg/L	/	<0.001	<0.001	<0.001
	3	アルキルフェノール類	mg/L		<0.0001	<0.0001	<0.0001
	4	クロロアセトニトリル	mg/L		<0.002	<0.002	<0.002
	5	ブロモアセトニトリル	mg/L	]	<0.002	<0.002	<0.002
	6	1,2- ジ ク ロ ロ プ ロ パ ン	mg/L		<0.0002	<0.0002	<0.0002
	7	p - ジクロロベンゼン	mg/L		<0.0002	<0.0002	<0.0002
	8	注 放射性物質(全ベータ線)	Bq/L		検出せず	-	注3 検出せず
	9	<sup>注2</sup> 放 射 性 セ シ ウ ム	Bq/L		検出せず	-	注3 検出せず
	10	クリプトスポリジウム	浄水20L/オーシスト 原水10L/オーシスト		- 0	_	<del>注3</del> 0
					_		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
吹	11	ジーアールジーア	原水10L/シスト		0	_	-
	12	大 腸 菌 群	MPN/100mL		2,200	20	
田	13	嫌 気 性 芽 胞 菌	CFU/100mL		ı	0	注4 0
市	14	硝 酸 態 窒 素	mg/L		1.133	<0.100	1.199
111	15	硫 酸 イ オ ン	mg/L		14.5	1.1	13.2
独	16	臭 化 物 イ オ ン	mg/L		0.10	0.06	0.02
自	17	溶性ケイ酸	mg/L		7.6	46.2	15.6
	18	カルシウムイオン	mg/L		14.2	17.7	14.1
の	19	マグネシウムイオン	mg/L		2.5	6.0	3.1
五五	20	カ リ ウ ム	mg/L		2.9	1.7	2.8
項	21	アンモニア態窒素	mg/L		0.36	0.47	
目	22	クロラミン類	mg/L		-	-	0.06
	23	酸	mg/L		3.5	4.5	
	24	アルカリ度	mg/L		37.9	118	51.1
	25	電気伝導率	μs/cm		155	269	176
	26	トリハロメタン生成能	mg/L		0.032	0.010	-
	27	生物化学的酸素要求量(BOD)	mg/L		4.4	_	-
	28	化学的酸素要求量(COD)	mg/L		3.4	-	-
	29	浮   遊   物   質   (SS)	mg/L		8.5	<1.0	-
	30	全 室 素	mg/L		1.73	0.64	-
	31	全 り ん	mg/L		0.11	0.13	-
	32	溶 存 酸 素	mg/L		10.5	_	-
	33	透 視 度	cm		100	-	-
	34	水    温	$^{\circ}$ C		9.3~30.5	26.1~28.0	13.3~31.1

吹田市独自の項目:河川や地下水の状況や浄水の性状を確認するため、本市独自で定めた34項目について、 検査を実施しています。

片山湾	承水 所	佐井寺配水場	千里山配水場	津雲配水場	蓮間配水場	山田配水場	万博調圧場	**千里浄水池	大阪市水
地下水原水	管末水	管末水	管末水	管末水	管末水	管末水	管末水	管末水	管末水
< 0.004	< 0.004	<0.004	<0.004	< 0.004	<0.004	<0.004	< 0.004	<0.004	<0.004
<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
<0.002	< 0.002	0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	<0.002	<0.002	<0.002
<0.004	< 0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	< 0.004
<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	< 0.04	<0.04	<0.04
<0.0000010	<0.0000010	-	_	0.0000012	<0.0000010	_	-	-	0.0000010
0.0000068	0.0000068	-	-	0.0000099	0.0000074	_	=	-	0.0000082
-	0.0000008	-	-	0.0000005	0.0000007	_		-	0.0000004
<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001
<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
-	_	_	_	_	_	_	_	_	_
-	_	_	_	_	_	_	_	_	_
-	_	_	-	-	_	_	_	_	_
-	_	_	-	-	-	-	-	-	-
_	-	-	-	-	_	-	_	-	-
- (1.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
<1.8	不検出 <sup>注4</sup> 0	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
0.548	0	1 271	1 207	1 207	1 107	1 279	1 250	1 274	1 100
	1.082	1.371	1.387	1.367	1.197	1.372	1.358	1.374	1.189
12.4	17.0	19.4	19.1	19.1	22.5	19.2	18.6	18.6	25.4
0.03	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.03	0.03
50.9	23.3	7.0	8.3	8.2	9.2	8.3	8.8	9.0	7.5
12.4	13.7	14.2	13.8	13.7	13.7	13.7	13.9	14.0	13.9
5.2	3.6	2.5	2.4	2.4	2.4	2.4	2.5	2.5	2.4
1.6	2.5	2.9	2.9	2.8	2.8	2.9	2.8	2.8	3.0
0.03	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
- 25.0	0.05		0.05	0.07	0.07	0.08	0.06	0.07	0.06
35.0	3.5	3.0	3.5	3.5	4.0	3.0	4.0	4.0	2.0
65.8	55.5	36.5	38.1	37.6	40.9	37.6	37.5	37.9	40.9
172	187	177	183	180	179	181	182	180	182
<0.005	_	-	_	-	-	_	-	-	_
_	_	-	-	-	-	-	-	_	_
_	_	-	-	-	-	-	-	-	-
13.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1.37	-	-	-	-	-	-	-	-	-
0.14	_	-	-	-	-	_	-	-	_
_	_	-	-	-	-	-	-	-	_
_	_	-	-	-	-	_	-	-	-
18.3~19.8	$13.8 \sim 29.3$	$12.2 \sim 29.7$	$10.7 \sim 30.6$	$10.7 \sim 30.8$	11.3~31.5	11.1~30.8	10.0~30.4	10.4~30.6	11.6~31.0

備考:目標値(指針値)は水道水に適用され、原水には適用されません。

表中の"ー"は未測定を示します。 ※印の千里浄水池は大阪広域水道企業団の施設です。

注1 全ベータ線は、水1L当たり1Bqを超えた場合には、世界保健機構(WHO)の飲料水水質ガイドラインに沿って放射性ヨウ素、放射性セシウムなどの各種分析を行うこととなっています。

注2 食品衛生法により水道水中の放射性セシウムの管理目標値は10Bq/L以下となっています。

注3 放射性物質、クリプトスポリジウム及びジアルジアは、泉浄水所浄水(出口水)を検査しています。

注4 嫌気性芽胞菌は、泉浄水所浄水(出口水)および片山浄水所浄水(出口水)を検査しています。

### 第5章 営業・給水

- 1. 営業業務状況
  - (1) 検針状況
  - (2) 督促状況
  - (3) 減免状況
  - (4) 受付状況
  - (5) 請求状況
  - (6) 収納状況
- 2. メーター取付、取替状況
- 3. 区分別段階別給水状況
- 4. 給水業務状況
  - (1) 加入金収入状況
  - (2) 各種手数料収入状況
  - (3) 給水工事施工状況
  - (4) 配給水装置修繕状況
- 5. 漏水防止対策状況
  - (1) 漏水防止作業年度別内訳表
  - (2) 漏水調査状況
  - (3) 漏水調査による修理件数及び漏水量分析表
  - (4) 公道下·宅地内別比率表
  - (5) 配·給水管別比率表
- 6. 配水量分析状況
  - (1) 配水量年度別内訳表
  - (2) 配水量分析表

### 1. 営業業務状況(令和元年度(2019年度))

### (1)検針状況

(単位:件)

停水処分

· · / IZ	エートイクリ		(1 🖾 • 11)
区分月分	検針対象	検針実施	検針不能
4	89,862	89,271	591
5	74,409	73,939	470
6	89,994	89,288	706
7	74,523	74,153	370
8	90,580	89,692	888
9	74,633	74,185	448
10	90,618	90,039	579
11	74,716	74,370	346
12	90,962	90,529	433
1	74,899	74,625	274
2	90,872	90,456	416
3	74,932	74,632	300
合計	991,000	985,179	5,821

### (2)督促状況

区分口径	件
13mm	
20mm	

(3)減免状況

口径別減免状況 (年間)※

### 丰数 減免量 件 $m^3$ 63 4,222 15,888 345 25mm 155 12,062 30mm 2 322 40 mm35 10,513 50mm 7 2,190 8 5,483 $75 \mathrm{mm}$ 2 698 100 mm $150 \mathrm{mm}$ 1 966 $200 \mathrm{mm}$ 0 0 250mm 0 0 合計 618 52,344

\				
	調定件数	件数	対調 定	通知発行
月分		件 剱	比率	件 数
	件	件	%	件
4	83,620	3,375	4.04	258
5	69,977	4,267	6.10	219
6	84,199	3,569	4.24	278
7	69,959	3,768	5.39	262
8	84,735	3,317	3.91	260
9	70,109	4,009	5.72	230
10	85,331	3,805	4.46	283
11	69,765	4,182	5.99	229
12	85,136	3,165	3.72	277
1	69,875	3,993	5.71	215
2	85,307	3,527	4.13	247
3	71,395	4,149	5.81	220
合計	929,408	45,126	4.86	2,978

督促状発行

※集合住宅等の戸数計算が適用される水栓は、親メーターの口径で件数及び減免量を計上しています。 ※公衆浴場及び臨時を含めて口径別で表しています。

**(4)受付状況** (単位:件)

区分		一般	· 公	衆浴	場		臨 時	
月分	新 設	開 核	計	閉栓	名 義 変 更	開栓	閉栓	
4	624	2,008	2,632	1,756	207	13	12	25
5	423	1,436	1,859	1,473	227	31	17	48
6	416	1,375	1,791	1,313	173	17	18	35
7	269	1,527	1,796	1,619	180	14	18	32
8	380	1,209	1,589	1,317	156	11	16	27
9	296	1,507	1,803	1,583	142	15	19	34
10	296	1,324	1,620	1,434	175	12	17	29
11	159	1,079	1,238	1,298	189	20	20	40
12	207	1,070	1,277	1,248	153	11	8	19
1	266	1,182	1,448	1,405	204	10	14	24
2	196	1,407	1,603	1,694	194	20	18	38
3	725	2,714	3,439	2,861	243	18	23	41
合 計	4,257	17,838	22,095	19,001	2,243	192	200	392

(5)請求状況 (単位:件・%) (6)収納状況 (単位:件・%)

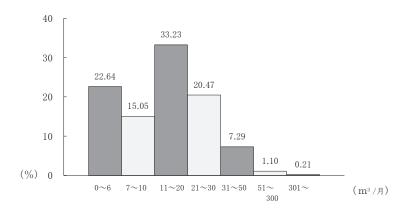
	1 1/1/20	· · · ·		<u> </u>	1 1/1// 0			五・11 /0/
区分	定 期	分請 求	状 況	区分		収 納	状	況
	口座振替				口座振替	納作	寸書	
請求月	(率)	納付書	計	収納月	(率)	金融機関	コンビニ	計
4	64,970 (79.82)	16,424	81,394	4	57,111 (82.48)	1,884	10,244	69,239
5	56,255 (82.65)	11,806	68,061	5	65,638 (77.12)	5,381	14,091	85,110
6	65,662 (79.94)	16,476	82,138	6	56,268 (79.36)	3,671	10,962	70,901
7	56,503 (83.05)	11,528	68,031	7	66,342 (78.86)	3,878	13,903	84,123
8	66,127 (80.16)	16,367	82,494	8	56,568 (80.02)	3,703	10,417	70,688
9	56,606 (83.02)	11,578	68,184	9	66,818 (79.75)	3,335	13,628	83,781
10	66,366 (80.02)	16,573	82,939	10	56,744 (79.88)	4,211	10,082	71,037
11	56,727 (83.08)	11,550	68,277	11	67,040 (79.12)	3,539	14,154	84,733
12	66,835 (80.55)	16,138	82,973	12	56,736 (79.85)	3,894	10,427	71,057
1	56,875 (83.24)	11,449	68,324	1	67,474 (80.08)	3,437	13,350	84,261
2	66,905 (80.55)	16,156	83,061	2	56,901 (80.45)	3,428	10,399	70,728
3	57,149 (83.35)	11,412	68,561	3	67,833 (79.73)	3,535	13,710	85,078
合 計	736,980	167,457	904,437	合 計	741,473	43,896	145,367	930,736
(率)	(81.48)	(18.52)	(100.00)	(率)	(79.67)	(4.72)	(15.62)	(100.00)

2. メーター 取付、取替状況(令和元年度(2019年度))

1			~		10		~	_	~		0.1	•	10	~	<i>,</i> ,
(単位:件)	11111111	取替	1,427	1,261	1,655	1,476	1,548	1,981	1,658	1,736	1,382	1,729	1,335	1,328	18,516
(単位	IIIII	取付	282	253	487	300	285	313	152	273	391	38	488	173	3,435
	mm	取替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	250mm	取付	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	mm	取替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	200mm	取付	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	mm	取替	0	0	0			0	1	0	0	0	0	0	3
	150mm	取付	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	mm	取替	1	П	0	0	0	0	0	3	1	2	1	4	13
	100mm	取付	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	mı	取替	3		23	2	က	4	23	3	2	4	4	9	39
	75mm	取付	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	ш	取替	∞	<u></u>	23	ιĊ	4	8	8	8	2	9	2	4	83
	50mm	取付	0		0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2
	mı	取替	17	23	24	28	23	32	12	22	14	19	10	20	244
	40mm	取付	1		4	0	0	0	0	1	0	0	1	0	∞
	uu	取替	0		1	0	4	0	9	2	2	4	5	rc	30
	30mm	取付	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	2
	шш	取替	68	97	173	85	111	74	114	115	355	235	241	121	1,810
	25mm	取付	2		8	0	23	5	2	3	4	0	8	1	31
	ш	取替	1,153	1,049	1,395	1,317	1,348	1,844	1,504	1,514	208	1,288	1,000	1,071	15,290
	20mm	取付	279	250	480	300	283	307	150	569	387	38	476	172	3,391 1
	u u	取替	156	82	37	38	54	19	16	69	193	171	72	26	1,004
	13mm	取付	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 1
	口径	月別	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	月 6	10月	11月	12月	1月	2 月	3 月	<b>√</b> □

### 3. 区分别段階别給水状況(令和元年度(2019年度))

(件数構成)



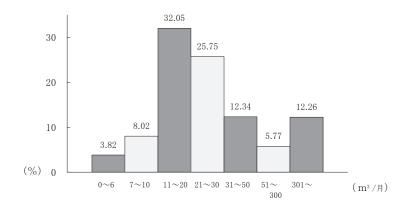
(単位:件・%)

段階	0∼6 m	3/月	7∼10 n	n³/月	11~20	m³/月	21~30	m³/月
区分・口径	件 数	構成比						
13mm	21,767	34.70	9,875	15.74	18,200	29.02	8,486	13.53
20mm	474,774	22.76	322,661	15.47	708,056	33.94	430,800	20.65
25mm	28,106	17.83	17,053	10.82	45,467	28.84	35,828	22.73
30mm	541	20.16	185	6.89	537	20.01	374	13.93
40mm	1,416	12.69	667	5.98	1,493	13.38	1,159	10.39
50mm	146	3.85	84	2.21	167	4.40	121	3.19
75mm	98	4.05	9	0.37	51	2.11	51	2.11
100mm	2	0.25	2	0.25	4	0.49	10	1.23
150mm	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
200mm	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
250mm	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
公 衆 浴 場	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
臨時	760	34.77	239	10.93	301	13.77	145	6.63
合 計	527,610	22.64	350,775	15.05	774,276	33.23	476,974	20.47

段階	31~50	m³/月	51~300	m³/月	301 m <sup>3</sup> /	/月~	計	
区分・口径	件数	構成比	件 数	構成比	件数	構成比	ьl	
13mm	3,936	6.28	460	0.73	0	0.00	62,724	
20mm	139,987	6.71	9,924	0.48	132	0.01	2,086,334	
25mm	23,481	14.90	7,528	4.78	165	0.10	157,628	
30mm	372	13.86	565	21.05	110	4.10	2,684	
40mm	1,491	13.37	3,842	34.44	1,088	9.75	11,156	
50mm	263	6.93	1,806	47.58	1,209	31.85	3,796	
75mm	69	2.85	872	36.00	1,272	52.52	2,422	
100mm	0	0.00	131	16.17	661	81.60	810	
150mm	0	0.00	28	15.56	152	84.44	180	
200mm	0	0.00	0	0.00	12	100.00	12	
250mm	0	0.00	4	8.33	44	91.67	48	
公 衆 浴 場	0	0.00	12	25.00	36	75.00	48	
臨 時	183	8.37	472	21.59	86	3.93	2,186	
合 計	169,782	7.29	25,644	1.10	4,967	0.21	2,330,028	

注)集合住宅等の戸数計算が適用される水栓は、口径20mmで件数を計上しています。

### (水量構成)



(単位: m³・%)

n³/月
構成比
26.46
30.67
26.29
5.49
2.31
0.26
0.09
0.02
0.00
0.00
0.00
0.00
2.93
25.75

段階	31~50 1	m³/月	51~300	m³/月	301 m <sup>3</sup> /	'月~	⇒1.
区分・口径	水量	構成比	水量	構成比	水量	構成比	計
13mm	142,671	18.64	28,645	3.74	0	0.00	765,555
20mm	3,809,925	12.80	607,996	2.04	83,906	0.28	29,759,779
25mm	868,372	26.01	623,080	18.66	70,547	2.11	3,339,044
30mm	14,266	8.56	57,755	34.67	74,419	44.68	166,563
40mm	57,862	4.60	474,183	37.71	665,167	52.89	1,257,583
50mm	10,705	0.90	283,709	23.81	890,745	74.75	1,191,633
75mm	2,615	0.19	145,270	10.32	1,257,644	89.34	1,407,702
100mm	0	0.00	27,096	2.90	907,777	97.07	935,196
150mm	0	0.00	3,795	0.81	462,536	99.19	466,331
200mm	0	0.00	0	0.00	61,237	100.00	61,237
250mm	0	0.00	866	0.25	348,124	99.75	348,990
公 衆 浴 場	0	0.00	3,308	14.10	20,158	85.90	23,466
臨 時	5,734	5.93	43,392	44.86	38,391	39.69	96,737
合 計	4,912,150	12.34	2,299,095	5.77	4,880,651	12.26	39,819,816

注)集合住宅等の戸数計算が適用される水栓は、口径20mmで水量を計上しています。

4. 給水業務状況(令和元年度(2019年度))
 (1)加入金収入状況

(1);	加入鱼	(1)加入金収入状況	兴																(単位:作	(単位:件・円、税込み)
口径	2	20 mm	·	25 mm		30 mm		40 mm		20 mm	,	mm 22		100 mm	150	工以 咖(	П	1径変更		11111111
月別	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	金額 4	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	(金額	件数	金 額
4月	16	2,678,400	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4,676,400	0	0	0	0	6	7,927,200	26	15,282,000
5月	6	1,555,200	1	345,600	0	0	1	1,047,600	0	0	0	0	0	0	0	0	10	59,767,200	21	62,715,600
6月	32	5,184,000	0	0	0	0	0	0	1	1,846,800	0	0	0	0	0	0	14	17,031,600	47	24,062,400
7月	41	6,912,000	1	345,600	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	15,562,800	22	22,820,400
8月	33	5,702,400	1	345,600	0	0	1	1,047,600	0	0	0	0	0	0	0	0	7	24,872,400	42	31,968,000
9月	73	12,528,000	1	345,600	1	604,800	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	58,503,600	88	71,982,000
10月	135	22,851,200	3	1,036,800	2	1,209,600	4	4,190,400	0	0	1	4,676,400	0	0	0	0	6	24,254,400	154	58,218,800
11月	41	6,665,600	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	12,242,000	49	18,907,600
12月	30	5,198,400	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	6,438,400	33	11,636,800
1月	75	13,161,600	1	352,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	15,441,400	84	28,955,000
2月	304	33,440,000	1	352,000	1	231,000	1	462,000	1	803,000	1	4,763,000	0	0	0	0	2	4,752,000	314	44,803,000
3月	16	2,816,000	1	352,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	9,845,000	22	13,013,000
仁	805	805 118,692,800	10	3,475,200	4	2,045,400	7	6,747,600	2	2,649,800	က	14,115,800	0	0	0	0	104	256,638,000	935	404,364,600

令和元年度(2019年度)	H	404,364,600
令和元年	件	935
(2018年度)	田	490,762,800
平成30年度(2018年度)	件	1,094
(2017年度)	田	364,359,600
平成29年度(2017年度)	件	1,023
(2016年度)	田	262,785,600
平成28年度(2016年度)	件	637
2015年度)	田	284,850,000
平成27年度(2015年度)	件	1,393

### (2)各種手数嵙収入状況

26,559,900	2,869	56,000	28	316,000	29	16,029,000	1,406	10,158,900	1,406	福
1,485,800	229	2,000	1	20,000	2	894,600	113	569,200	113	3 月
2,056,100	204	0	0	40,000	4	1,231,500	100	784,600	100	2月
1,920,400	213	2,000	1	40,000	4	1,149,000	104	729,400	104	1月
905,700	223	6,000	3	0	0	546,300	110	353,400	110	12 月
1,414,400	320	4,000	2	40,000	4	836,100	157	534,300	157	11月
2,458,400	258	2,000	П	32,000	3	1,486,800	127	937,600	127	10 月
2,651,600	235	10,000	5	24,000	2	1,602,600	114	1,015,000	114	9 月
1,986,400	214	4,000	2	0	0	1,214,400	106	768,000	106	8 月
2,355,500	242	4,000	2	24,000	2	1,425,300	119	902,200	119	7 月
2,242,900	267	6,000	3	24,000	2	1,356,600	131	856,300	131	6月
5,425,500	243	8,000	4	36,000	3	3,300,300	118	2,081,200	118	5 月
1,657,200	221	8,000	4	36,000	သ	985,500	107	627,700	107	4 A
金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	月別
111111		指定給水装置工事 事 業 者 証 交 付	指定給水事業者	水装置工事 者 指 定	指定給水装事 業 者	7工検査	しゅん	· 海 柯	4	種別
(単位:件・円)	(東)									

### (3)給水工事施工状況

(単位:件)

工種		給	水 工	事	
月別	新 設	増設	改造	撤去	計
4 月	15	0	335	0	350
5 月	37	0	317	3	357
6 月	18	0	709	1	728
7 月	18	0	501	5	524
8月	20	0	629	1	650
9月	12	0	437	2	451
10 月	27	0	412	3	442
11 月	35	1	384	0	420
12 月	39	0	932	2	973
1月	7	0	256	0	263
2 月	45	0	618	1	664
3 月	39	1	406	2	448
合 計	312	2	5,936	20	6,270

(単位:件)

工種年度	新設	増設	改造	撤去	計
平成27年度 (2015年度)	844	4	7,212	381	8,441
平成28年度 (2016年度)	546	0	5,366	457	6,369
平成29年度 (2017年度)	376	3	5,232	377	5,988
平成30年度 (2018年度)	396	3	5,643	20	6,062
令和元年度 (2019年度)	312	2	5,936	20	6,270

(4)配給水装置修繕状況

内容 配・給水管別	引 附属施設	4月	5月	畄9	₩2	旨8	頁6	旨01	11月	12月	1月	日2	3月	- <u>1</u> 1111112
	鋳鉄管	0	0	1	3	0	3	0	1	4	5	1	2	20
	アゴーラ部	0	1	0	1	0	2	4	3	0	2	0	0	13
	ポリエチレン管	Π	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	鋼管	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	鉛管	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
配水管	止水栓	Π	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	T
	消火栓	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	仕切弁	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	空気弁	П	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	分水栓	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
響.	1111111	3	1	3	4	0	5	4	4	4	2	1	2	38
长德	鋳鉄管	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
7 總	ビニーン質	14	4	12	10	2	14	8	91	10	12	8	26	141
	ポリエチレン管	6	10	10	14	27	32	25	15	14	10	14	13	193
	鋼管	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	鉛管	8	9	8	11	01	8	8	9	6	2	8	12	101
数 4 4 8	止水栓	2	0	2	0	2	2	3	1	2	12	4	8	44
日くては	消火栓	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	I	0	1
	仕切弁	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
	空気弁	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	分水栓	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2
	量水器	0	2	0	0	2	1	1	1	2	9	1	9	22
	111111111111111111111111111111111111111	37	23	33	37	48	22	45	40	41	47	36	99	510
漏水外維持管理修繕 <sup>※</sup>	*	40	45	44	28	25	20	54	47	40	45	44	47	999
<b>1</b>	<b>T</b>	ď	ď						•					

※水道管の漏水以外の維持管理(止水栓不良に伴う部品取替、消火栓BOXなどの調整等)を示します。

# 5. 漏水防止対策状況(令和元年度(2019年度))

### (1)漏水防止作業年度別内訳表

年度	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)
型区	· 一 一 爻	金子	中 市 域	中 古 英	· 十 支
河	673. 468 km	665. 914 km	657. 734 km	656. 411 km	659. 713 km
件数	93,276 件	93,190 件	92,961 件	93,504 件	93,583 件
水発見件数	230 件	215 件	211 件	171 件	238 件
水修理件数	209 件	210 件	229 件	133 件	233 件
防 止 水	20. 360 m³/h	28. 260 m³/h	21. 120 m³/h	17. 280 m³/h	25. 840 m³/h

(2)漏水調査状況

三十二年)

調産	調査延長	調査件数	発見件数	推定漏水量			漏水	服	箇 所	大票		
(km) (4t) (4t)		(件	<u></u>	(m³/h)	配水管	仕切弁	消火栓	分水栓	給水管	止水栓	量水器	允为为
85.915 16,209	16,209		45	2.420	0	0	0	0	11	0	8	31
110.290 19,543	19,543		35	2.840	0	0	0	2	8	0	4	21
122.515 18,256	18,256		72	5.690	1	0	0	2	13	2	2	52
115.123 15,260	15,260		29	3.770	1	0	0	0	6	0	1	18
91.084 13,131	13,131		40	3.730	0	1	0	4	11	0	0	24
134.786 11,184	11,184		17	7.390	2	0	0	2	3	0	1	6
659.713 93,583			238	25.840	4	1	0	10	22	2	11	155

※ 上段は件数(件)、下段は水量(m³/h)

## (3)漏水調査による修理件数及び漏水量分析表

場所別	旧 뭚 剔	11111111	1111111	鋳鉄管	と、ニール管	ポッコ・チレン管	鋼管	鉛管	止水栓	消火栓	仕切弁	空気弁	分水栓	量水器
· 河 公	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	件教	9	4	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	<del>&lt;</del>	水量	8.080	8.040	0.010	0000	0.000	0.000	0.030	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
<b>歩</b> 98	拉个公	件教	80	0	20	40	0	16	2	0	0	0	2	0
$18.920 \text{ m}^3/\text{h}$		十量	10.840	0.000	2.090	6.750	0.000	1.910	0.040	0.000	0.000	0.000	0.050	0.000
化 岩 石	# <>	件数	147	0	44	33	1	33	23	0	0	0	0	13
7.080 m³/h		水量	7.080	0.000	2.940	1.780	0.030	1.700	0.440	0.000	0.000	0.000	0.000	0.190
111	修理件数		233	4	65	73	1	49	26	0	0	0	2	13
п.	漏水防止水量		26.000	8.040	5.040	8.530	0.030	3.610	0.510	0.000	0.000	0.000	0.050	0.190

### (4)公道下·宅地内別比率表

100.0	26.000	100.0	233	世
27.2	7.080	63.1	147	宅地内
72.8	18.920	36.9	98	公道下
(%) 奉 汨	漏水防止水量 (m³/h)	(%) 奉 汨	件数(件)	内就

### (5)配·給水管別比率表

内票	件数(件)	开 禄 (%)	漏水防止水量 (m³/h)	开 禄 (%)
X		-	8.080	-
; <del> </del>	266	97.4		6 89
	233	100.0		0.001
	1	1000	1	

## 6. 配 水 量 分 析 状 況 (令和元年度(2019年度))

### (1)配水量年度別内訳表

度) 令和元年度(2019年度)	$(m^3)$ 構成比 $(\%)$ 水 量 $(m^3)$ 構成比 $(\%)$ 水 量 $(m^3)$ 構成比 $(\%)$ 水 量 $(m^3)$ 構成比 $(\%)$	0.00 41,411,787 100.0	41,411,787 40,644,121	41,411,787 40,644,121 39,819,816	41,411,787 40,644,121 39,819,816 824,305
平成30年度(2018年度)	I (m³) 構成比(%)	41,758,437 100.0			
	成比(%) 水 量	100.0 41,7			
平成29年度(2017年度)	水 量 (m³) 構	41,663,190	41,663,190	41,663,190 40,847,209 40,012,946	41,663,190 40,847,209 40,012,946 834,263
	構成比(%)	100.0	100.0	97.8	100.0 97.8 95.9 1.9
平成28年度(2016年度)	水量 (m³)	41,763,521	41,763,521	41,763,521 40,865,089 40,032,542	40,865,089 40,032,542 832,547
(015年度)	構成比(%)	100.0	100.0	100.0 97.2 95.1	100.0 97.2 95.1
平成27年度(2015年度)	水量 (m³)	41,910,691	41,910,691	41,910,691 40,724,296 39,865,055	41,910,691 40,724,296 39,865,055 859,241
年 度		水量	水 量(有効率)	水 (有效率 (有収率	本       量         (有効率)       (有収率)         収水       本
	区分	総酉	校	総     配       有     効     水       有     対     イ	総     配       有     効     水       有     効     無       有     効     無

### ①有効無収水量内訳

	- · ·										
<b>◆</b>	三度	平成27	年 度	平成28年	年 度	平成29年	承	平成304	年 度	令和 元	年 度
     数		(2015年	: 度)	(2016年	)	(2017年度)	المار	(2018年	: 度)	(2019年	: 英)
新管、濁水による洗管水量	管水量	43,417	0.1	17,591	0.0	17,150	0.0	47,064	0.1	10,886	0.0
公 用 水	曹	735	0.0	731	0.0	491	0.0	062	0.0	191	0.0
二	水 量	1,570	0.0	1,147	0.0	2,169	0.0	1,627	0.0	1,465	0.0
給水モニター用	用水量	16,218	0.0	12,426	0.0	14,196	0.0	13,400	0.0	14,789	0.0
メーター不感	水量	797,301	1.9	800,652	1.9	800,257	1.9	800,787	1.9	796,398	1.9
<b>√</b> □	<del>기</del> 트	859,241	2.1	832,547	1.9	834,263	2.0	863,668	2.1	824,305	2.0

### ②無効無収水量内訳

成 27 年 度	平成28年	年 庚	平成29年度	英	中 及 30 4	年 庚	今和元	年 庚
[2015年度]	(2016年	(度)	(2017年度)		(2018年	: 度)	(20194	年度)
70,839 0.2	71,264	0.2	64,902	0.2	117,771	0.3	52,344	0.1
,115,556 2.7	827,168	2.0	751,079	1.8	737,624	1.8	715,322	1.7
,186,395 2.8	898,432	2.2	815,981	2.0	855,395	2.0	767,666	1.9
	- (単 (単 (単 ) ) )	年度) (20164 0.2 71,264 2.7 827,168 2.8 898,432	年度) (2016年度) (2012年度) (2016年度) (2018年度) (2018年6) (2018年6	年度)     (2016年度)     (2017年度)       0.2     71,264     0.2     64,902       2.7     827,168     2.0     751,079       2.8     898,432     2.2     815,981	年度)     (2016年度)     (2017年度)       0.2     71,264     0.2     64,902       2.7     827,168     2.0     751,079       2.8     898,432     2.2     815,981	年度)     (2016年度)     (2017年度)     (2018年度)       0.2     71,264     0.2     64,902     0.2     117,771       2.7     827,168     2.0     751,079     1.8     737,624       2.8     898,432     2.2     815,981     2.0     855,395	年度)       (2016年度)       (2017年度)       (2018年度)         0.2       71,264       0.2       64,902       0.2       117,771         2.7       827,168       2.0       751,079       1.8       737,624         2.8       898,432       2.2       815,981       2.0       855,395	年度)       (2016年度)       (2017年度)       (2017年度)       (2018年度)       (2019年度)         0.2       71,264       0.2       64,902       0.2       117,771       0.3       52,344         2.7       827,168       2.0       751,079       1.8       737,624       1.8       715,322         2.8       898,432       2.2       815,981       2.0       855,395       2.0       767,666

(2)配水量分析表

39,819,816 m³ (96.2 %)	10,886 m³ ( 0.0 %)	767 m³ ( 0.0 %)	$1,465 \text{ m}^3  (0.0\%)$	14,789 m³ ( 0.0%)	796,398 m³ ( 1.9%)	52,344 m³ ( 0.1%)	715,322 m³ ( 1.7%)
料金徵収基礎水量	新管、濁水洗管水量	公用水量	消火用水量	給水モニター用水量	メーター不厩水量	滅 免 水 量	不明水量
有 収 水 量 39,819,816 m³ (96.2%)		有 効 水 量 40,644,121 m³ 無 収 水 量	$\omega$			無効無収水量	767,666 m³ ( 1.9%)
		有40,6	総配水量 41,411,787 m³	( 100.0 % )			

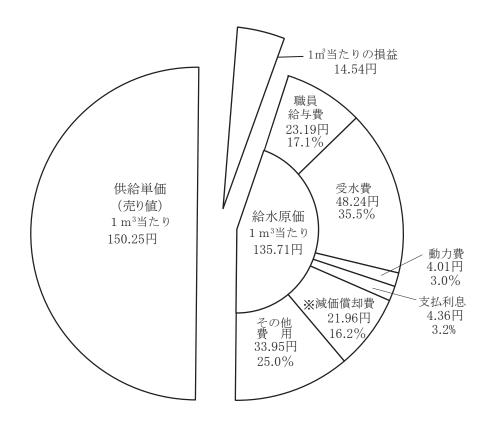
### 第6章 財 政

- 1. 財務状況の図解
  - (1) 原価と単価の比較
  - (2) 貸借対照表
- 2. 主な収益的支出の推移
- 3. 収益的収支の推移
- 4. 資本的収支の推移
- 5. 要素別費用明細表
- 6. 貸借対照表の推移
- 7. 原価・単価構成の推移
- 8. 財務経営分析に関する調

本章の金額は原則として消費税抜きで表示しています。

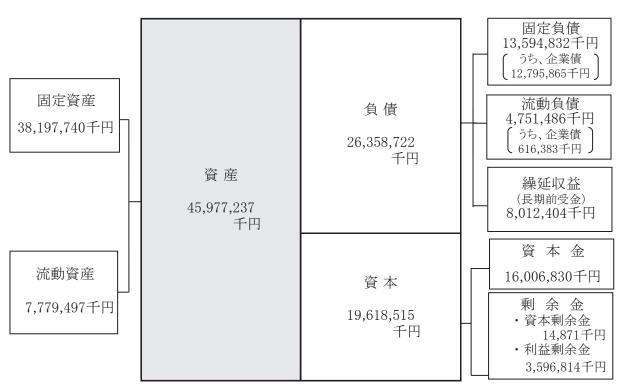
### 1. 財務状況の図解

### (1)原価と単価の比較(令和元年度(2019年度)) (98ページの図解)



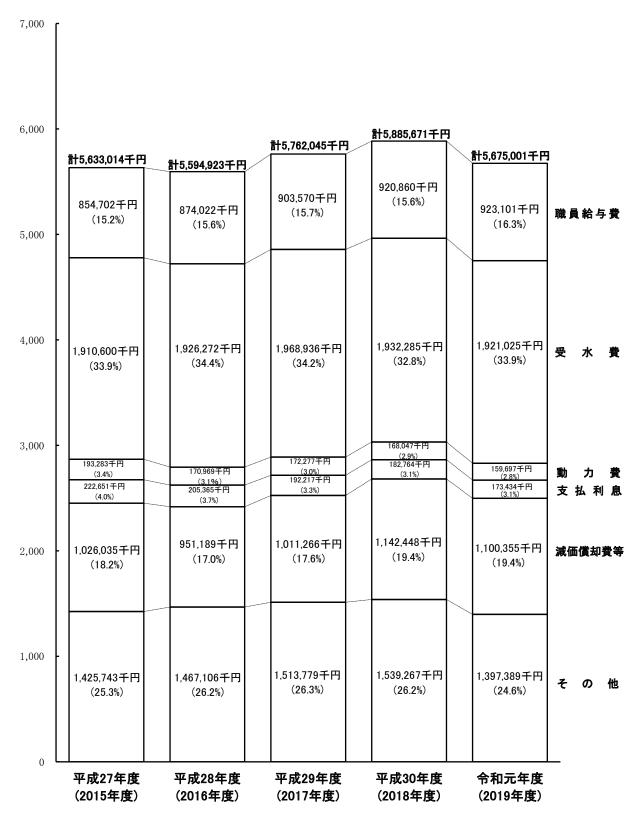
※1㎡当たりの減価償却費から1㎡当たりの長期前受金戻入見合い の減価償却費を控除した金額(98ページ参照)

### (2)貸借対照表(令和 2年(2020年)3月末) (96ページの図解)



### 2. 主な収益的支出の推移

### (百万円)



<sup>※ 「</sup>職員給与費」(管理者含む)は、給料、手当、賞与等引当金繰入額、法定福利費の合計。 嘱託手当、報酬、退職給付引当金繰入額は「その他」に含む。 「減価償却費等」には資産減耗費を含む。

### 3. 収益的収支の推移

		年	度		平成 2 (2015				8 年 度 6年度)	
科	I			金	額	構成比	対前年度 増 減 率	金額	構成比	対前年度 増減率
水	道事	業 収	益	6,236,	553,813	100.0	0.5	6,566,089,655	100.0	5.3
	営 業	収	益	5,663,	180,080	90.8	△ 0.2	6,005,585,708	91.5	6.0
	給 水	収	益	5,378,	309,615	86.2	△ 1.1	5,775,055,910	88.0	7.4
	その他	営業収	又益	284,	870,465	4.6	20.5	230,529,798	3.5	△ 19.1
	営業タ	外収	益	549,	631,308	8.8	3.7	494,012,370	7.5	△ 10.1
	加	入	金	263,	750,000	4.2	15.0	243,320,000	3.7	△ 7.7
	長期前	受金房	人	203,	100,812	3.3	△ 18.2	196,044,316	3.0	△ 3.5
	そ	の	他	82,	780,496	1.3	57.9	54,648,054	0.8	△ 34.0
	特別	利	益	23,	742,425	0.4	皆増	66,491,577	1.0	180.1
水	道事	業費	用	5,633,	014,375	100.0	△ 12.9	5,594,923,257	100.0	△ 0.7
	営 業	費	用	5,400,	125,003	95.9	0.4	5,376,132,562	96.1	△ 0.4
	浄 水	送 水	費	2,824,	142,482	50.1	△ 5.1	2,828,113,294	50.5	0.1
	配 水	給 水	費	663,	260,878	11.8	△ 6.0	769,480,379	13.8	16.0
	給 水	工 事	費	37,	746,769	0.7	△ 23.6	50,302,592	0.9	33.3
	業	務	費	395,	175,325	7.0	4.5	349,681,671	6.2	△ 11.5
	総	係	費	395,	888,226	7.0	29.1	408,511,423	7.3	3.2
	減 価	償 却	費	888,	067,251	15.8	$\triangle$ 4.6	934,034,590	16.7	5.2
	資 産	減 耗	費	137,	967,922	2.4	414.9	17,154,085	0.3	△ 87.6
	その他	営業費	費用	57,	876,150	1.0	930.6	18,854,528	0.3	△ 67.4
	営業	外 費	用	232,	889,372	4.1	△ 3.9	218,790,695	3.9	△ 6.1
	支 払 禾企業債			222,	650,688	4.0	△ 5.7	205,364,574	3.7	△ 7.8
	雑	支	出	10,	238,684	0.2	66.9	13,426,121	0.2	31.1
	特別	損	失				皆減		_	
	年度純損				603,	539, 438		971,	166, 398	
そ <i>0</i> 変	か他未処分れ 動	利益剰名	余金 額		610,	000, 000		1, 020,	000, 000	
利	益剰余金	え処 分	額		1, 210,	000, 000		1, 994,	705, 836	
累	積 損(	Δ)	益		3,	539, 438			0	

(注) 構成比の小数第1位未満は四捨五入としています。したがって、合計の数字と内訳の合計

(単位:円・%、税抜き)

	平成2 (2017			平成3 (2018			令 和 ラ (2019		1742/2007
金	額	構成比	対前年度 増減率	金額	構成比	対前年度 増 減 率	金額	構成比	対前年度 増 減 率
6,858,3	339,647	100.0	4.5	6,992,074,953	100.0	1.9	7,069,116,177	100.0	1.1
6,236,3	320,620	90.9	3.8	6,290,237,018	90.0	0.9	6,286,493,529	88.9	△ 0.1
6,005,5	567,120	87.6	4.0	6,051,572,102	86.5	0.8	5,982,984,451	84.6	△ 1.1
230,7	753,500	3.4	0.1	238,664,916	3.4	3.4	303,509,078	4.3	27.2
621,8	358,477	9.1	25.9	701,837,935	10.0	12.9	616,146,095	8.7	△ 12.2
337,3	370,000	4.9	38.7	454,410,000	6.5	34.7	372,680,000	5.3	△ 18.0
204,3	365,872	3.0	4.2	188,202,782	2.7	△ 7.9	180,271,029	2.6	△ 4.2
80,1	122,605	1.2	46.6	59,225,153	0.8	△ 26.1	63,195,066	0.9	6.7
1	160,550	0.0	△ 99.8		_	皆減	166,476,553	2.4	皆増
5,762,0	)45,169	100.0	3.0	5,885,670,651	100.0	2.1	5,675,000,856	100.0	△ 3.6
5,563,5	550,377	96.6	3.5	5,696,149,593	96.8	2.4	5,488,163,153	96.7	△ 3.7
2,863,6	519,503	49.7	1.3	2,827,209,864	48.0	△ 1.3	2,802,612,858	49.4	△ 0.9
857,6	644,667	14.9	11.5	815,379,247	13.9	△ 4.9	742,728,154	13.1	△ 8.9
56,4	167,435	1.0	12.3	47,889,421	0.8	△ 15.2	47,572,834	0.8	△ 0.7
352,7	700,996	6.1	0.9	392,707,076	6.7	11.3	424,792,069	7.5	8.2
408,0	)29,270	7.1	△ 0.1	462,680,803	7.9	13.4	327,040,107	5.8	△ 29.3
962,3	352,615	16.7	3.0	1,004,341,502	17.1	4.4	1,052,433,929	18.5	4.8
48,9	913,174	0.8	185.1	138,106,466	2.3	182.4	47,920,797	0.8	△ 65.3
13,8	322,717	0.2	△ 26.7	7,835,214	0.1	△ 43.3	43,062,405	0.8	449.6
198,4	194,792	3.4	△ 9.3	189,521,058	3.2	$\triangle$ 4.5	186,837,703	3.3	△ 1.4
192,2	217,228	3.3	△ 6.4	182,764,054	3.1	△ 4.9	173,434,469	3.1	△ 5.1
6,2	277,564	0.1	△ 53.2	6,757,004	0.1	7.6	13,403,234	0.2	98.4
	_	_	_		_	_	_	_	_
	1, 096,	294, 478		1, 106,	404, 302		1, 394,	115, 321	
	600,	000, 000		974,	705, 836		1,096	,294,478	
	1, 696,	294, 478	, in the second	2, 081,	110, 138		2, 490,	409, 799	
		0			0			0	

とは一致しないことがあります。

### 4. 資本的収支の推移

	年度	平成:	27 年 度		平成:	28 年 度	
	十 及	(201	5年度)		(201	6年度)	
科	. 目	金額	構成比	対前年度増減率	金額	構成比	対前年度増減率
資	本 的 収 入	869,416,239	100.0	11.2	1,044,830,423	100.0	20.2
	企 業 債	700,000,000	80.5	16.7	950,000,000	90.9	35.7
	出 資 金	_	-	皆減		_	_
	工事負担金	49,286,600	5.7	122.6	28,202,000	2.7	△ 42.8
	開発負担金	118,500,000	13.6	△ 8.4	60,120,000	5.8	△ 49.3
	そ の 他	1,629,639	0.2	皆増	6,508,423	0.6	299.4
資	本的支出	3,080,681,752	100.0	26.9	2,565,849,716	100.0	△ 16.7
	建設改良費	2,504,111,748	81.3	34.6	1,982,107,390	77.2	△ 20.8
	事 務 費	144,526,060	4.7	△ 12.7	156,540,527	6.1	8.3
	工 事 費	2,322,817,577	75.4	39.6	1,801,939,106	70.2	△ 22.4
	その他	36,768,111	1.2	21.0	23,627,757	0.9	△ 35.7
	企業債償還金	576,570,004	18.7	20.0	583,742,326	22.8	1.2
	開発負担金返還金	_	_	皆減	_	_	_
差	:引過不足(△)	 △ 2,21	1,265,513		 △ 1,52	1,019,293	

<sup>(</sup>注) 構成比の小数第1位未満は四捨五入としています。したがって、合計の数字と内訳の合計

(単位:円・%、税込み)

平 氏	29 年 度		亚. F	戈 30 年 度			位:円・% 元 年 度	<b>(</b> 1)[[2]
	7年度)			018年度)			.9年度)	
金 額	構成比	対前年度 増 減 率	金 額	構成比	対前年度 増 減 率	金 額	構成比	対前年度 増 減 率
1,582,505,758	100.0	51.5	1,760,968,000	100.0	11.3	2,739,079,117	100.0	55.5
1,540,000,000	97.3	62.1	1,700,000,000	96.5	10.4	2,700,000,000	98.6	58.8
_	_	_	_	_	_	_	_	_
19,026,000	1.2	△ 32.5	34,628,000	2.0	82.0	35,825,000	1.3	3.5
22,020,000	1.4	△ 63.4	26,340,000	1.5	19.6	_	_	皆減
1,459,758	0.1	△ 77.6	_	_	皆減	3,254,117	0.1	皆増
3,965,370,788	100.0	54.5	3,711,418,919	100.0	△ 6.4	5,605,372,418	100.0	51.0
3,378,789,983	85.2	70.5	3,116,451,750	84.0	△ 7.8	4,997,271,919	89.2	60.4
183,252,872	4.6	17.1	185,679,105	5.0	1.3	181,711,197	3.2	△ 2.1
3,114,146,646	78.5	72.8	2,894,686,163	78.0	△ 7.0	4,778,768,372	85.3	65.1
81,390,465	2.1	244.5	36,086,482	1.0	△ 55.7	36,792,350	0.7	2.0
586,580,805	14.8	0.5	594,547,169	16.0	1.4	607,860,499	10.8	2.2
_	_	_	420,000	0.0	皆増	240,000	0.0	△ 42.9
△ 2,38	2,865,030		Δ1,	950,450,919		△ 2,86	6,293,301	

とは一致しないことがあります。

### 5. 要素別費用明細表

(収益的支出)

	_		年	度	平成	27 年度	(2015年	度)	平成	: 28 年度	〔2016年	三度)
科目	1		\	/	金	額	構成比	対前年度 増 減 率	金	額	構成比	対前年度増減率
人	1	件		費	987,	,268,118	17.5	2.7	1,045	,541,744	18.7	5.9
給				料	401,	,188,434	7.1	△ 3.7	407	,218,013	7.3	1.5
手				当	246,	,618,689	4.4	$\triangle$ 1.2	251,	,019,812	4.5	1.8
法	定	福	利	費	141,	,853,464	2.5	△ 0.8	147	,952,722	2.6	4.3
そ		$\mathcal{O}$		他	197,	,607,531	3.5	29.8	239	,351,197	4.3	21.1
物	1	件		費	3,397	,060,396	60.3	△ 2.0	3,392	,828,264	60.6	△ 0.1
受		水		費	1,910,	,600,037	33.9	△ 8.2	1,926	,272,261	34.4	0.8
動		力		費	193,	,282,999	3.4	△ 8.4	170,	,968,908	3.1	△ 11.5
薬		品		費	56,	,009,498	1.0	25.8	40,	,002,622	0.7	△ 28.6
修		繕		費	113,	,697,478	2.0	31.9	104,	,251,203	1.9	△ 8.3
材		料		費	17,	,431,179	0.3	△ 14.5	16,	,756,358	0.3	△ 3.9
エ	事	請	負	費	129,	,751,960	2.3	△ 15.1	208,	,967,300	3.7	61.1
路	面	復	旧	費	89,	,550,325	1.6	△ 12.1	109,	,589,945	2.0	22.4
委		託		料	469,	,358,141	8.3	17.0	430,	,711,485	7.7	△ 8.2
そ		$\mathcal{O}$		他	417,	,378,779	7.4	13.5	385,	,308,182	6.9	△ 7.7
支	払	禾	1]	息	222,	,650,688	4.0	△ 5.7	205,	,364,574	3.7	△ 7.8
減価	i 償	却	費	等	1,026	,035,173	18.2	7.1	951,	,188,675	17.0	△ 7.3
特	別	Ð	Į	失		_	_	皆減		_	_	_
	合		計		5,633	,014,375	100.0	△ 12.9	5,594	,923,257	100.0	△ 0.7

<sup>※</sup> 人件費欄「その他」は嘱託手当、報酬、賞与等引当金繰入額、退職給付引当金繰入額の合計。 減価償却費等には資産減耗費を含む。

### (資本的支出)

	只 个 H.		<u> </u>					
人	件	費	141,139,355	4.6	△ 12.7	151,790,772	5.9	7.5
給		料	65,722,868	2.1	$\triangle$ 4.6	69,117,076	2.7	5.2
手		当	42,618,253	1.4	$\triangle$ 6.6	46,690,328	1.8	9.6
賞与	多等引当金	金繰入額	11,064,893	0.4	△ 55.4	12,018,318	0.5	8.6
法	定 福	利 費	21,733,341	0.7	△ 3.1	23,965,050	0.9	10.3
物	件	費	2,362,972,393	76.7	39.1	1,830,316,618	71.3	△ 22.5
材	料	費	5,941,581	0.2	86.6	1,592,806	0.1	△ 73.2
エ	事請	負 費	1,734,021,908	56.3	27.6	1,356,090,324	52.9	△ 21.8
路	面 復	旧費	272,700,500	8.9	29.5	332,946,521	13.0	22.1
固;	定資産	取得費	36,768,111	1.2	21.0	23,627,757	0.9	△ 35.7
そ	$\mathcal{O}$	他	313,540,293	10.2	229.3	116,059,210	4.5	△ 63.0
企 業	美 債 償	還 金	576,570,004	18.7	2.0	583,742,326	22.8	1.2
開発	負担金	返還金		_	皆減	_	_	_
	合	計	3,080,681,752	100.0	26.9	2,565,849,716	100.0	△ 16.7

(単位:円・%、税抜き)

平	成 29 年度	〔2017年	三度)	平月	成 30 年月	度(2018年	度)	令	和元年	度(2019年	度)
金	額	構成比	対前年度増減率	金	額	構成比	対前年度 増 減 率	金	額	構成比	対前年度 増 減 率
1,04	46,895,110	18.2	0.1	1,098,	198,146	18.7	4.9	970	,023,323	17.1	△ 11.7
42	20,201,876	7.3	3.2	425,	732,596	7.2	1.3	428	,157,759	7.5	0.6
25	58,371,154	4.5	2.9	264,	096,538	4.5	2.2	259	,628,669	4.6	△ 1.7
15	54,018,958	2.7	4.1	155,	876,525	2.6	1.2	156	,916,646	2.8	0.7
21	14,303,122	3.7	△ 10.5	252,	492,487	4.3	17.8	125	,320,249	2.2	△ 50.4
3,51	11,667,042	60.9	3.5	3,462,	260,483	58.8	△ 1.4	3,431	,188,338	60.5	△ 0.9
1,96	68,936,385	34.2	2.2	1,932,	284,892	32.8	△ 1.9	1,921	,025,204	33.9	△ 0.6
17	72,276,710	3.0	0.8	168,	046,658	2.9	$\triangle 2.5$	159	,697,126	2.8	△ 5.0
3	35,806,478	0.6	△ 10.5	40,	,072,833	0.7	11.9	43	,597,907	0.8	8.8
8	84,589,591	1.5	△ 18.9	97,	746,576	1.7	15.6	73	,929,103	1.3	△ 24.4
]	11,818,688	0.2	△ 29.5	12,	419,513	0.2	5.1	11	,726,513	0.2	$\triangle$ 5.6
18	36,949,393	3.2	△ 10.5	210,	,909,798	3.6	12.8	119	,484,467	2.1	△ 43.3
19	99,568,574	3.5	82.1	167,	622,916	2.8	△ 16.0	167	,245,080	2.9	△ 0.2
46	64,759,200	8.1	7.9	482,	,089,526	8.2	3.7	532	,752,520	9.4	10.5
38	86,962,023	6.7	0.4	351,	,067,771	6.0	△ 9.3	401	,730,418	7.1	14.4
19	92,217,228	3.3	△ 6.4	182,	764,054	3.1	△ 4.9	173	,434,469	3.1	△ 5.1
1,01	11,265,789	17.6	6.3	1,142,	447,968	19.4	13.0	1,100	,354,726	19.4	△ 3.7
						_	_			_	_
5,7	62,045,169	100.0	3.0	5,885	,670,651	100.0	2.1	5,675	5,000,856	100.0	△ 3.6

### (単位:円・%、税込み)

160,162,191	4.0	5.5	162,354,254	4.4	1.4	159,893,099	2.9	$\triangle 1.5$
72,704,400	1.8	5.2	73,694,708	2.0	1.4	73,452,464	1.3	$\triangle$ 0.3
48,298,438	1.2	3.4	48,308,047	1.3	0.0	46,686,410	0.8	$\triangle$ 3.4
12,718,690	0.3	5.8	13,516,374	0.4	6.3	13,829,652	0.2	2.3
26,440,663	0.7	10.3	26,835,125	0.7	1.5	25,924,573	0.5	$\triangle$ 3.4
3,218,627,792	81.2	75.9	2,954,097,496	79.6	△ 8.2	4,837,378,820	86.3	63.8
483,038	0.0	△ 69.7	1,318,755	0.0	173.0	257,473	0.0	△ 80.5
2,460,639,456	62.1	81.5	2,333,794,440	62.9	$\triangle$ 5.2	4,226,324,829	75.4	81.1
418,437,759	10.6	25.7	176,993,691	4.8	△ 57.7	300,624,302	5.4	69.9
81,390,465	2.1	244.5	36,086,482	1.0	△ 55.7	36,792,350	0.7	2.0
257,677,074	6.5	122.0	405,904,128	10.9	57.5	273,379,866	4.9	△ 32.6
586,580,805	14.8	0.5	594,547,169	16.0	1.4	607,860,499	10.8	2.2
			420,000	0.0	皆増	240,000	0.0	△ 42.9
3,965,370,788	100.0	54.5	3,711,418,919	100.0	$\triangle$ 6.4	5,605,372,418	100.0	51.0

### 6. 貸借対照表の推移

	Ē	F 度	平成 27 年月	雯(2015 <sup>左</sup>	F度)	平成 28 年度	き(2016年	F度)
区	分		金 額	構成比	対前年度 増減率	金 額	構成比	対前年度 増 減 率
資	産 合	計	35,489,854,906	100.0	2.1	36,240,291,927	100.0	2.1
固	定資産	合 計	29,573,089,871	83.3	5.4	30,511,134,436	84.2	3.2
	有形固定	至資産	29,515,089,871	83.2	5.2	30,459,743,936	84.0	3.2
	土	地	556,157,431	1.6	△ 0.3	549,649,008	1.5	△ 1.2
	建	物	1,120,223,346	3.2	1.7	1,087,999,780	3.0	△ 2.9
	構 築	物	23,822,038,579	67.1	3.5	24,411,881,917	67.4	2.5
	機械及で	び装置	2,555,888,033	7.2	1.3	2,470,869,666	6.8	△ 3.3
	量 水	器	301,148,069	0.8	2.7	303,188,329	0.8	0.7
	車 両 運	搬具	3,560,880	0.0	△ 34.8	1,671,160	0.0	△ 53.1
	工具器具及	ひ備品	92,732,709	0.3	△ 25.5	85,556,668	0.2	△ 7.7
	建設仮	勘定	1,063,340,824	3.0	142.0	1,548,927,408	4.3	45.7
	無形固定	資 産	58,000,000	0.2	皆増	51,390,500	0.1	△ 11.4
流	動 資 産	合 計	5,916,765,035	16.7	△ 11.6	5,729,157,491	15.8	△ 3.2
	現金	預 金	4,884,971,178	13.8	△ 14.9	5,150,760,377	14.2	5.4
	未 収	金	986,859,889	2.8	7.9	535,223,812	1.5	△ 45.8
	貯 蔵	品	44,933,968	0.1	11.6	43,173,302	0.1	△ 3.9
	保管有個	証 券	_	_	皆減	_	_	
負	債 資 本	合 計	35,489,854,906	100.0	2.1	36,240,291,927	100.0	2.1
負	債 合	計	20,439,320,158	57.6	0.6	20,218,590,781	55.8	△ 1.1
固	定	負債	9,214,842,451	26.0	0.5	9,620,667,910	26.5	4.4
	企 業	債	8,311,236,073	23.4	1.4	8,674,655,268	23.9	4.4
	引 当	金	903,606,378	2.5	△ 7.3	946,012,642	2.6	4.7
	退職給付	引当金	808,670,778	2.3	△ 5.7	863,327,042	2.4	6.8
	修 繕 引	当 金	94,935,600	0.3	△ 19.3	82,685,600	0.2	△ 12.9
流	動 負	負債	2,883,737,665	8.1	△ 2.9	2,316,651,921	6.4	△ 19.7
	企 業	債	583,742,326	1.6	1.2	586,580,805	1.6	0.5
	未 払	金	1,288,714,301	3.6	△ 6.2	1,106,440,128	3.1	△ 14.1
	預 り	金	52,066,086	0.1	△ 3.3	53,052,722	0.1	1.9
	下水道系	頁り金	867,931,256	2.4	△ 1.2	473,410,307	1.3	△ 45.5
	引 当	金	76,106,696	0.2	△ 1.7	79,849,959	0.2	4.9
	そ の	他	15,177,000	0.0	52.3	17,318,000	0.0	14.1
繰	延 4	又益	8,340,740,042	23.5	2.1	8,281,270,950	22.9	△ 0.7
資	本 合	計	15,050,534,748	42.4	4.2	16,021,701,146	44.2	6.5
資		合 計	12,795,615,265	36.1	59.8	13,405,615,265	37.0	4.8
$\  \  \ ^{-}$	(自己)資	本 金	12,795,615,265	36.1	59.8	13,405,615,265	37.0	4.8
	借入資	本 金		_	_		_	_
剰	余 金	合 計	2,254,919,483	6.4	△ 65.0	2,616,085,881	7.2	16.0
	資 本 剰	余 金	21,380,045	0.1	△ 34.8	21,380,045	0.1	0.0
	利 益 剰	余 金	2,233,539,438	6.3	△ 65.1	2,594,705,836	7.2	16.2

(単位:円・%)

平成	平成 29 年度 (2017年度)			平成 30 年度	<b>そ</b> (2018年	F度)	令和元年度(2019年度)			
金	額	構成比	対前年度 増 減 率	金額	構成比	対前年度 増 減 率	金額	構成比	対前年度 増 減 率	
38,951,3	330,673	100.0	7.5	41,396,182,251	100.0	6.3	45,977,236,673	100.0	11.1	
32,659,6	698,553	83.8	7.0	34,562,421,088	83.5	5.8	38,197,739,678	83.1	10.5	
32,569,0	004,153	83.6	6.9	34,467,205,188	83.3	5.8	38,131,002,278	82.9	10.6	
549,6	647,250	1.4	0.0	549,647,250	1.3	0.0	546,393,133	1.2	△ 0.6	
1,046,2	291,169	2.7	△ 3.8	1,005,324,316	2.4	△ 3.9	1,002,251,111	2.2	△ 0.3	
25,465,5	559,763	65.4	4.3	26,405,283,612	63.8	3.7	27,359,418,737	59.5	3.6	
2,306,5	504,681	5.9	△ 6.7	2,248,514,518	5.4	$\triangle$ 2.5	2,097,546,258	4.6	△ 6.7	
283,0	072,413	0.7	$\triangle$ 6.6	283,988,625	0.7	0.3	282,528,018	0.6	$\triangle$ 0.5	
1	159,440	0.0	△ 90.5	118,490	0.0	△ 25.7	111,745	0.0	△ 5.7	
128,6	554,185	0.3	50.4	127,295,246	0.3	△ 1.1	126,012,735	0.3	△ 1.0	
2,789,1	115,252	7.2	80.1	3,847,033,131	9.3	37.9	6,716,740,541	14.6	74.6	
90,6	694,400	0.2	76.5	95,215,900	0.2	5.0	66,737,400	0.1	△ 29.9	
6,291,6	532,120	16.2	9.8	6,833,761,163	16.5	8.6	7,779,496,995	16.9	13.8	
5,576,6	675,598	14.3	8.3	6,163,937,917	14.9	10.5	6,979,343,227	15.2	13.2	
666,3	307,424	1.7	24.5	623,961,899	1.5	△ 6.4	755,144,650	1.6	21.0	
48,6	649,098	0.1	12.7	45,861,347	0.1	△ 5.7	45,009,118	0.1	△ 1.9	
	_	_	_	_	_	_	_	_		
38,951,3	330,673	100.0	7.5	41,396,182,251	100.0	6.3	45,977,236,673	100.0	11.1	
21,833,3	335,049	56.1	8.0	23,171,782,325	56.0	6.1	26,358,721,426	57.3	13.8	
10,542,4	121,699	27.1	9.6	11,677,601,633	28.2	10.8	13,594,831,777	29.6	16.4	
9,620,1	108,099	24.7	10.9	10,712,247,600	25.9	11.4	12,795,864,686	27.8	19.5	
922,3	313,600	2.4	△ 2.5	965,354,033	2.3	4.7	798,967,091	1.7	△ 17.2	
848,1	188,000	2.2	△ 1.8	907,228,433	2.2	7.0	751,041,491	1.6	△ 17.2	
74,1	125,600	0.2	△ 10.4	58,125,600	0.1	△ 21.6	47,925,600	0.1	△ 17.5	
3,162,6	528,569	8.1	36.5	3,431,146,747	8.3	8.5	4,751,485,622	10.3	38.5	
594,5	547,169	1.5	1.4	607,860,499	1.5	2.2	616,382,914	1.3	1.4	
1,956,6	635,965	5.0	76.8	2,167,811,174	5.2	10.8	3,503,032,914	7.6	61.6	
52,3	323,478	0.1	△ 1.4	47,760,483	0.1	△ 8.7	42,612,251	0.1	△ 10.8	
462,8	356,820	1.2	△ 2.2	505,832,597	1.2	9.3	482,271,396	1.0	$\triangle$ 4.7	
83,6	697,137	0.2	4.8	88,670,994	0.2	5.9	92,227,360	0.2	4.0	
12,5	568,000	0.0	△ 27.4	13,211,000	0.0	5.1	14,958,787	0.0	13.2	
8,128,2	284,781	20.9	△ 1.8	8,063,033,945	19.5	△ 0.8	8,012,404,027	17.4	△ 0.6	
17,117,9	995,624	43.9	6.8	18,224,399,926	44.0	6.5	19,618,515,247	42.7	7.6	
14,432,1	123,688	37.1	7.7	15,032,123,688	36.3	4.2	16,006,829,524	34.8	6.5	
14,432,1	123,688	37.1	7.7	15,032,123,688	36.3	4.2	16,006,829,524	34.8	6.5	
2,685,8	371,936	6.9	2.7	3,192,276,238	7.7	18.9	3,611,685,723	7.9	13.1	
14,8	371,622	0.0	△ 30.4	14,871,622	0.0	0.0	14,871,622	0.0	0.0	
2,671,0	000,314	6.9	2.9	3,177,404,616	7.7	19.0	3,596,814,101	7.8	13.2	

### 7. 原価・単価構成の推移

		年 度 平成 27 年度 (2015年度)					成 28 年 016年月			成 29 组 017年			成 30 年 018年月		令 和 元 年 度 (2019年度)			
費	目		/	金	額	1m³当	金	額	1m³当	金	額	lm³当	金	額	lm³当	金	額	1m³当
勘定科		k 送 水 k 給 水 務		2,824 663 395		70.8 16.6 9.9		千円 ,113 ,480 ,682	70.7 19.2 8.7		千円 ,620 ,645 ,701	71.6 21.4 8.8		手円 ,210 ,379 ,707	70.6 20.4 9.8	2,802, 742, 424,	728	70.4 18.7 10.7
目別	総 そ	係 の	費他	395 1,258	,888 ,813	9.9 31.7	408 1,169	,511 ,980	10.2 29.2	408 1,209	,029 ,760	10.2 30.2	462 1,331	,681 ,969	11.5 33.3	327, 1,287,		8.2 32.3
支出	職員受動	員 給 与 水 カ	費費費	1,910	,752 ,600 ,283	23.9 47.9 4.9	1,926	,177 ,272 ,969	25.0 48.1 4.3	1,968		24.9 49.2 4.3	1,051 1,932	,285	26.3 48.2 4.2	923, 1,921,	025	23.2 48.2 4.0
要素別	支	が 払 利 西償 却	息	222	,	5.6 22.3	205	,365 ,035	5.1 23.3	192	,277 ,217 ,353	4.3 4.8 24.1		,047 ,764 ,342	4.6	159, 173, 1,052,	434	4.4 26.4
,,,,	そ 長期前	の  受金戻 <i> </i>	他入	1,368 △ 203		34.3 △ 5.1	1,289 △ 196		32.2 △ 4.9	1,401 △ 20	-	35.0	1,490 △ 188		37.2	1,354		34.0
見台	iいのii 原 個	域価償却 6 合 計		5,334		133.8	5,329		133.1	5,487		△ 5.1 137.1	5,641		△ 4.7			△ 4.5 135.7

<sup>※「</sup>給水工事費」「受託事業費」「不用品売却原価」「材料売却原価」は原価に含まれない。

	_	年 度 平成27年度				年 度	平成 28	年度	平成 29	年度	平成 30	年度	令和元	年度
			(2015年	F度)	区分		(2016年	F度)	(2017年	F度)	(2018年	F度)	(2019年	三度)
用	途	等	金額	1m³当	メーター	口径	金額	1m³当	金 額	1m³当	金 額	1m³当	金 額	1m³当
		水道料金	千円 110,374	円 2.8	小口径	水道料金	千円 3,988,591	円 99.6	千円 4,199,393	円 105.0	千円 4,192,953	円 104.7	千円 4,188,448	円 105.2
小	П	メーター料	1,891	0.1	13 <b>mm∼</b>	メーター料	6,759	0.2	_	_	_	_	_	_
専	用	計	112,265	2.8	25mm	計	3,995,350	99.8	4,199,393	105.0	4,192,953	104.7	4,188,448	105.2
_	般	水道料金	4,471,507	112.2	中口径	水道料金	718,943	18.0	726,613	18.2	720,137	18.0	716,941	18.0
	,	メーター料	66,400	1.7	30mm∼	メーター料	354	0.0	_	_	_	_	-	_
専	用	計	4,537,907	113.8	50mm	計	719,297	18.0	726,613	18.2	720,137	18.0	716,941	18.0
集	寸	水道料金	670,421	16.8	大口径	水道料金	1,019,613	25.5	1,031,036	25.8	1,074,396	26.8	1,030,150	25.9
		メーター料	3,386	0.1	75mm∼	メーター料	237	0.0	_	_	_	_	_	_
任宅	主宅用	計	673,807	16.9	250mm	計	1,019,850	25.5	1,031,036	25.8	1,074,396	26.8	1,030,150	25.9
公	央	水道料金	2,388	0.1		水道料金	1,846	0.0	2,102	0.1	2,057	0.1	1,795	0.0
		メーター料	27	0.0	公衆浴場	メーター料	3	0.0	_	_	_	_	-	_
浴場	7円	計	2,415	0.1		計	1,849	0.0	2,102	0.1	2,057	0.1	1,795	0.0
		水道料金	51,579	1.3		水道料金	38,701	1.0	46,423	1.2	62,029	1.5	45,650	1.1
臨民	宇用	メーター料	120	0.0	臨時	メーター料	8	0.0	_	_	_	_	-	_
			51,699	1.3		計	38,709	1.0	46,423	1.2	62,029	1.5	45,650	1.1
家	事	水道料金	212	0.0		水道料金	5,767,694	144.1	6,005,567	150.1	6,051,572	151.1	5,982,984	150.3
1	,	メーター料	3	0.0	合 計	メーター料	7,361	0.2	_	_		_	_	
共	用	計	215	0.0		計	5,775,055	144.3	6,005,567	150.1	6,051,572	151.1	5,982,984	150.3
		水道料金	5,306,481	133.1										
合	計	メーター料	71,827	1.8										
		計	5,378,308	134.9										

### 8. 財務経営分析に関する調

	項	目		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	算 式	備考
固構	定成		産率	83.3%	84.2%	83.8%	83.5%	83.1%	<u>固定資産</u> 資産合計 ×100	「装置産業」とも言われ る水道事業では、一般的 に高い傾向にある(低い ほど好ましい)。
固構	定成		債率	26.0%	26.5%	27.1%	28.2%	29.6%		低いほど好ましい。
固	定	比	率	126.4%	125.5%	129.4%	131.5%	138.2%	固定資産 資本金(※)+剰余金+繰延収益 (※平成25年度以前は自己資本金)	低いほど好ましい。借入 金による固定資産調達が 多い水道事業では、一般 的に高い傾向にある。
	定資期資			90.7%	89.9%	91.3%	91.0%	92.7%	固定資産 資本+固定負債+繰延収益 ×100	長期資本と固定資産の適合関係を示すもので、100 %以下が好ましい。
自構	己成		本率	65.9%	67.1%	64.8%	63.5%	60.1%	資本金(※)+剰余金+繰延収益 負債資本合計 (※平成25年度以前は自己資本金)	高いほど好ましいが、起 債依存度の高い公営企業 にあっては、一般的に低 い傾向にある。
流	動	比	率	205.2%	247.3%	198.9%	199.2%	163.7%	流動資産 流動負債 ×100	短期債務に対して応ずべ き流動資産が十分にある かどうかを示し、高いほ ど好ましい。
流動	動資産	<b>E回</b> 載	云率	0.9回	1.0回	1.0回	1.0回	0.9回		営業収益を得るにあたり 流動資産がいかに効率よ く回転しているかを示し、 高いほど好ましい。
	常収常費			110.3%	116.2%	119.0%	118.8%	121.6%	営業収益+営業外収益 営業費用+営業外費用 ×100	高いほど好ましい。「特別収支」がない場合、100 %を境に単年度の黒字と 赤字に分かれる。
	業 収 業 費			105.5%	112.9%	113.2%	111.4%	115.6%	営業収益-受託工事収益等 営業費用-受託工事費等 ×100	通常の営業状況における 健全度を示し、高い(100 %を超える) ほど好まし い。
	業 債 斗金収			10.7%	10.1%	9.8%	9.8%	10.2%	企業債償還元金 料金収入 ×100	起債発行額が、事業規模 ならびに安定的な返済能 力として適正かどうかを 示し、低いほど好ましい。
	美債元			14.9%	13.7%	13.0%	12.8%	13.1%	企業債元利償還金 料金収入	「企業債償還額対料金収 入比率」の項に同じ。
	員 給金 収			16.3%	16.1%	15.5%	16.5%	14.6%	職員給与費-受託給与費等 料金収入	低いほど好ましい。人的 サービスが主の水道事業 にあっては、一般的に高 い傾向にある。
普	及	Ż	率	99.9%	99.9%	99.9%	99.9%	99.9%	<u>給水人口</u> ×100 総人口	高いほど好ましい。

項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度		備考
有 収 率	95.1%	95.9%	96.0%	95.9%	96.2%	年間総有収水量 ×100 年間総配水量	高いほど好ましい。
負 荷 率	91.1%	90.9%	93.0%	91.3%	94.0%	一日平均配水量 一日最大配水量 ×100	100%に近いほど好ましい。
施設利用率	73.8%	81.1%	81.0%	81.1%	80.2%	一日平均配水量 配水能力 ×100	負荷率×最大稼動率に等 しく、100%に近いほど (原則として) 好ましい。
最大稼動率	81.0%	89.3%	87.0%	88.9%	85.4%	一日最大配水量 配水能力 ×100	施設効率として高いほど 好ましいが、100%(能 力の限界)に近過ぎるの も適当でない。
配水管使用効率	58.3m³ / m	57.9m³ / m	57.6m³ / m	57.5m³ / m	56.8m³ / m	年間総配水量 導送配水管延長	配水管の使用効率を示し、 高いほど好ましいが、地 形的事情等が考慮されな ければならない。
固定資産使用効率	14.2 m³ / 万円	13.7 m³ / 万円	12.8 m³ / 万円	12.1 m³ / 万円	10.9 m³ / 万円	年間総配水量 有形固定資産	有形固定資産の使用効率 を示し、高いほど好まし い。浄水施設の有無等に より大きく異なる。
供給単価	134.91円	144.26円	150.09円	151.14円	150.25円	給水収益 年間総有収水量	有収水量1 m <sup>3</sup> 当りの販売 単価。給水収益は、水道 料金及びメーター料の合 算額。
給 水 原 価	133.81円	133.13円	137.14円	140.90円	135.71円	長期前受金戻入 経常費用-受託工事費等-見合いの減価償却費等 年間総有収水量	有収水量1 m³当りの製造 原価。ただし、給水工事 費など給水収益と連動し ない経費を除く。
職員1人当たり 有形固定資産	27,844万円	26,719万円	26,917万円	27,355万円	30,024万円	有形固定資産 職員数	定数内職員 (管理者含む) 一人当りの有形固定 資産、定数内損益勘定所 属職員(管理者を含む)
職員1人当たり 給 水 人 口	4,124人	3,885人	3,659人	3,496人	3,491人	給水人口 損益勘定所属職員数	一人当りの給水人口、年 間総有収水量、営業収益 で、業務効率等の労働生 産性を示す。
職員1人当たり 給 水 量	447,922m³	421,359m³	396,168m³	377,730m <sup>s</sup>	372,148m³	年間総有収水量 損益勘定所属職員数	ただし、職員数においては直営部門の大小、建 設部門への職員配置(資本勘定所属職員)、浄水
職員1人当たり 営 業 収 益	63,631千円	63,217千円	61,588千円	59,262千円	58,290千円	_営業収益-受託工事収益 損益勘定所属職員数	施設の有無等を考慮する とともに、有収率の大小、 料金水準の高低等も考慮 しなければならない。

### 第7章 参考資料

- 1. 上下水道料金表
- 2. 北大阪各市決算状況等
- 3. 府内各市水道料金比較
- 4. 府内各市原価・単価比較
- 5. 水道事業ガイドラインによる 主要背景情報 (CI) 及び業務指標 (PI)
- 6. 各種広報資料
- 7. 公用車配置状況

### 1. 上下水道料金表

令和2(2020年)4月1日施行、令和2年4月分より適用

水道料金(1か月につき)

下水道使用料(1か月につき)

		۲,				従量料	斗金(1m³√	こつき)		
17	分	メー ター	基本料金	1	2	3	4	5	6	7
	·77	口径 (mm)	本平村金	$6m^3$	$7\sim$	11~	21~	31~	$51\sim$	301m³ <b>∼</b>
		(111111)		まで	$10 \mathrm{m}^3$	$20 \mathrm{m}^3$	$30 \mathrm{m}^3$	$50 \mathrm{m}^3$	$300 \mathrm{m}^3$	
	小	13	900円							
	П	20	990円	0円	40円	140円	200円	250円	290円	330円
	径	25	1,250円							
	中	30	1,500円						290円	
	П	40	2,700円	60	円	200	)円	250円		330円
般	径	50	4,900円							
/200		75	11,000円							
	大	100	31,000円							
	П	150	126,000円	60	円	200	)円	290	)円	330円
	径	200	280,000円							
		250	512,000円	0円						

<u> </u>	用作(1/	ア月 (こっ	73)					
	基本	料金	超	☑過料金(1m³√	こつき)			
区分	水量	使用料		水 量	使用料			
			1	11~20m³	78円			
			2	21~30m³	96円			
<u> </u>	10m³まで	683円	3	$31\sim50\text{m}^3$	115円			
般	10111 & C	, •	4	$51{\sim}300\text{m}^3$	145円			
			5) ;	301~1,000m <sup>3</sup>	174円			
			6	$1,001 \text{m}^3 \sim$	224円			
公衆浴場	$1 \mathrm{m}^3 V$	こつき		25円				

※集合住宅等(戸数計算が適用されている区分)は一戸当り	リメーター□径20mmで計算] ます
	ノハ フ 日生ZUIIIII (日昇しより。

区分	基本料金	従量料金
公衆浴場	990円	1m³につき75円
臨時	メーター口径 に準ずる	1m³につき450円

### 水道料金(2か月につき)

### 下水道使用料(2か月につき)

超過料金(1m³につき)

使用料

78円

96円

115円

145円

174円

224円

		,			従量料金(1m³につき)							基本	料金	超過	圆料金(1m	に
X	分	メー ター 口径	基本料金	① 12m³	② 13~	③ 21~	41~	⑤ 61~	⑥ 101~	⑦ 601m³~	区分	水量	使用料		水量	
		(mm)		まで	$20 \text{m}^3$	$40\text{m}^3$	60m <sup>3</sup>	100m <sup>3</sup>	600m <sup>3</sup>					(1)	21~40m³	Ī
	小	13	1,800円											1	217~40III	
	口	20	1,980円	0円	40円	140円	200円	250円	290円	330円				2	41~60m³	
	径	25	2,500円											2	41~60m	
	中	30	3,000円											3 6	61~100m <sup>3</sup>	
	口	40	5,400円	60	)円	20	0円	250円	290円	330円	<u> </u>	20m³まで	1 366円	<b>.</b>	517~100III	
般	径	50	9,800円								般	20111 £ C	1,000 1	4 1	01~600m <sup>3</sup>	
/200		75	22,000円											⊕ I	01~600m	
	大	100	62,000円											(E) (c)	01~2000m	3
	口	150	252,000円	60	)円	20	0円	29	0円	330円				છ છા	)1∼2000m	
	径	200	560,000円											6	2001m³∼	
		250	1,024,000円											0	2001m ∼	
※集合住宅等(戸数計算が適用されている区分)は一戸当りメーター口径20mmで計算します。 公衆浴場 1m³につき									こつき		25円					

区分	基本料金	従量料金
公衆浴場	1,980円	1m³につき75円
臨時	メーター口径 に準ずる	1m³につき450円

- ・水道料金は、ご使用になられている水道メーターの口径をもって上記料金表にて計算します。
- ・上記の各単価表には消費税相当額が含まれておりません。各単価表により算出した額に消費税相当額(10%)を加算した額で 請求いたします。(それぞれ1円未満は切り捨てます。)
- ・平成28年4月1日からメーター料は廃止しています。
- ・検針、ご請求は2か月(隔月)に1回です。

### 一般区分料金(メーター口径13mm~25mm)早見表(2か月分)

水量	7	水道料金(円)		下水道	水量 水道料金(円)				下水道		
$(m^3)$	13mm	20mm	25mm	使用料(円)	$(m^3)$	13mm	20mm	25mm	使用料(円)		
0~12	1,980	2,178	2,750	1,502	71	12,837	13,035	13,607	6,722		
13	2,024	2,222	2,794	1,502	72	13,112	13,310	13,882	6,848		
14	2,068	2,266	2,838	1,502	73	13,387	13,585	14,157	6,975		
15	2,112	2,310	2,882	1,502	74	13,662	13,860	14,432	7,101		
16	2,156	2,354	2,926	1,502	75	13,937	14,135	14,707	7,228		
17	2,200	2,398	2,970	1,502	76	14,212	14,410	14,982	7,354		
18	2,244	2,442	3,014	1,502	77	14,487	14,685	15,257	7,481		
19	2,288	2,486	3,058	1,502	78	14,762	14,960	15,532	7,607		
20	2,332	2,530	3,102	1,502	79	15,037	15,235	15,807	7,734		
21	2,486	2,684	3,256	1,588	80	15,312	15,510	16,082	7,860		
22	2,640	2,838	3,410	1,674	81	15,587	15,785	16,357	7,987		
23	2,794	2,992	3,564	1,760	82	15,862	16,060	16,632	8,113		
24	2,948	3,146	3,718	1,845	83	16,137	16,335	16,907	8,240		
25	3,102	3,300	3,872	1,931	84	16,412	16,610	17,182	8,366		
26	3,256	3,454	4,026	2,017	85	16,687	16,885	17,457	8,493		
27 28	3,410	3,608 3,762	4,180	2,103	86	16,962	17,160	17,732	8,619		
28	3,564 3,718	3,762	4,334	2,189 2,274	87 88	17,237 17,512	17,435	18,007 18,282	8,746 8,872		
30	3,718	3,916 4,070	4,488 4,642	2,274	88	17,512	17,710	18,282	8,872 8,999		
31	3,872 4,026	4,070	4,642	2,360	90	18,062	17,985 18,260	18,557	9,125		
32	4,020	4,224	4,790	2,532	91	18,337	18,535	19,107	9,125		
33	4,334	4,532	5,104	2,618	92	18,612	18,810	19,382	9,232		
34	4,488	4,686	5,258	2,703	93	18,887	19,085	19,657	9,505		
35	4,466	4,840	5,412	2,789	94	19,162	19,360	19,037	9,631		
36	4,796	4,994	5,566	2,875	95	19,437	19,635	20,207	9,758		
37	4,950	5,148	5,720	2,961	96	19,712	19,910	20,482	9,884		
38	5,104	5,302	5,874	3,047	97	19,987	20,185	20,757	10,011		
39	5,258	5,456	6,028	3,132	98	20,262	20,460	21,032	10,137		
40	5,412	5,610	6,182	3,218	99	20,537	20,735	21,307	10,264		
41	5,632	5,830	6,402	3,324	100	20,812	21,010	21,582	10,390		
42	5,852	6,050	6,622	3,429	101	$101 \text{m}^3 \sim 599 \text{m}^3 \mathcal{O}$		ĺ	Í		
43	6,072	6,270	6,842	3,535			F131 P3				
44	6,292	6,490	7,062	3,641		•水道料金					
45	6,512	6,710	7,282	3,746		{(使用量-100	)m³)×290円	+17,120円			
46	6,732	6,930	7,502	3,852	5	+基本料金(1,800円/13mm:1,980円/20mm: 2,500円/25mm)}×1.10					
47	6,952	7,150	7,722	3,957							
48	7,172	7,370	7,942	4,063		•下水道使用料	3\				
49	7,392	7,590	8,162	4,169		{(使用量-100	)m°)×145円	+9,446円}			
50	7,612	7,810	8,382	4,274	599	×1.10					
51	7,832	8,030	8,602	4,380	600	180,312	180,510	181,082	90,140		
52	8,052	8,250	8,822	4,485	601	$601 \text{m}^3 \sim 1,999 \text{m}^3$	の計算例				
53	8,272	8,470	9,042	4,591		1. NACAL 1					
54	8,492	8,690	9,262	4,697		・水道料金	3				
55	8,712	8,910	9,482	4,802	5	{(使用量-600					
56	8,932	9,130	9,702	4,908	)	+基本料金(1, 2,500円/25mm		1:1,980円/20n	nm:		
57	9,152	9,350	9,922	5,013		- 2,500円/25mm - 下水道使用料	/ / ^ 1.10				
58	9,372	9,570	10,142	5,119		{(使用量-600	)m <sup>3</sup> ) × 174□	+81 046⊞ 1			
59	9,592	9,790	10,362	5,225	1 000	×1.10	/m / // 114门	1 01,540  15			
60	9,812	10,010 10,285	10,582	5,330	1,999 2,000	688,512	688,710	600 000	358,100		
62	10,087 10,362	10,285	10,857 11,132	5,457	2,000	588,512 2,001m <sup>3</sup> ~の計算		689,282	ამგ,100		
63	10,362	10,560		5,583 5,710	2,001	Z,UU1m~~の計算 	1列				
64	10,637	10,835	11,407 11,682	5,836		•水道料金					
65	11,187	11,110	11,682	5,836			00m <sup>3</sup> ) × 220	Ш ⊥ 624 120∏	1		
66	11,187	11,660	12,232	6,089	,	{(使用量-2,000m³)×330円+624,120円 +基本料金(1,800円/13mm:1,980円/20mm:					
67	11,462	11,000	12,232	6,216	5	+ 基本科金(1,800円/13mm:1,980円/20mm: 2,500円/25mm)}×1.10					
68	12,012	12,210	12,782	6,342		• 下水道使用料					
69	12,287	12,485	13,057	6,469		{(使用量-2,000m³)×224円+325,546円}					
70	12,562	12,465	13,332	6,595		×1.10		, -1			
10	14,004	14,100	10,002	0,000							

※この料金表は消費税相当額(10%)が含まれた上下水道料金を表記しています。 ※料金は口径別の水道料金と下水道使用料の合計で請求させていただきます。

※集合住宅等(戸数計算が適用されている区分)は一戸当り20mmで計算されます。

### 2. 北大阪各市決算状況等(令和元年度(2019年度))

(業務量)

	K 177 3	<u>E /</u>	市	単 位	吹 田	茨木	高槻	豊中
項	目			, ,	1		14	
給	水	人	П	人	373,515	282,372	350,955	408,511
給	水	戸	数	戸	174,215	126,966	164,730	193,446
総	配	水	量	$fm^3$	41,411.79	30,248.17	36,763.18	43,385.21
自	己	水	源	$fm^3$	14,726.45	3,862.74	12,206.16	6,352.45
依	存	水	源	$fm^3$	26,685.34	26,385.44	24,557.02	37,032.76
	企 第	纟 団	水	$\pm m^3$	26,484.73	26,383.86	24,557.02	37,017.36
	そ	$\mathcal{O}$	他	$fm^3$	200.61	1.58	0.00	15.40
自	己	水比	率	%	35.6	12.8	33.2	14.6
有	効 有	収 水	量	$fm^3$	39,819.82	28,643.59	34,805.69	42,174.13
有	•	収	率	%	96.2	94.7	94.7	97.2
<b>→</b> F	1 最 力	で配水	量	$m^3$	120,359	88,031	109,214	125,530
<b>→</b> [	平均	可配 水	量	$m^3$	113,147	82,645	100,446	118,539
<b>→</b> F	当香	己水 能	力	$m^3$	141,000	111,031	112,393	216,575

### (収益的収支:税抜き)

総	<i>2</i> 22	収	益	$\dot{+}$	円	7,069,116	5,485,638	6,385,878	7,808,138
	給	水 収	益	千	円	5,982,984	4,267,850	5,157,604	6,770,441
	_	般会計繰	入金	千	円	13,231	8,695	30,848	39,732
		うち基準タ	<b>卜繰入</b>	千	円	0	2,436	4,419	24,762
	加	入	金 ※①	千	円	372,680	374,747	176,080	217,866
	長	期前受金	戻入	$\dot{+}$	円	180,271	652,206	636,834	205,438
	そ	の他の経常	官収入	千	円	353,473	170,817	350,386	444,855
	特	別利	益	$\dotplus$	円	166,477	11,323	34,126	129,806
糸	25.	費	用	$\dot{+}$	円	5,675,001	4,669,384	5,270,359	7,037,664
	職	員 給 与	費※②	千	円	876,452	399,971	643,382	1,311,201
	受	水	費	$\dot{+}$	円	1,921,025	1,900,154	1,768,106	2,668,113
	動	力	費	千	円	159,697	137,032	175,865	79,658
	減	価 償	却 費	千	円	1,052,434	1,521,526	1,629,002	1,572,851
	支	払 利	息	千	円	173,435	111,419	36,673	395,424
	そ	の他の経常	費用	千	円	1,491,958	580,458	1,014,330	1,010,417
	特	別 損	失	十	円	0	18,824	3,001	0
详	年	度損(△	」)益	千	円	1,394,115	816,254	1,115,519	770,474
界	1 積	賃 損 ( △	)益	千	円	2,490,410	2,177,499	2,004,303	3,625,280

- ※① 加入金、納付金等の名称で「収益的収入」としているもの
- ※② 嘱託手当、報酬及び「給水工事費」該当分を除く。

摂 津		笙	箕 面	池	田	吹 田 = 100 とした 比 較						
		共		167	Щ	茨 木	高 槻	豊中	摂 津	箕 面	池田	
86,58	4		138,360		103,578	76	94	109	23	37	28	
41,56	0		67,785		55,942	73	95	111	24	39	32	
10,084.7	9	1	4,507.70	1	1,716.83	73	89	105	24	35	28	
2,792.3	4		1,794.55	1	1,167.57	26	83	43	19	12	76	
7,292.4	5	12	2,713.15		549.26	99	92	139	27	48	2	
7,292.4	5	12	2,713.15		549.26	100	93	140	28	48	2	
0.0	0		0.00		0.00	1	0	8	0	0	0	
27.	7		12.4		95.3	36	93	41	78	35	268	
9,326.2	3	14	4,157.41	1	1,143.16	72	87	106	23	36	28	
92.	5		97.6		95.1	98	98	101	96	101	99	
30,22	0		45,557		34,843	73	91	104	25	38	29	
27,55	4		39,639		32,013	73	89	105	24	35	28	
57,40	0		49,050		69,000	79	80	154	41	35	49	

1,996,380	2,853,669	2,382,753	78	90	110	28	40	34
1,766,191	2,317,424	1,938,658	71	86	113	30	39	32
2,645	24,568	2,908	66	233	300	20	186	22
98	0	0	_	_		_		_
112,650	130,150	208,080	101	47	58	30	35	56
32,369	271,408	134,347	362	353	114	18	151	75
82,525	110,119	98,760	48	99	126	23	31	28
0	0	0	7	20	78	0	0	0
1,767,532	2,504,093	2,011,928	82	93	124	31	44	35
310,380	208,923	323,884	46	73	150	35	24	37
525,056	915,347	39,949	99	92	139	27	48	2
83,877	100,055	119,879	86	110	50	53	63	75
375,042	737,520	881,075	145	155	149	36	70	84
48,435	48,198	121,239	64	21	228	28	28	70
424,742	482,548	525,870	39	68	68	28	32	35
0	11,502	32						
228,848	349,576	370,825	59	80	55	16	25	27
624,955	829,008	371,076	87	80	146	25	33	15

#### (資本的収支:税込み)

項	<u> </u>		市	単位	吹	Ħ	茨	木	高	槻	豊	中
総		収	入	千円		2,739,079	()	主1)61,607		28,076		1,981,510
	企	業	債	千円		2,700,000		0		0		1,665,800
	そ	の	他	千円		39,079		61,607		28,076		315,710
総		支	出	千円		5,605,372		2,579,340		3,225,873		3,913,740
	建	設 改	良 費	千円		4,997,272		2,033,795		2,522,291		2,297,501
		うち、耶	競員給与費	千円		159,893		200,448		107,898		124,631
	企	業 債 償	遺還 金	千円		607,860		545,545		203,582		1,616,239
	そ	の	他	千円		240		0		500,000		0
単	年度	過不足	₽(△)	千円	$\triangle$	2,866,293	$\triangle$	2,517,733	$\triangle$	3,197,797	Δ	1,932,230

(注1)翌年度繰越額に係る財源充当額 70,832千円を除く

### (その他)

職	員 数	人	127	70	91	129
損益	勘定職員数	人	107	46	77	113
資本	勘定職員数	人	20	24	14	16
※① 資	金 状 況	千円	2,845,427	3,136,619	5,026,675	3,344,919
※② 同	上 比 率	%	45.6	70.7	92.7	46.7
給 水	原 価	円	135.71	139.52	131.36	161.09
供給	単 価	円	150.25	149.00	148.18	160.54
<b>%</b> 3	給水人口	人	3,491	6,139	4,558	3,615
職員1人	有効有収水量	$m^3$	372,148	622,687	452,022	373,222
当たり	給水収益	千円	55,916	92,779	66,982	59,915
	営業収益	千円	58,290	96,433	70,446	63,452
水道料金	適用年月	年月	29.4	22.10	30.7	22.11
	平均改定率	%	4.50	△ 17.69	△ 1.01	△ 0.53
最近改定	計算期間	年月	28.4~31.3	22.4~27.3	30.7~33.3	22.11~25.3
	6m³	円	858	1,298	825	968
<b>%</b> 4	$10\text{m}^3$	円	1,034	1,540	935	1,056
一般用	$20\mathrm{m}^3$	円	2,354	2,420	2,420	2,497
口径20mm	$30\text{m}^3$	円	4,334	3,850	4,565	4,818
水道料金	$50\text{m}^3$	円	9,394	7,920	9,295	10,714
	$300 \mathrm{m}^3$	円	83,644	72,820	83,545	112,244

<sup>※</sup>① 流動資産ー流動負債の額+翌年度償還の建設改良にかかる企業債、他会計からの借入金(資

<sup>※</sup>② 同上の額を営業収益で除した比率

<sup>※</sup>③ 損益勘定職員数で除す。

<sup>※</sup>④ 1か月当たり料金で、メーター料及び消費税相当額を含む。

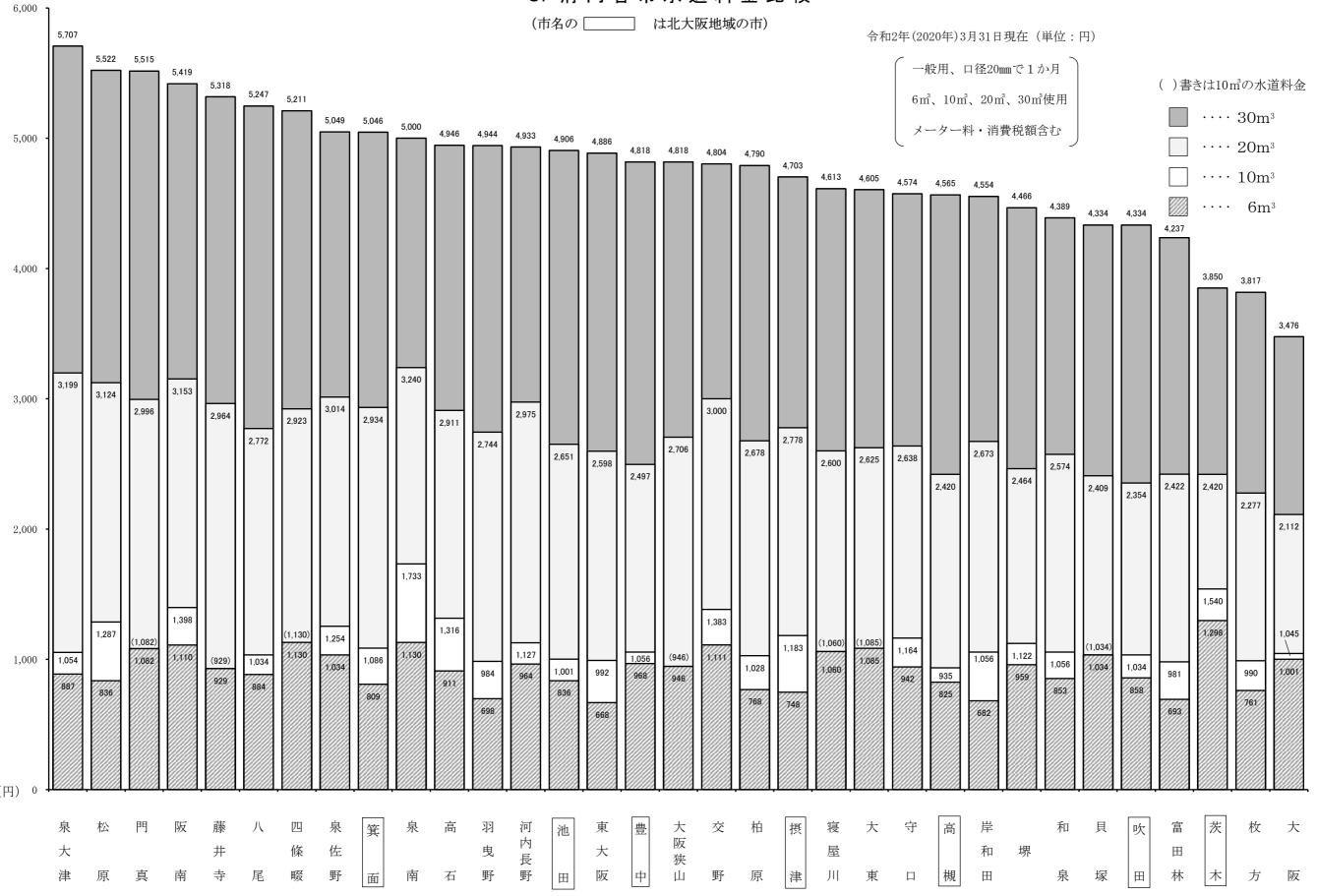
摂	津	箕	面	池	田		吹	田 =	= 100	とした	と比較	
1><	牛	共	Щ	107	Щ	茨 木	店	規	豊中	摂 津	箕 面	池田
	277,800	(注2)	436,878		775,052	2		1	72	10	16	28
	277,800		425,000		688,900	0		0	62	10	16	26
	0		11,878		86,152	158		72	808	0	30	220
	654,575	1,	475,829		1,579,988	46		58	70	12	26	28
	343,956	1,	129,628		1,019,357	41		50	46	7	23	20
	19,951		40,601		60,585	125		67	78	12	25	38
	307,137		344,706		557,306	90		33	266	51	57	92
	3,482		1,495		3,325	_						_
Δ	376,775		038,951	Δ	,	_	-	_	_			

(注2)翌年度繰越額に係る財源充当額 3,150千円を除く

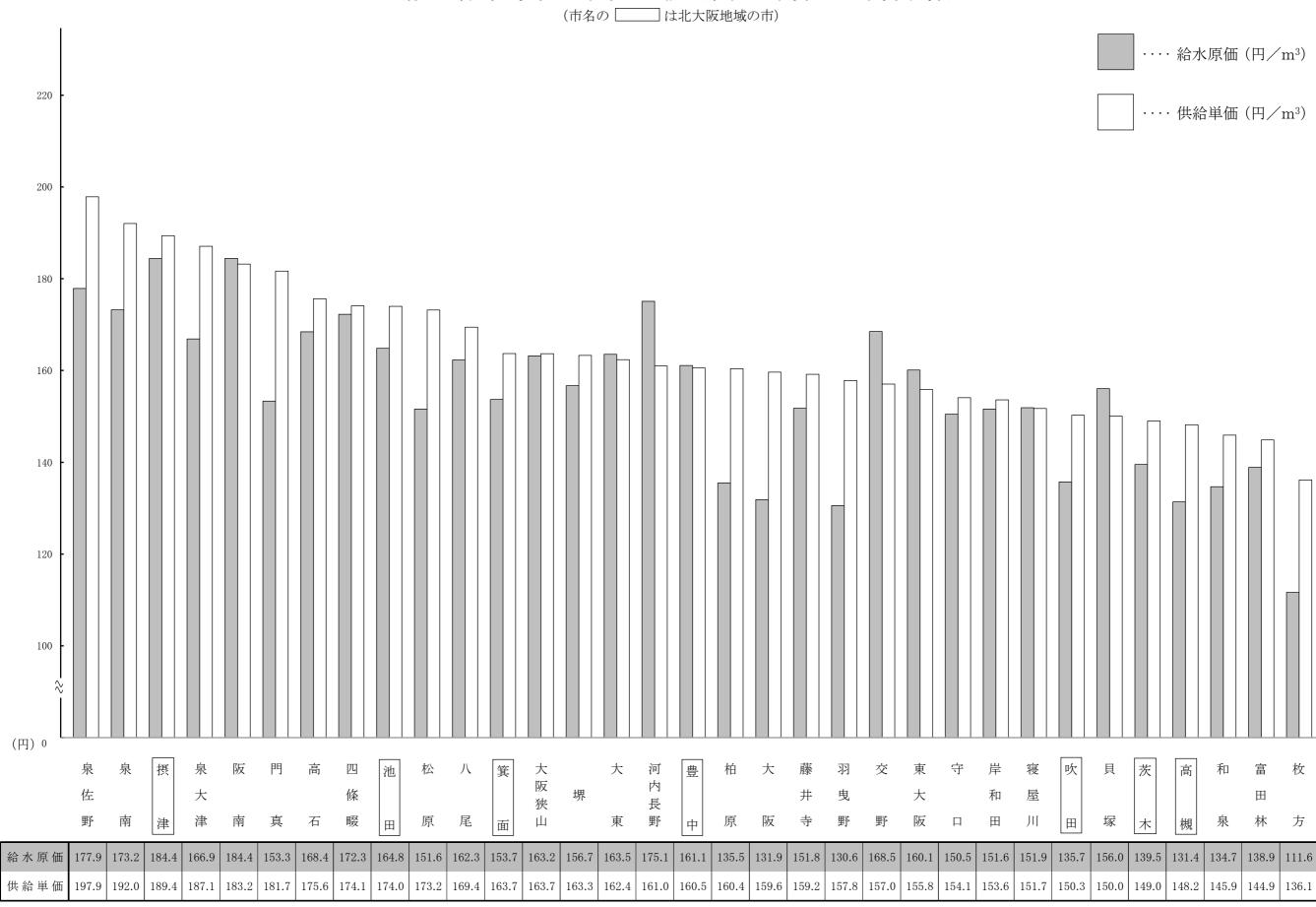
33	23	45	55	72	102	26	18	35
31	18	37	43	72	106	29	17	35
2	5	8	120	70	80	10	25	40
3,289,341	1,995,781	2,767,911	110	177	118	116	70	97
182.0	82.0	138.4	155	203	102	399	180	303
184.40	153.68	164.83	103	97	119	136	113	121
189.38	163.69	173.98	99	99	107	126	109	116
2,793	7,687	2,799	176	131	104	80	220	80
300,846	786,523	301,166	167	121	100	81	211	81
56,974	128,746	52,396	166	120	107	102	230	94
58,293	135,284	54,059	165	121	109	100	232	93
22.10	30.7	26.1			_		_	
△ 1.00	$\triangle$ 1.43	△ 1.45	_		_		_	
22.4~26.3	30.7~34.6	25.4~34.3			_		_	
748	809	836	151	96	113	87	94	97
1,183	1,086	1,001	149	90	102	114	105	97
2,778	2,934	2,651	103	103	106	118	125	113
4,703	5,046	4,906	89	105	111	109	116	113
10,313	10,106	11,341	84	99	114	110	108	121
109,864	86,831	110,121	87	100	134	131	104	132

金不足の場合は不良債務額を△で記す。)

## 3. 府内各市水道料金比較



## 4. 府内各市原価・単価比較(令和元年度(2019年度)決算)



# 5. 水道事業ガイドライン(JWWA Q 100:2016) による主要背景情報(CI)及び業務指標(PI)

(注)

1. 指標の優位性

「↑」は数値が高い方が望ましい場合、「↓」は数値が低い方が望ましい場合、「◇」はいずれとも示せな い場合を表しています。

2. 類似団体

業務指標等の比較を行うため、人口規模、水源種別、自己水比率等をもとに選定した本市と類似する水道事業体のことです。給水人口30万人以上50万人未満、自己水比率30%以上100%未満で業務指標 PI (JWWA Q 100:2016) を公表している8事業体。

- 福山市、一宮市、横須賀市、高崎市、前橋市、倉敷市、豊橋市、高槻市 3. 表中「一」は統計数値がないことを表しています。 ※ 平成30年度から改正されたPI(JWWA Q100:2016)を適用しています。なお、対応する旧番号を併記していま

### 〇主 要 背 景 情 報 (CI)

番号	主要背景指標	単位	定義(積算方法)	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	指標の解説		
[1]	水道事業体のプロフィール								
CI1	給水人口規模	人	_	369, 590	370, 537	373, 515	業の経営規模が大きく異なります。		
CI2	全職員数	人	_	120	125	126	水道事業体のプロフィールを表すものです。		
[2]	システムのプロフィール				•	•			
CI3	水源種別	_	_	淀川表流水 深井戸 浄水受水	淀川表流水 深井戸 浄水受水	淀川表流水 深井戸 浄水受水			
CI4	浄水受水率	%	浄水受水量/年間配水量	63. 0	64. 3	64. 4	水源種別、浄水場などの施設は、水道 システムの最も基礎的な構成要素で、浄 水処理の費用、施設の維持管理に要する 費用などに大きな影響を与えます。		
CI5	給水人口1万人当たりの浄水場数	箇所 /10,000 人	浄水場数/ (現在給水人口 /10,000人)	0.05	0.05	0.05	また、浄水受水率は、受水の有無に よって、必要とされる水道システムの条 件が変わります。		
CI6	給水人口1万人当たりの施設数	箇所 /10,000 人	(浄水場数+送・配水施設)/ (現在給水人口/10,000人)	0. 22	0. 22	0. 21			
[3]	地域条件のプロフィール								
CI7	有収水量密度	1,000m <sup>3</sup> /ha	有収水量/計画給水区域面積	11. 09	11. 09	11.03			
CI8	水道メーター密度	個/km	水道メーター数/配水管延長	208. 3	210. 7	213. 1	人口密度、都市化の程度、山地面積など地域条件によるところが大きく、事業 体の経営努力だけでは改善が難しい項目 です。		
CI9	単位管延長	m/人		m/人 導送配水管延長/現在給水人口		1. 96	1. 96	1. 95	

#### 〇業 務 指 標 (PI)

分類	区分	番号	旧番号	業務指標	単位	定義(積算方法)	指標の 優位性	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	H30年度 類似団 体平均	指標の解説
[A]	安	全で	良質	は水								
運営	水質	A101	1106	平均残留塩素濃度	mg/L	残留塩素濃度合計/ 残 留塩素測定回数	<b>\$</b>	0. 43	0. 45	0. 58		給水栓での残留塩素濃度の平均値 を表しています。
営管理	管理	A102	1105	最大カビ臭物質濃 度水質基準比率	%	(最大カビ臭物質濃度/ 水質基準値) × 100	1	0.0	0. 0	0.0	29.8	給水栓におけるカビ臭物質濃度の 最大値の水質基準値に対する割合 を表しています。

分類	区分	番号	旧番号	業務指標	単位	定義(積算方法)	指標の 優位性	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	H30年度 類似団 体平均	指標の解説
		A103	1107	総トリハロメタン 濃度水質基準比率	%	(Σ給水栓の総トリハロメタン 濃度/給水栓数)/水 質基準値× 100	↓	15. 0	22. 0	14. 0	16. 2	給水栓における総トリハロメタン 濃度の水質基準値に対する割合を 示すもので、水道水の安全性を表 しています。
		A104	1108	有機物(TOC)濃度 水質基準比率	%	(Σ給水栓の有機物 (TOC) 濃度/給水栓 数)/水質基準値× 100	1	26. 7	26. 7	30. 0	17. 0	給水栓における有機物(TOC)濃度 の水質基準値に対する割合を示す もので、水道水の安全性を表して います。
		A105	1110	重金属濃度水質基準比率	%	(Σ給水栓の当該重金属 濃度/給水栓数)/水 質基準値× 100	1	0.0	0.0	0.0	3. 7	給水栓における重金属濃度の水質 基準値に対する割合を示すもの で、水道水の安全性を表していま す。
	水質管理	A106	1111	無機物質濃度水質 基準比率	%	(Σ給水栓の当該無機物 質濃度/給水栓数)/ 水質基準値× 100	1	14. 7	15. 3	15. 0	19. 1	給水栓における無機物質濃度の水 質基準値に対する割合を示すもの で、水道水の味、色など性状を表 しています。
		A107	1113	有機化学物質濃度 水質基準比率	%	(Σ給水栓の当該有機化 学物質濃度/ 給水栓数) / 水質基準値× 100	1	0.0	0.0	0.0	0. 2	給水栓における有機化学物質濃度 の水質基準値に対する割合を示す もので、原水の汚染状況及び水道 水の安全性を表しています。
		A108	1114	消毒副生成物濃度水質基準比率	%	(Σ給水栓の当該消毒副 生成物濃度/給水栓数) / 水質基準値× 100	1	20. 0	30. 0	40. 0	13. 2	給水栓における消毒副生成物濃度 の水質基準値に対する割合を示す もので、原水の汚染状況及び水道 水の安全性を表しています。
運営:		A109	1109	農薬濃度水質管理 目標比	-	max Σ(Xij / GVj)	1	0. 000	0. 000	0. 000	0.006	給水栓における各農薬濃度と水質 管理目標値との比の合計を示すも ので、水源の汚染状況及び水道水 の安全性を表しています。
管理		A201	1101	原水水質監視度	項目	原水水質監視項目数	<b>\$</b>	131	131	131	97	水道事業体が原水水質の項目をど の程度検査しているかを示してお り、水道事業体の水質管理水準を 表しています。
		A202	1102	給水栓水質検査 (毎日)箇所密度	箇所 /100 km²	給水栓水質検査(毎日)採水箇所数/(現在 給水面積/100)	1	30. 5	30. 5	30. 5	10. 5	給水栓における毎日水質検査に関 して、給水面積100km <sup>2</sup> あたりの給 水栓水質の監視箇所数を示したも のであり、水道水の水質管理水準 を表しています。
	施設管理	A203	5002	配水池清掃実施率	%	(5年間に清掃した配水 池有効容量 / 配水池有 効容量) × 100	1	49. 2	68. 7	55. 3	35. 2	配水池有効容量に対する5年間に 清掃した配水池有効容量の割合を 示すもので、安全で良質な水への 取組み度合いを表しています。
		A204	1115	直結給水率	%	(直結給水件数/給水件 数)×100	1	88. 4	88. 6	88. 9	92. 9	給水件数に対する直結給水件数の 割合を示すもので、受水槽管理の 不備に伴う衛生問題などに対する 水道事業体としての取組み度合い を表しています。
		A205	5115	貯水槽水道指導率	%	(貯水槽水道指導件数 / 貯水槽水道数) × 100	1	31.6	31. 2	30. 7	10. 4	貯水槽水道数に対する指導を実施 した件数の割合を示すもので、水 道事業としての貯水槽水道への関 与度を表しています。
	事故災害	A301	2201	水源の水質事故件 数	件	年間水源水質事故件数	1	0	0	0	0	1年間における水源の水質事故件 数を示すもので、水源の突発的水 質異常のリスクがどれだけあるか を表しています。
	害対策	A302	1116	粉末活性炭処理比率	%	(粉末活性炭年間処理水量/年間浄水量)×100	1	0.0	0.0	0.0	49. 1	年間浄水処理量に対する粉末活性 炭年間処理水量の割合を示すもの で、原水の汚染状況、水質事故な どに対する指標です。
整施 備設	更施新設	A401	1117	鉛製給水管率	%	(鉛製給水管使用件数/ 給水件数)×100	1	8. 4	6. 9	5. 6	8.8	給水件数に対する鉛製給水管使用 件数の割合を示すものであり、鉛 製給水管の解消に向けた取組みの 進捗度合いを表しています。

分類	区分	番号	旧番号	業務指標	単位	定義(積算方法)	指標の 優位性	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	H30年度 類似団 体平均	指標の解説
[B]	安	定し	た水の	の供給								
		B101	1004	自己保有水源率	%	(自己保有水源水量/全 水源水量)×100	1	43. 0	41.7	41. 8	43. 1	水道事業体が保有する全ての水源 量に対する、その水道事業体が単 独で管理し、水道事業体の意思で 自由に取水できる水源量の割合を 示すもので、水源運用の自由度を 表しています。
		B102	1005	取水量1m <sup>3</sup> 当たり 水源保全投資額	円/m³	水源保全に投資した費 用/年間取水量	1	0. 00	0. 00	0.00	0. 45	取水量1m <sup>3</sup> 当たりに対する水質保全 に対する投資費用を示すもので、 水道事業体の水質保全への取組み 状況を表しています。
		B103	4101	地下水率	%	(地下水揚水量 / 年間 取水量)×100	1	31.8	31.8	30. 3	45. 5	水源利用水量に対する地下水揚水 量の割合を示すもので、水道事業 体の水源特性を表しています。
		B104	3019	施設利用率	%	(一日平均配水量/施設能力)×100	1	81.0	81.1	80. 2	69. 9	施設能力に対する一日平均配水量 の割合を示すもので、水道施設の 効率性を表しています。
		B105	3020	最大稼働率	%	(一日最大配水量/施設能力)×100	1	87. 0	88. 9	85. 4	78. 5	施設能力に対する一日最大配水量 の割合を示すもので、水道施設の 効率性を表しています。
	施設管理	B106	3021	負荷率	%	(一日平均配水量/一日最大配水量)×100	<b>↑</b>	93. 0	91. 3	94. 0	89. 1	一日最大配水量に対する一日平均 配水量の割合を示すもので、水道 施設の効率性を表しています。
		B107	2007	2007 配水管延長密度		配水管延長/現在給水面積	1	19. 2	19. 3	19. 4	13. 0	給水面積当たりの配水管延長を示 すもので、お客様からの給水申込 みに対する物理的利便性の度合い を表しています。
運営管理		B108	5111	管路点検率	%	(点検した管路延長 / 管路延長) × 100	1	91. 0	90. 4	90. 5	18. 3	管路延長に対する1年間で点検した管路延長の割合を示すもので、 管路の健全性確保に対する執行度 合いを表しています。
		B109	新規	バルプ点検率	%	(点検したバルブ数 / バルブ設置数) × 100	1	92. 8	90. 5	97. 2	4. 4	バルブ設置数に対する1年間に点 検したバルブ数の割合を示すもの で、管路の健全性確保に対する執 行度合いを表しています。
		B110	5107	漏水率	%	(年間漏水量 / 年間配水量) × 100	<b>↓</b>	1.8	1.8	1. 7	6. 0	配水量に対する漏水量の割合を示 しており、事業効率を表す指標で す。
		B111	新規	有効率	%	(年間有効水量 / 年間 配水量) × 100	1	98. 0	98. 0	98. 1	93. 8	年間配水量に対する年間有効水量 の割合を示すもので、水道事業の 経営効率性を表しています。
		B112	3018	有収率	%	(年間有収水量/年間配水量)×100	1	96. 0	95. 9	96. 2	91. 0	年間配水量に対する年間有収水量 の割合を示すもので、水道施設を 通して供給される水量が、どの程 度収益につながっているかを表し ています。
		B113	2004	配水池貯留能力	Ħ	配水池有効容量/一日平均配水量	1	0. 54	0. 54	0.54	0.89	一日平均配水量に対する配水池有 効容量の割合を示すもので、給水 に対する安定性を表しています。
		B114	2002	給水人口一人当た り配水量	L/日·人	(一日平均配水量× 1,000)/現在給水人口	1	309	309	303	339	給水人ロー人当たりの配水量を示 すもので、家庭用以外の水利用の 多少を表しています。
		B115	2005	給水制限日数	Ħ	年間給水制限日数	<b>↓</b>	0	0	0	4	1年間に給水制限を実施した日数 を示すもので、給水サービスの安 定性を表しています。

分類	区分	番号	旧番号	業務指標	単位	定義(積算方法)	指標の 優位性	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	H30年度 類似団 体平均	指標の解説
	施設	B116	2006	給水普及率	%	(現在給水人口/給水区 域内人口)×100	<b>↑</b>	99. 9	99. 9	99. 9	99. 0	給水区域内に居住する人口に対する給水人口の割合を示すもので、 水道事業のサービス享受の概況及 び地域性を表しています。
	管 理	B117	5110	設備点検実施率	%	(点検機器数/ 機械・電 気・計装機器の合計数) × 100	1	9.8	11. 3	14. 8	54. 3	機械・電気・計装機器の合計数に 対する点検機器数の割合を示すも ので、設備の健全性確保に対する 点検割合を表しています。
		B201	5101	浄水場事故割合	件/10 年·箇所	10年間の浄水場停止事 故件数 / 浄水場数	<b>↓</b>	0.00	0. 00	0.00	0. 14	直近10年間に浄水場が事故で停止 した件数を一浄水場当たりの割合 として示すものであり、施設の信 類性を表しています。
		B202	2204	事故時断水人口率	%	(事故時断水人口/現在 給水人口)×100	<b>→</b>	20. 2	20. 4	20. 6	17. 7	浄水場などの事故時において給水 できない人口の割合を示してお り、水道事業体のシステムの融通 性、余裕度によるサービスの安定 性を表しています。
		B203	2001	給水人口一人当た り貯留飲料水量	L/人	(配水池有効容量×1/2 +緊急貯水槽容量)× 1,000/現在給水人口	<b>↑</b>	84	83	83	161	災害時に確保されている給水人口 一人当たりの飲料水量を示す指標 であり、水道事業体の災害対応度 を表しています。
		B204	5103	管路の事故割合	件/100 km	管路の事故件数 /( 管路延長/100)	$\rightarrow$	5. 9	6. 1	5.8	4.8	1年間における導・送・配水管路 の事故件数を延長100km当たりの 件数に換算したものであり、管路 の健全性を表しています。
	_	B205	<b>企業を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を</b>		件/100 km	基幹管路の事故件数 /(基幹管路延長/100)	<b>→</b>	2. 5	5. 0	0.0	0.5	1年間における基幹管路の事故件 数を延長100km当たりの件数に換 算したものであり、基幹管路の健 全性を表しています。
運営	事故災害対策	B206			件/100 km	鉄製管路の事故件数 / (鉄製管路延長/100)	<b>→</b>	3. 7	3. 3	3. 3	2.2	1年間における鉄製導・送・配水 管路の事故件数を延長100km当た りの件数に換算したものであり、 鉄製管路の健全性を表していま す。
理	*	B207	5105	非鉄製管路の事故 割合	件/100 km	非鉄製管路の事故件数 / (非鉄製管路延長 /100)	<b>↓</b>	27. 6	33. 2	28. 4	7.9	1年間における非鉄製導・送・配水管路の事故件数を延長100km当たりの件数に換算したものであり、非鉄製管路の健全性を表しています。
		B208	5106	給水管の事故割合	件 /1,000 件	給水管の事故件数 / (給水件数/ 1,000)	$\rightarrow$	3. 2	3. 3	3. 5	3. 3	給水件数1,000件当たりの給水管 の事故件数を示しており、配水管 分岐から水道メーターまでの給水 管の健全性を表しています。
		B209	5109	給水人口一人当た り平均断水・濁水 時間	時間	Σ(断水·濁水時間 × 断水・濁水区域給水人 口) / 現在給水人口	$\rightarrow$	0. 07	0. 01	0. 00	6. 32	現在給水人口に対する断水・濁水 時間を示すものであり、給水の安 定度を表しています。
		B210	新規	災害対策訓練実施 回数	回/年	年間の災害対策訓練実 施回数	<b>↑</b>	9	12	19	11	1年間に災害対策訓練を実施した 回数を示すもので、自然災害に対 する危機対応性を表しています。
		B211	5114	消火栓設置密度	基/km	消火栓数 / 配水管延長	<b>↑</b>	8. 0	8. 0	8. 0	2.5	配水管延長に対する消火栓の設置 密度を示すもので、危機対応能力 の度合いを表しています。
		B301	4001	配水量1m <sup>8</sup> 当たり電 力消費量	kWh/m³	電力使用量の合計 / 年 間配水量	<b>→</b>	0. 26	0. 25	0. 25	0. 30	配水量1m <sup>3</sup> 当たりの電力使用量を示すもので、省エネルギー対策への 取組み度合いを表しています。
	環境対策	B302	4002	配水量1m <sup>3</sup> 当たり消 費エネルギー	MJ/m <sup>3</sup>	エネルギー消費量 / 年間配水量	1	2. 54	2. 45	2. 40	1. 53	配水量当たりの消費エネルギー量 の割合を示すもので、省エネル ギー対策への取組み度合いを表し ています。
		B303	4006	配水量1m <sup>3</sup> 当たり二 酸化炭素(CO <sub>2</sub> )排 出量	g • CO <sub>2</sub> /m³	[二酸化炭素 (CO <sub>2</sub> ) 排 出量 / 年間配水量] × 10 <sup>6</sup>	<b>↓</b>	128	110	93	144	年間配水量に対する総二酸化炭素 (CO <sub>2</sub> ) 排出量であり、環境保全へ の取組み度合いを表しています。

分類	区分	番号	旧番号	業務指標	単位	定義(積算方法)	指標の 優位性	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	H30年度 類似団 体平均	指標の解説
		B304	4003	再生可能エネルギー利用率	%	(再生可能エネルギー設備の電力使用量 / 電力使用量の合計) × 100	1	0. 000	0.000	0. 000	0. 065	全施設の電力使用量に対する再生 可能エネルギーの利用の割合を示 すもので、環境負荷低減に対する 取組み度合いを表しています。
運営管理	環境対策	B305	4004	浄水発生土の有効 利用率	%	(有効利用土量 / 浄水 発生土量) × 100	1	0.0	0.0	0.0	98. 6	浄水発生土量に対する有効利用土 量の割合を示すもので、環境保全 への取組み度合いを表していま す。
		B306	4005	建設副産物のリサ イクル率	%	(リサイクルされた建設 副産物量 / 建設副産物 発生量) × 100	1	97. 4	100.0	100.0	84. 7	水道事業における工事などで発生 する建設副産物のうち、リサイク ルされた建設副産物量の割合を示 すもので、環境保全への取組み度 合いを表しています。
	施設	B401	5102	ダクタイル鋳鉄 管・鋼管率	%	[(ダクタイル鋳鉄管延 長 + 鋼管延長) / 管 路延長] × 100	1	68. 5	69. 0	70. 4	57. 0	全管路延長に対するダクタイル鋳 鉄管・銅管の割合を示すもので、 管路の母材強度に視点を当てた指 標です。
	理	B402	2107	管路の新設率	%	(新設管路延長/管路延長)×100	<b>\$</b>	0. 42	0. 21	0. 18	0.30	管路延長に対する1年間に新設し た管路延長の割合を示すもので、 管路整備度合いを表しています。
		B501	2101	法定耐用年数超過 浄水施設率	%	(法定耐用年数を超えて いる浄水施設能力/全浄 水施設能力)×100	1	0.0	0.0	0.0	13. 9	全浄水施設能力に対する法定耐用 年数を超過した浄水施設の浄水能 力の割合を示すもので、施設の老 朽化度及び更新の取組み状況を表 しています。
		B502	2102	法定耐用年 <b>数超過</b> 設備率	%	(法定耐用年数を超えている機械・電気・計装 設備などの合計数/機 械・電気・計装設備な どの合計数) × 100	1	69. 2	69. 2	69. 2	45. 0	水道施設に設置されている機械・ 電気・計装設備の機器合計数に対 する法定耐用年数を超えている機 器数の割合を示すものであり、機 器かの老内度、更新の取組み状況を 表しています。
	施設更新	B503	2103	法定耐用年 <b>数超過</b> 管路率	%	(法定耐用年数を超えて いる管路延長/管路延 長)×100	1	37. 3	37.7	38. 0	21. 0	管路の延長に対する法定耐用年数 を超えている管路の割合を示すも のであり、管路の老朽化度、更新 の取組み状況を表しています。
		B504	2104	管路の更新率	%	(更新された管路延長/ 管路延長)×100	1	1. 21	0. 91	1. 44	0.72	管路の延長に対する更新された管 路延長の割合を示すもので、信頼 性確保のための管路更新の執行度 合いを表しています。
施設整備		B505	2105	管路の更生率	%	(更生された管路延長/ 管路延長)×100	<b>\$</b>	0.003	0.000	0.000	0.000	管路の延長に対する更生を行った 管路の割合を示すもので、信頼性 確保のための管路維持の執行度合 いを表しています。
		B601	2206	系統間の原水融通 率	%	(原水融通能力/全浄水 施設能力)×100	<b>\$</b>	0.0	0.0	0.0	1.6	全浄水施設能力に対する他系統からの融通可能な原水水量の割合を示すものであり、水運用の安定性、柔軟性、及び危機対応性を表しています。
		B602	2207	浄水施設の耐震化 率	%	(耐震対策の施された浄 水施設能力/全浄水施設 能力)×100	1	0.0	0.0	0.0	40. 6	全浄水施設能力に対する耐震対策 が施されている浄水施設能力の割 合を示すもので、地震災害に対す る浄水処理機能の信頼性・安全性 を表しています。
	事故災	B602-	新規	浄水施設の主要 構造物耐震化率	%	[(沈殿・ろ過を有する 施設の耐震化浄水施設 能力+ろ過のみ施設の耐 震化浄水施設能力)/全 浄水施設能力]×100	1	60.6	60.6	60.6	31. 0	浄水施設のうち主要構造物である。 枕でん池及びろ過池に対する 耐震対策が施されている割合を示 すもので、B602 (浄水施設の耐震 化率) の進捗を表しています。
	害対策	B603	2208	ポンプ所の耐震化率	%	(耐震対策の施されたポンプ所能力/耐震化対象ポンプ所能力)×100	1	97. 7	97.7	97. 7	51. 5	耐震化対象ポンプ所能力に対する 耐震対策が施されたポンプ所能力 の割合を示すもので、地震災害に 対するポンプ施設の信頼性・安全 性を表しています。
		B604	2209	配水池の耐震化率	%	(耐震対策の施された配 水池有効容量/配水池等 有効容量)×100	1	90.3	90.3	90.3	72. 3	全配水池容量に対する耐震対策の 施された配水池の容量の割合を示 すもので、地震災害に対する配水 池の信頼性・安全性を表していま す。
		B605	2210	管路の耐震管率	%	(耐震管延長/管路延長) ×100	1	17. 6	18. 7	20. 4	16. 8	導・送・配水管(配水支管を含む)全ての管路の延長に対する耐 震管の延長の割合を示すもので、 地震災害に対する水道管路網の安 全性、信頼性を表しています。

分類	区分	番号	旧番号	業務指標	単位	定義(積算方法)	指標の 優位性	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	H30年度 類似団 体平均	指標の解説
		B606	新規	基幹管路の耐震管率	%	(基幹管路のうち耐震管 延長/基幹管路延長)× 100	1	41. 9	42. 4	43. 9	34. 6	基幹管路の延長に対する耐震管の 延長の割合を示すものであり、地 震災害に対する基幹管路の安全 性、信頼性を表しています。
		B606- 2	新規	基幹管路の耐震 適合率	%	(基幹管路のうち耐震適 合性のある管路延長/基 幹管路延長)×100	<b>↑</b>	48. 0	48.5	49. 9	52. 5	基幹管路の延長に対する耐震適合 性のある管路延長の割合を示すも ので、B606(基幹管路の耐震化 率)を補足する指標です。
		B607	新規	重要給水施設配水 管路の耐震管率	%	(重要給水施設配水管路 のうち耐震管延長/重要 給水施設配水管路延長) ×100	1	35. 3	36. 9	37. 4	41.6	重要給水施設への配水管の総延長 に対する耐震管延長の割合を示す もので、大規模な地震災害に対す る重要給水施設配水管路の安全 性、信頼性を表しています。
		B607-	新規	重要給水施設配水 管路の耐震適合率	%	(重要給水施設配水管路 のうち耐震適合性のあ る管路延長/重要給水施 設配水管路延長)×100	1	38. 9	40. 4	40.8	54. 9	重要給水施設への配水管の延長に 対する耐震適合性のある管路延長 の割合を示すもので、B607 (重要 給水施設配水管路の耐震管率)を 補足する指標です。
施設	事故災	B608	2216	停電時配水量確保率	%	(全施設停電時に確保できる配水能力/一日平均配水量)×100	1	102. 1	104. 3	106. 4	60. 4	一日平均配水量に対する全施設が 停電した場合に確保できる配水能 力の割合を示すものであり、災害 時・広域停電時における危機対応 性を表しています。
整備	害対策	B609	2211	薬品備蓄日数	Ħ	(平均凝集剤貯蔵量/凝 集剤一日平均使用量)又 は(平均塩素剤貯蔵量/ 塩素剤一日平均使用量) のうち、小さい方の値	1	26. 1	26. 9	26. 5	24. 5	浄水場で使う薬品の平均貯蔵量に 対する一日平均使用量の割合を示 すもので、災害に対する危機対応 力を表しています。
		B610	2212	燃料備蓄日数	日	平均燃料貯蔵量/一日燃 料使用量	1	1. 7	1.9	2.8	0. 7	停電時においても自家発電設備で 浄水場の稼動を継続できる日数を 示寸もので、災害時の対応性を表 しています。
		B611	2205	応急給水施設密度	箇所 /100 km²	応急給水施設数/(現在 給水面積/100)	1	22. 2	22. 2	22. 2	23. 5	100km <sup>2</sup> 当たりの応急給水施設数を 示すもので、震災時などにおける 飲料水の確保のしやすさを表して います。
		B612	2213	給水車保有度	台 /1,000 人	給水車数/(現在給水人 口/1,000)	1	0. 0054	0. 0054	0.0054	0.0078	給水人口1,000人当たりの給水車 保有台数を示すものであり、事 故・災害などの緊急時における応 急給水活動の対応性を表していま す。
		B613	2215	車載用の給水タン ク保有度	m <sup>3</sup> /1,000 人	車載用給水タンクの容量/(現在給水人口 /1,000)	<b>↑</b>	0. 049	0. 049	0.048	0.046	給水人口1,000人当たりの車載用 給水タンク容量を示すものであ り、主に大地震などが発生した場 合における応急給水活動の対応性 を表しています。
[C]	健	全な	事業網	圣営								
		C101	3001	営業収支比率	%	[(営業収益- 受託工事 収益) / (営業費用- 受 託工事費)]× 100	<b>↑</b>	113. 2	111. 4	115. 6	107. 4	営業収益の営業費用に対する割合 を示すもので、水道事業の収益性 を表しています。
		C102	3002	経常収支比率	%	[(営業収益+営業外収益)/(営業費用+営業外費用)]×100	1	119. 0	118.8	121.6	113. 9	経常費用が経常収益によってどの 程度賄われているかを示すもの で、水道事業の収益性を表してい ます。
財務	健全経営	C103	3003	総収支比率	%	(総収益/総費用)×100	1	119. 0	118.8	124. 6	114. 0	総費用が総収益によってどの程度 賄われているかを示すもので、水 道事業の収益性を表しています。
		C104	3004	累積欠損金比率	%	[累積欠損金/(営業収益 一受託工事収益)]×100	1	0.0	0.0	0. 0	0. 0	受託工事収益を除く営業収益に対 する累積欠損金の割合を示すもの で、水道事業経営の健全性を表し ています。
		C105	3005	繰入金比率(収益 的収入分)	%	(損益勘定繰入金/収益 的収入)×100	1	0.2	0.2	0. 2	0. 5	収益的収入に対する損益勘定線入 金の依存度を示しており、事業の 経営状況を表しています。

分類	区分	番号	旧番号	業務指標	単位	定義(積算方法)	指標の 優位性	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	H30年度 類似団 体平均	指標の解説
		C106	3006	繰入金比率(資本 的収入分)	%	(資本勘定繰入金/資本 的収入計)×100	↓	1.2	2.0	1. 3	4. 4	資本的収入に対する資本勘定繰入 金の依存度を示しており、事業の 経営状況を表しています。
		C107	3007	職員一人当たり給 水収益	千円/人	給水収益/損益勘定所属 職員数	1	59, 461	57, 634	56, 443	81, 459	損益勘定職員一人当たりの給水収益を示すもので、水道事業における生産性について給水収益を基準として把握するための指標です。
		C108	3008	給水収益に対する 職員給与費の割合	%	(職員給与費/給水収益) ×100	1	17. 4	18. 1	16. 2	11. 2	給水収益に対する職員給与費の割合を示すもので、水道事業の収益性を表しています。
		C109	3009	給水収益に対する 企業債利息の割合	%	(企業債利息/給水収益) ×100	1	3. 2	3.0	2. 9	5. 4	給水収益に対する企業債利息の割 合を示すもので、水道事業の効率 性及び財務安全性を表していま す。
		C110	3010	給水収益に対する 減価償却費の割合	%	(減価償却費/給水収益) ×100	1	16. 0	16. 6	17. 6	38. 5	給水収益に対する減価償却費の割 合を示すもので、水道事業の収益 性を表しています。
		C111	3011	給水収益に対する 建設改良のための 企業債償還元金の 割合	%	(建設改良のための企業 債償還元金/給水収益) ×100	1	9.8	9.8	10. 2	20. 7	給水収益に対する建設改良のため の企業債償還元金の割合を示すも ので、建設改良のための企業債償 還元金が経営に及ぼす影響を表し ています。
		C112	3012	給水収益に対する 企業債残高の割合	%	(企業債残高/給水収益) ×100	↓	170. 1	187. 1	224. 2	279. 9	給水収益に対する企業債残高の割 合を示すもので、企業債残高が規 模及び経営に及ぼす影響を表して います。
財	健全経営	C113	3013	料金回収率	%	(供給単価/給水原価)× 100	1	109. 4	107. 3	110. 7	107. 6	給水原価に対する供給単価の割合 を示すもので、水道事業の経営状 況の健全性を表しています。
務		C114	3014	供給単価	円/m³	給水収益/年間総有収水 量	<b>\$</b>	150. 1	151. 1	150. 3	138. 5	有収水量1m <sup>3</sup> 当たりの給水収益の割合を示すもので、水道事業でどれだけの収益を得ているかを表しています。
		C115	3015	給水原価	円/m³	[経常費用-(受託工事費+材料及び不用品売却原価+附帯事業費+長期前受金戻入)] /年間有収水量	ļ	137. 1	140. 9	135. 7	128. 4	有収水量1m <sup>3</sup> 当たりの経常費用(受 託工事費等を除く)の割合を示す もので、水道事業でどれだけの費 用がかかっているかを表していま す。
		C116	3016	1 か月10m <sup>3</sup> 当たり 家庭用料金	円	1か月10m <sup>3</sup> 当たり家庭用 料金	↓	939	939	957	914	1か月に10m <sup>3</sup> 使用した場合における 水道料金を示し、契約者の経済的 利便性を表しています。
		C117	3017	1 か月20m <sup>3</sup> 当たり 家庭用料金	円	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭用 料金	1	2, 235	2, 235	2, 277	2, 170	1か月に20m <sup>3</sup> 使用した場合における 水道料金を示し、契約者の経済的 利便性を表しています。
		C118	3022	流動比率	%	(流動資産/流動負債)× 100	1	198. 9	199. 2	163. 7	280. 8	流動負債に対する流動資産の割合を示すものであり、事業の財務安 全性を表しています。
		C119	3023	自己資本構成比率	%	[(資本金+剰余金+評価 差額など+繰延収益/ 負債・資本合計]× 100	1	64. 8	63. 5	60. 1	72. 3	総資本(負債及び資本)に対する 自己資本の割合を示しており、財 務の健全性を表しています。
		C120	3024	固定比率	%	[固定資産/(資本金+剰 余金+評価差額など+繰 延収益)]× 100	1	129. 4	131. 5	138. 2	130. 2	自己資本に対する固定資産の割合を示すものであり、財務の安定性を表しています。
		C121	3025	企業債償還元金対 減価償却費比率	%	[(建設改良のための企業債償還元金)/(当年度減価償却費-長期前受金戻入)]×100	1	77. 4	72.8	69. 7	65. 0	当年度減価償却費に対する企業債 償還元金の割合を示すもので、投 下資本の回収と再投資との間のバ ランスを見る指標です。

分類	区分	番号	旧番号	業務指標	単位	定義(積算方法)	指標の 優位性	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	H30年度 類似団 体平均	指標の解説
財務	健全経営	C122	3026	固定資産回転率	□	(営業収益-受託工事収益)/[(期首固定資産+期末固定資産)/2]	1	0. 20	0. 19	0. 17	0. 11	固定資産(年度平均)に対する営業収益の割合を示すものであり、 1年間に固定資産額の何倍の営業 収益があったかを示しています。
		C123	3027	固定資産使用効率	m³/万円	年間配水量/有形固定資産	1	12. 8	12. 1	10. 9	8. 9	有形固定資産に対する年間総配水 量の割合を示すもので、施設の使 用効率を表しています。
		C124	3109	職員一人当たり有 収水量	m <sup>3</sup> /人	年間総有収水量 / 損益 勘定所属職員数	1	396, 000	381,000	376, 000	596, 000	1年間における損益勘定職員一人 当たりの有収水量を示すもので、 水道サービスの効率性を表してい ます。
		C125	5005	料金請求誤り割合	件 /1,000 件	誤料金請求件数 / (料金請求件数/1,000)	1	_	_	_	0. 04	料金請求総件数に対する誤請求の 件数の割合を示すもので、料金関 連業務の適正度を表しています。
		C126	5006	料金収納率	%	(料金納入額/ 調定額) × 100	1	92. 0	92. 0	91. 9	92.8	1年間の水道料金総調定額に対して、決算確定時点において納入されている収入額の割合を示すもので、水道事業の経営状況の健全性を表しています。
		C127	5007	給水停止割合	件 /1,000 件	給水停止件数 / (給水 件数/1,000)	1	3.8	3. 9	4.0	11.3	給水件数に対する給水停止件数の 割合を示すもので、水道料金の未 納状況の度合いを見る指標です。
組織・人材	人材育成	C201	3101	水道技術に関する 資格取得度	件/人	職員が取得している水 道技術に関する資格数 / 全職員数	1	1.85	2. 06	2. 33	1. 90	職員が取得している水道技術に関 する資格数の全職員に対する割合 を示しています。
		C202	3103	外部研修時間	時間/人	(職員が外部研修を受けた時間×受講人数) / 全職員数	1	20. 5	13. 6	16. 4	5.9	職員一人当たりの外部研修の受講 時間を表すもので、技術継承及び 技術向上への取組み状況を表して います。
		C203	3104	内部研修時間	時間/人	(職員が内部研修を受けた時間×受講人数) / 全職員数	1	8. 2	9. 0	9. 7	6. 4	職員一人当たりの内部研修の受講 時間を表すもので、技術継承及び 技術向上への取組み状況を表して います。
		C204	3105	技術職員率	%	(技術職員数 / 全職員 数) × 100	<b>\$</b>	70. 2	71. 2	69.8	63. 2	全職員数に対する技術職員の割合 を示すもので、技術面での維持管 理体制を表しています。
		C205	3106	水道業務平均経験 年数	年/人	職員の水道業務経験年 数 / 全職員数	1	12. 0	12.8	12.8	9.8	全職員の水道業務平均経験年数を 表すもので、人的資源としての専 門技術の蓄積度合いを表していま す。
		C206	6001	国際協力派遣者数	人・日	Σ (国際協力派遣者数 × 滞在日数)	1	0	0	0	3	国際協力に派遣された人数とその 滞在日数の積で、国際協力への関 与の度合いを表しています。
		C207	6101	国際協力受入者数	人・日	Σ (国際協力受入者数 × 滞在日数)	1	25	21	36	5	受け入れた海外の水道関係者の人 数と滞在日数の積で、国際協力へ の関与の度合いを表しています。
	業務委託	C301	5008	検針委託率	%	(委託した水道メーター 数 / 水道メーター設置 数) × 100	<b>\$</b>	100.0	100.0	100.0	100. 0	水道メーター設置数に対する検針 委託している水道メーター数の割 合を示すもので、業務委託の度合 いを表しています。
		C302	5009	浄水場第三者委託 率	%	(第三者委託した浄水場 の浄水施設能力 / 全浄 水施設能力) × 100	<b>\$</b>	0.0	0.0	0.0	8. 2	全浄水場の浄水施設能力のうち、 第三者委託している浄水場の浄水 施設能力の割合を示すもので、第 三者委託の導入状況を表していま す。
ケー ション	情報提供	C401	3201	広報誌による情報 の提供度	部/件	広報誌などの配布部数 / 給水件数	1	12. 5	14. 1	13. 0	5. 2	給水件数に対する広報誌などの発 行部数の占める割合を示すもの で、お客さまへの事業内容の公開 度合いを表しています。

分類	区分	番号	旧番号	業務指標	単位	定義(積算方法)	指標の 優位性	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	H30年度 類似団 体平均	指標の解説
お客さまとのコミュニケーション	情報提供	C402	新規	インターネットに よる情報の提供度	П	ウェブページへの掲載 回数	1	67	76	123	95	インターネット (ウェブページ) による水道事業の情報発信回数を 表すもので、お客さまへの事業内 容の公開度合いを表しています。
		C403	3204	水道施設見学者割 合	人 /1,000 人	見学者数 / (現在給水 人口/1,000)	1	12. 6	9.8	11. 1	14. 3	給水人口に対する水道施設見学者 の割合を示すもので、お客様との 双方向コミュニケーションの推進 度合いを表しています。
	意見収集	C501	3202	モニタ割合	人 /1,000 人	モニタ人数 / (現在給水人口/1,000)	1	0. 095	0. 057	0. 056	0. 039	現在給水人口に占めるモニタ人数 を表すもので、お客様との双方向 コミュニケーションの推進度合い を表しています。
		C502	3203	アンケート情報収 集割合	人 /1,000 人	アンケート回答人数 / (現在給水人口/1,000)	1	8. 17	6. 06	4. 21	2.44	給水人口に対する1年間に実施したアンケート調査に回答した人数の割合をごし、お客さまのニーズの収集実行度を表しています。
		C503	3112	直接飲用率	%	(直接飲用回答数 / アンケート回答数) × 100	1	47. 7	52.8	53. 2	63. 7	水道水を飲用としているお客さま の割合を示すものであり、水道水 の飲み水としての評価を表してい ます。
		C504	3205	水道サービスに対 する苦情対応割合	件 /1,000 件	水道サービス苦情対応 件数 / (給水件数 /1,000)	↓				0.46	給水件数に対する水道サービスに 関する苦情対応件数の割合を示す もので、水道サービス向上に対す る取組み状況を表しています。
		C505	3206	水質に対する苦情 対応割合	件 /1,000 件	水質苦情対応件数 / (給水件数/1,000)	1	0. 17	0. 16	0. 22	0. 39	給水件数に対する水道水の水質に 関する苦情対応件数の割合を示す もので、水道水質の向上に対する 取組み状況を表しています。
		C506	3207	水道料金に対する 苦情対応割合	件 /1,000 件	水道料金苦情対応件数 /(給水件数/1,000)	1	_	_	_	0.08	給水件数に対する水道料金に関す る苦情対応件数の割合を示すもの で、お客さまの水道料金への満足 度を表しています。